

---

---

久留米市のセーフコミュニティに関する実態調査  
【65歳以上】

報 告 書

---

---



平成30年1月  
久留米市



## 目次

第1章	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査対象者	1
3.	調査期間	1
4.	回収結果	1
5.	集計・分析上の注意	1
第2章	調査結果【65歳以上】	2
1.	調査回答者の属性	2
2.	調査結果の詳細	4
(1)	ケガの状況	4
(2)	ケガの原因	5
(3)	ケガをしたときの状況	7
(4)	ケガをした場所	9
(5)	ケガをした状況・きっかけ	11
(6)	ケガをした部位	13
(7)	ケガの種類	14
(8)	自動車やバイクの運転状況	16
(9)	自転車の利用状況	18
(10)	自転車保険等の加入状況	19
(11)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（自動車の運転中）	20
(12)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（バイクの運転中）	21
(13)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（自転車の運転中）	22
(14)	交通事故にあった又はあいそうになった経験（歩行中）	23
(15)	交通事故にあう危険性が1番高いと思う年齢層	24
(16)	交通事故にあう危険性が2番目に高いと思う年齢層	25
(17)	交通事故をおこす危険性が1番高いと思う年齢層	26
(18)	交通事故をおこす可能性が2番目に高いと思う年齢層	27
(19)	交通安全について不安に思っていること	28
(20)	交通安全について特に不安に思うこと	30
(21)	シートベルトやチャイルドシートの着用状況	31
(22)	自動車運転や歩行について、若い頃と比べて変わったと感じること	32
(23)	夜間外出する際の反射材の着用状況	33
(24)	反射材を身につけていない理由	34
(25)	「高齢運転者免許証自主返納支援事業」の認知度	35
(26)	運転免許返納状況	36
(27)	運転免許がないと困ると思うこと	38
(28)	自宅での転倒状況	40

(29)	転倒による骨折経験の有無	41
(30)	介護が必要になった主な原因	42
(31)	転倒に対する不安の有無	43
(32)	転倒によるケガを防止するために心がけていること	44
(33)	転倒によるケガを予防するために自宅で実行していること	45
(34)	転倒の予防策をするようになったきっかけ	46
(35)	転倒の予防策を実行していない理由	47
(36)	「転倒予防パンフレット」の認知度	49
(37)	認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性	50
(38)	認知症サポーターの認知度	51
(39)	高齢者虐待にあたると思う行為	53
(40)	虐待しているのではと思った経験の有無	54
(41)	自身の行為について感じる事	55
(42)	自身の虐待行為についての相談状況	56
(43)	高齢者虐待を受けた又は見聞きした経験の有無	58
(44)	虐待がされた場所	59
(45)	高齢者の虐待を見聞きした場合の対応（相談または通報）	60
(46)	相談又は通報しない理由	61
(47)	犯罪の被害に対する不安	62
(48)	不安に感じる犯罪	63
(49)	地域で行われている防犯活動の認知度	65
(50)	防犯活動の参加状況	68
(51)	防犯活動に参加していない理由	70
(52)	犯罪被害等を受けた経験の有無	71
(53)	犯罪被害をうけた際の対応	73
(54)	自然災害から身を守るために一番重要だと思うこと	75
(55)	災害が発生したときに重要な「共助」	76
(56)	「自助」の重要性を啓発するために有効な手段	77
(57)	災害が発生した場合、ひとりで避難できるか	80
(58)	避難するための対策の有無	82
(59)	「災害時要援護者名簿」の認知度	84
(60)	「災害時要援護者名簿」への登録の有無	86
(61)	「災害時要援護者名簿」に登録していない理由	87
(62)	「災害時要援護者名簿」への登録の希望	89

第3章	調査票＜高齢者（65歳以上）＞	91
-----	-----------------	----





## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

ケガや事故の予防を目的とした市民、関係機関、団体との協働による「セーフコミュニティ」活動に取り組むことにより、「みんなが安全に安心して暮らせるまちづくり」を目指している。本調査は、本市のセーフコミュニティの取り組みの基礎資料として、市民の経験や考えなどを把握する目的で、実施したものである。

### 2. 調査対象者

- ①市内に居住する0歳～17歳の男女 1,000人
  - ②市内に居住する18歳～64歳の男女 1,500人
  - ③市内に居住する65歳以上の男女 1,000人
- 合計 3,500人

[対象者抽出方法]

住民基本台帳からの層化二段無作為抽出

### 3. 調査期間

[調査開始] 平成29年8月17日

[投函期限] 平成29年8月31日

### 4. 回収結果

	設定標本数 (人)	有効回収数 (人)	有効回収率 (%)
0～17歳	1,000	574	57.4%
18～64歳	1,500	703	46.9%
65歳以上	1,000	727	72.7%
計	3,500	2,004	57.3%

### 5. 集計・分析上の注意

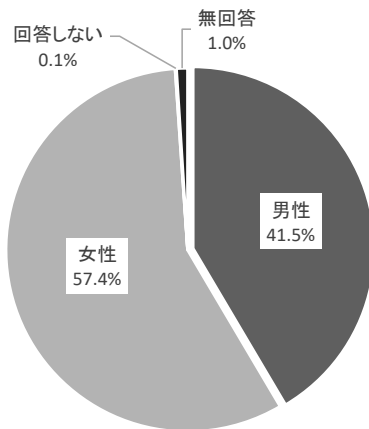
図表中の「N」はサンプル数（回答者数）を示す。

図表中の値は原則として回答数を100とした場合の構成比（%）で示した。端数処理（小数点第2位を四捨五入）のため、その合計が必ずしも100.0%にならない場合がある。なお、複数回答（2つ以上の選択肢を回答）は原則として100%を超える。また年代別等のクロス集計は、回答に年代等不明（無回答）がある場合、各項目のサンプル数の合計が全体サンプル数と合致しない場合がある

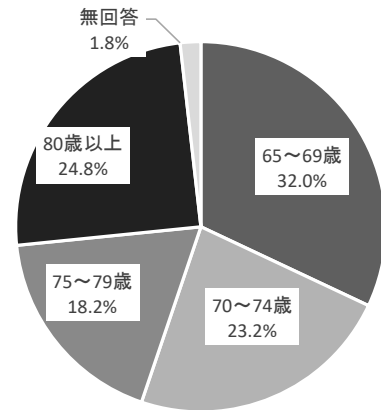
第2章 調査結果【65歳以上】

1. 調査回答者の属性

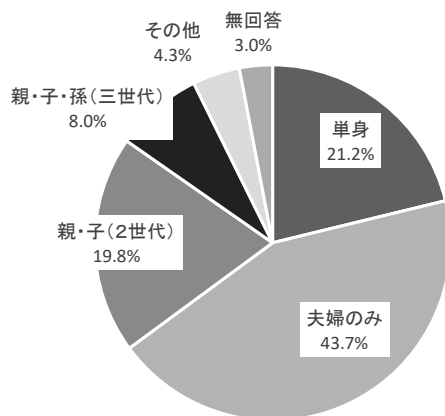
(1) 性別



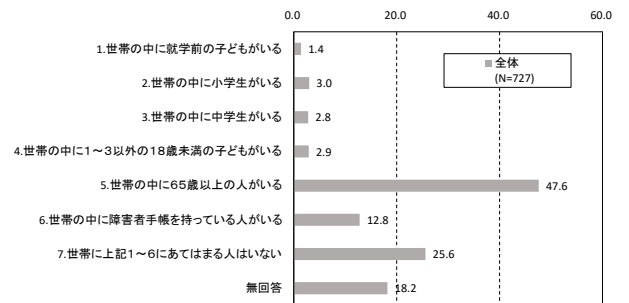
(2) 年齢



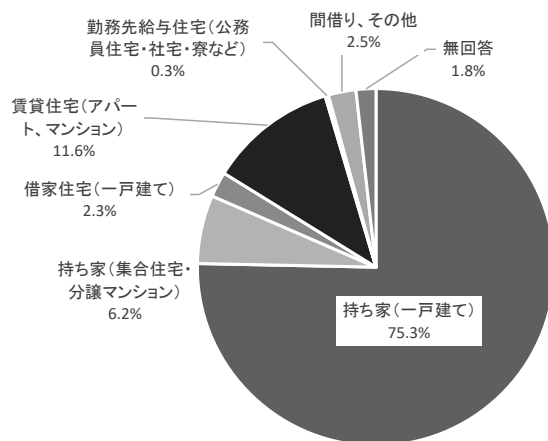
(3) 家族構成



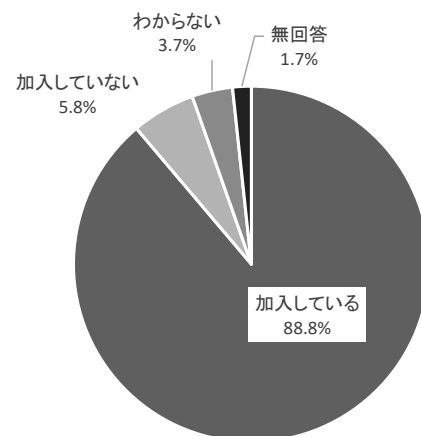
(4) 同居している家族



(5) 居住形態

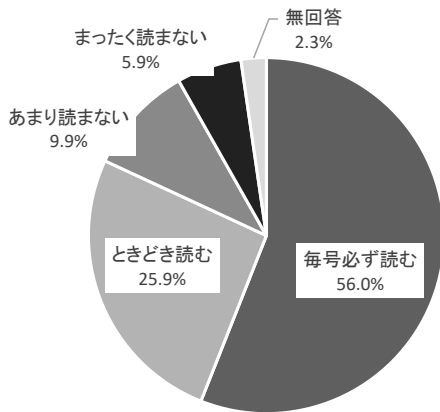


(6) 自治会の加入状況

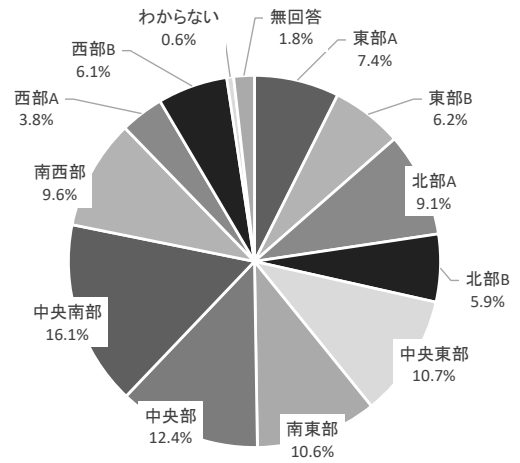




(7) 「広報くるめ」の閲読状況



(8) 居住校区



< 居住校区の詳細 >

東部A					東部B						
山川	山本	草野	善導寺	大橋	船越	水分	柴刈	川会	竹野	水縄	田主丸

北部A			北部B				中央東部		
小森野	合川	宮ノ陣	北野	弓削	大城	金島	西国分	東国分	御井

南東部			中央部						中央南部			
上津	高良内	青峰	荘島	日吉	篠山	京町	南薫	長門石	鳥飼	金丸	南	津福

南西部			西部A				西部B		
荒木	大善寺	安武	城島	下田	青木・浮島	江上	犬塚	三猪	西牟田

# 1 「主なケガ」について

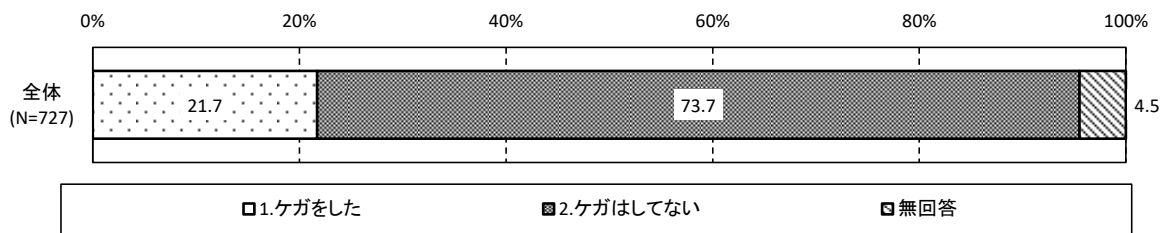
## 2. 調査結果の詳細

### (1) ケガの状況

問 1. あなたは、過去 1 年間(平成 2 8 年 8 月以降)にケガをされましたか。(○はひとつ) (ケガとは、骨折、捻挫、打撲、切り傷などで、病院にかからないようなものも対象とします。)

過去 1 年間で「ケガをした」人は約 2 割

●ケガの状況について、「ケガはしていない」が 73.7%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男女・80歳以上では、「ケガをした」の割合が高い。
- 東部 B、北部 A、西部 B では、「ケガはしていない」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1.ケガをした	2.ケガはしていない	無回答	
上段:実数、下段:%						
全体		727	158	536	33	
		100.0	21.7	73.7	4.5	
性別	男性	302	65	226	11	
		100.0	21.5	74.8	3.6	
	女性	417	91	305	21	
		100.0	21.8	73.1	5.0	
	回答しない	1	1	0	0	
		100.0	100.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65~69歳	男性	102	18	82	2
			100.0	17.6	80.4	2.0
	女性	131	24	104	3	
			100.0	18.3	79.4	2.3
	70~74歳	男性	79	15	60	4
			100.0	19.0	75.9	5.1
	女性	90	18	67	5	
			100.0	20.0	74.4	5.6
	75~79歳	男性	51	11	39	1
			100.0	21.6	76.5	2.0
	女性	81	17	59	5	
			100.0	21.0	72.8	6.2
80歳以上	男性	67	20	43	4	
		100.0	29.9	64.2	6.0	
	女性	112	32	73	7	
		100.0	28.6	65.2	6.3	

◆表 居住校區別◆

		サンプル数	1.ケガをした	2.ケガはしていない	無回答
上段:実数、下段:%					
全体		727	158	536	33
		100.0	21.7	73.7	4.5
居住校區	東部A	53	12	37	4
		100.0	22.6	69.8	7.5
	東部B	45	6	37	2
		100.0	13.3	82.2	4.4
	北部A	66	11	53	2
		100.0	16.7	80.3	3.0
	北部B	43	9	32	2
		100.0	20.9	74.4	4.7
	中央東部	78	14	59	5
		100.0	17.9	75.6	6.4
	南東部	77	20	55	2
		100.0	26.0	71.4	2.6
中央部	90	21	67	2	
	100.0	23.3	74.4	2.2	
中央南部	117	28	82	7	
	100.0	23.9	70.1	6.0	
南西部	69	18	49	2	
	100.0	26.1	71.0	2.9	
西部A	28	7	20	1	
	100.0	25.0	71.4	3.6	
西部B	44	7	36	1	
	100.0	15.9	81.8	2.3	

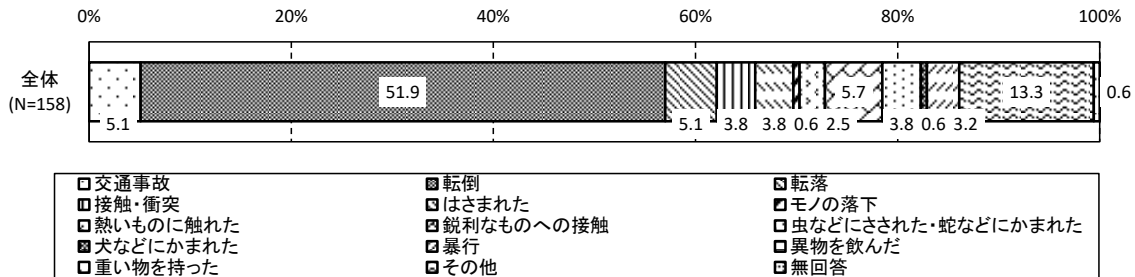
(2) ケガの原因

問1で、「1」と回答した方にお聞きします。「2」と回答された方は、問2へお進み下さい。※複数の経験があれば、最も重症だったものを選んでください。

問1-1. ケガの原因は何でしたか。(○はひとつ)

ケガの原因は、半数以上が「転倒」

●ケガの原因について、「転倒」が51.9%で最も高い。



【属性別特徴】

●女性・65～69歳、女性・75～79歳、男女・80歳以上では、「転倒」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	交通事故	転倒	転落	接触・衝突	はさまれた	モノの落下	熱いものに触れた	鋭利なものへの接触	虫などにさされた・蛇などにかまれた	犬などにかまれた	暴力	異物を飲んだ	重い物を持った	その他	無回答		
上段:実数、下段:%																			
全体		158 100.0	8 5.1	82 51.9	8 5.1	6 3.8	6 3.8	1 0.6	4 2.5	9 5.7	6 3.8	1 0.6	0 0.0	0 0.0	5 3.2	21 13.3	1 0.6		
性別	男性	65 100.0	3 4.6	28 43.1	5 7.7	4 6.2	3 4.6	1 1.5	2 3.1	5 7.7	3 4.6	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 13.8	1 1.5		
	女性	91 100.0	5 5.5	52 57.1	3 3.3	2 2.2	3 3.3	0 0.0	2 2.2	4 4.4	3 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 5.5	12 13.2	0 0.0		
	回答しない	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		
性別・年代別	65～69歳	男性	18 100.0	2 11.1	5 27.8	2 11.1	2 11.1	0 0.0	1 5.6	0 0.0	2 11.1	2 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.1	0 0.0	
		女性	24 100.0	2 8.3	14 58.3	2 8.3	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.3	2 8.3	0 0.0	
	70～74歳	男性	15 100.0	0 0.0	4 26.7	1 6.7	0 0.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 33.3	0 0.0
		女性	18 100.0	0 0.0	6 33.3	0 0.0	0 0.0	1 5.6	0 0.0	1 5.6	3 16.7	3 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6	3 16.7	0 0.0	
	75～79歳	男性	11 100.0	1 9.1	6 54.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0
		女性	17 100.0	1 5.9	10 58.8	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 17.6	0 0.0	
	80歳以上	男性	20 100.0	0 0.0	13 65.0	1 5.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	
		女性	32 100.0	2 6.3	22 68.8	0 0.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.3	4 12.5	0 0.0	

# 1 「主なケガ」について

● 北部 A、中央部、西部 A では、「転倒」の割合が高い。

◆ 表 居住校区別 ◆

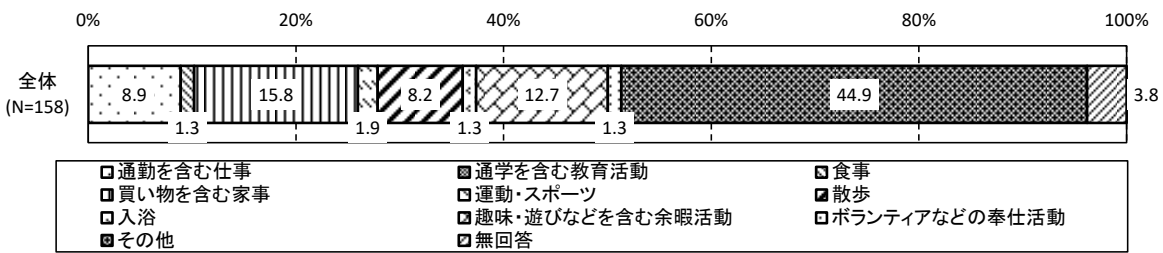
	サンプル数	交通事故	転倒	転落	接触・衝突	はさまれた	モノの落下	熱いものに触れた	鋭利なものへの接触	虫などにさされた・蛇などに かまれた	犬などにかまれた	暴行	異物を飲んだ	重い物を持った	その他	無回答	
上段:実数、下段:%																	
全体	158 100.0	8 5.1	82 51.9	8 5.1	6 3.8	6 3.8	1 0.6	4 2.5	9 5.7	6 3.8	1 0.6	0 0.0	0 0.0	5 3.2	21 13.3	1 0.6	
居住校区	東部A	12 100.0	0 0.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	1 8.3	2 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	0 0.0
	東部B	6 100.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0
	北部A	11 100.0	2 18.2	8 72.7	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	北部B	9 100.0	0 0.0	4 44.4	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0
	中央東部	14 100.0	0 0.0	9 64.3	2 14.3	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0
	南東部	20 100.0	0 0.0	7 35.0	1 5.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	5 30.0	0 0.0
	中央部	21 100.0	1 4.8	14 66.7	2 9.5	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 9.5	0 0.0
	中央南部	28 100.0	3 10.7	13 46.4	0 0.0	1 3.6	2 7.1	0 0.0	0 0.0	2 7.1	2 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.6	4 14.3	0 0.0
	南西部	18 100.0	1 5.6	10 55.6	2 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.1	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0
	西部A	7 100.0	1 14.3	6 85.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	西部B	7 100.0	0 0.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0

(3) ケガをしたときの状況

問 1-2. ケガをした時は何をしていましたか。(○はひとつ)

ケガをしたときの状況は、「買い物を含む家事」「趣味・遊びなどを含む余暇活動」が1割以上

- ケガをしたときの状況について、「買い物を含む家事」が15.8%で最も高く、次いで「趣味・遊びなどを含む余暇活動」が12.7%と続く。
- その他の内訳について、「畑仕事や農作業中」「運転中」という回答が多くみられた。



【属性別特徴】

- 男性では、「趣味・遊びなどを含む余暇活動」の割合が高い。
- 女性では、「買い物を含む家事」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	通勤を含む仕事	通学を含む教育活動	食事	買い物を含む家事	運動・スポーツ	散歩	入浴	趣味・遊びなどを含む余暇活動	ボランティアなどの奉仕活動	その他	無回答	
上段:実数、下段:%														
全体		158	14	0	2	25	3	13	2	20	2	71	6	
		100.0	8.9	0.0	1.3	15.8	1.9	8.2	1.3	12.7	1.3	44.9	3.8	
性別	男性	65	10	0	0	5	2	8	0	15	0	23	2	
		100.0	15.4	0.0	0.0	7.7	3.1	12.3	0.0	23.1	0.0	35.4	3.1	
	女性	91	4	0	2	20	1	3	2	5	2	48	4	
	100.0	4.4	0.0	2.2	22.0	1.1	3.3	2.2	5.5	2.2	52.7	4.4		
	回答しない	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65~69歳	男性	18	7	0	0	0	0	0	0	5	0	6	0
			100.0	38.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.8	0.0	33.3	0.0
		女性	24	4	0	0	5	0	0	0	1	1	11	0
		100.0	16.7	0.0	0.0	20.8	0.0	0.0	8.3	4.2	4.2	45.8	0.0	
	70~74歳	男性	15	2	0	0	0	2	2	0	4	0	5	0
			100.0	13.3	0.0	0.0	0.0	13.3	13.3	0.0	26.7	0.0	33.3	0.0
		女性	18	0	0	1	4	0	0	0	1	1	9	2
		100.0	0.0	0.0	5.6	22.2	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	50.0	11.1	
	75~79歳	男性	11	1	0	0	2	0	2	0	3	0	3	0
			100.0	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0	18.2	0.0	27.3	0.0	27.3	0.0
		女性	17	0	0	0	6	1	0	0	1	0	8	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	35.3	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	47.1	5.9	
80歳以上	男性	20	0	0	0	3	0	4	0	3	0	9	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	15.0	0.0	20.0	0.0	15.0	0.0	45.0	5.0	
	女性	32	0	0	1	5	0	3	0	2	0	20	1	
	100.0	0.0	0.0	3.1	15.6	0.0	9.4	0.0	6.3	0.0	62.5	3.1		

# 1 「主なケガ」について

◆表 ケガの原因別◆

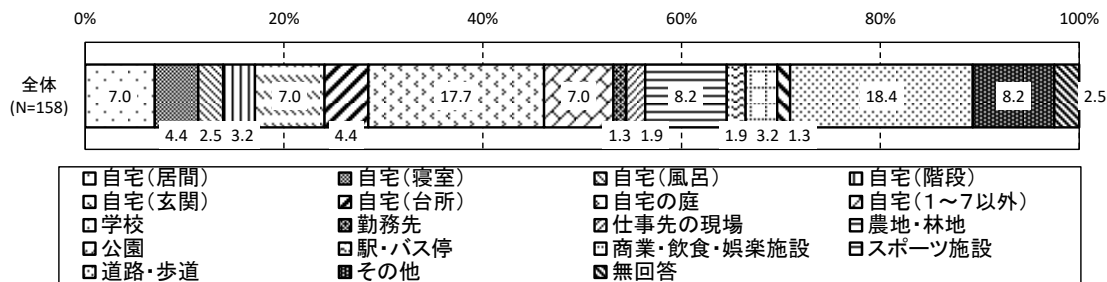
	サンプル数	通勤を含む仕事	通学を含む教育活動	食事	買い物を含む家事	運動・スポーツ	散歩	入浴	趣味・遊びなどを含む余暇	ボランティアなどの奉仕活動	その他	無回答	
上段:実数、下段:%													
全体	158 100.0	14 8.9	0 0.0	2 1.3	25 15.8	3 1.9	13 8.2	2 1.3	20 12.7	2 1.3	71 44.9	6 3.8	
ケガの原因	交通事故	8 100.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	
	転倒	82 100.0	5 6.1	0 0.0	0 0.0	12 14.6	2 2.4	11 13.4	2 2.4	8 9.8	0 0.0	39 47.6	3 3.7
	転落	8 100.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	4 50.0	0 0.0
	接触・衝突	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	はさまれた	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7	0 0.0
	モノの落下	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	熱いものに触れた	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	鋭利なものへの接触	9 100.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	3 33.3	0 0.0
	虫などにされた・蛇などに噛まれた	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	4 66.7	1 16.7
	犬などに噛まれた	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	暴行	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	異物を飲んだ	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	重い物を持った	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 20.0	1 20.0	0 0.0
	その他	21 100.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	1 4.8	1 4.8	0 0.0	0 0.0	4 19.0	4 4.8	1 57.1	12 4.8

(4) ケガをした場所

問 1-3. ケガをした場所はどこでしたか。(○はひとつ)

ケガをした場所は、「自宅の庭」「道路・歩道」がそれぞれ 2 割程度

●ケガをした場所について、「自宅」の様々な場所を合わせると、53.2%と半分以上が「自宅」となっている。



【属性別特徴】

- 男性・75～79歳では、「自宅の庭」の割合が高い。
- 女性・75～79歳では、「道路・歩道」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	自宅(居間)	自宅(寝室)	自宅(風呂)	自宅(階段)	自宅(玄関)	自宅(台所)	自宅の庭	自宅(1~7以外)	学校	勤務先	仕事先の現場	農地・林地	公園	駅・バス停	商業・飲食・娯楽施設	スポーツ施設	道路・歩道	その他	無回答		
上段:実数、下段:%																							
全体		158 100.0	11 7.0	7 4.4	4 2.5	5 3.2	11 7.0	7 4.4	28 17.7	11 7.0	0 0.0	2 1.3	3 1.9	13 8.2	0 0.0	3 1.9	5 3.2	2 1.3	29 18.4	13 8.2	4 2.5		
性別	男性	65 100.0	3 4.6	4 6.2	0 0.0	1 1.5	0 0.0	1 1.5	12 18.5	6 9.2	0 0.0	1 1.5	3 4.6	8 12.3	0 0.0	1 1.5	4 6.2	1 1.5	14 21.5	5 7.7	1 1.5		
	女性	91 100.0	8 8.8	3 3.3	4 4.4	3 3.3	11 12.1	6 6.6	16 17.6	5 5.5	0 0.0	1 1.1	0 0.0	5 5.5	0 0.0	2 2.2	1 1.1	1 1.1	14 15.4	8 8.8	3 3.3		
	回答しない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	18 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6	0 0.0	3 16.7	2 11.1	0 0.0	2 11.1	0 0.0	2 11.1	3 16.7	0 0.0	0 0.0	2 11.1	0 0.0	2 22.2	4 22.2	1 5.6	0 0.0
		女性	24 100.0	2 8.3	0 0.0	3 12.5	3 12.5	3 12.5	2 8.3	16 66.7	0 0.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	2 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 22.2	1 4.2	1 4.2	0 0.0
	70～74歳	男性	15 100.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	2 13.3	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	3 20.0	2 13.3	0 0.0	
		女性	18 100.0	1 5.6	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	2 11.1	4 22.2	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	1 5.6	0 0.0	4 22.2	2 11.1	1 5.6	
	75～79歳	男性	11 100.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	3 27.3	1 9.1	0 0.0	1 9.1	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	1 9.1	0 0.0	
		女性	17 100.0	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	2 11.8	2 11.8	2 11.8	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	5 29.4	1 5.9	0 0.0
	80歳以上	男性	20 100.0	2 10.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 20.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	0 0.0	5 25.0	1 5.0	0 0.0	
		女性	32 100.0	5 15.6	2 6.3	0 0.0	0 0.0	6 18.8	0 0.0	6 18.8	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 12.5	4 12.5	1 3.1	

# 1 「主なケガ」について

●戸建てと集合住宅に関わり無く、持ち家の人の方が賃貸住宅の人より、自宅でケガした割合が高い傾向にある。

◆表 住居形態別◆

		サンプル数	自宅(居間)	自宅(寝室)	自宅(風呂)	自宅(階段)	自宅(玄関)	自宅(台所)	自宅の庭	自宅(157以外)	学校	勤務先	仕事先の現場	農地・林地	公園	駅・バス停	商業・飲食・娯楽施設	スポーツ施設	道路・歩道	その他	無回答		
上段:実数、下段:%																							
全体		158 100.0	11 7.0	7 4.4	4 2.5	5 3.2	11 7.0	7 4.4	28 17.7	11 7.0	0 0.0	2 1.3	3 1.9	13 8.2	0 0.0	3 1.9	5 3.2	2 1.3	29 18.4	13 8.2	4 2.5		
住居形態	持ち家(一戸建て)	117 100.0	9 7.7	3 2.6	1 0.9	3 2.6	10 8.5	6 5.1	25 21.4	9 7.7	0 0.0	0 0.0	2 1.7	12 10.3	0 0.0	3 2.6	4 3.4	1 0.9	16 13.7	10 8.5	3 2.6		
	持ち家(集合住宅・分譲マンション)	12 100.0	0 0.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 33.3	0 0.0	1 8.3		
	借家住宅(一戸建て)	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	
	賃貸住宅(アパート、マンション)	20 100.0	1 5.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	7 35.0	2 10.0	0 0.0	
	勤務先給与住宅(公務員住宅・社宅・寮など)	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	間借り、その他	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	

●転倒では、自宅の中では、庭が18.3%で最多、次に居間と玄関が9.8%で2番目に高い。

◆表 ケガの原因別◆

		サンプル数	自宅(居間)	自宅(寝室)	自宅(風呂)	自宅(階段)	自宅(玄関)	自宅(台所)	自宅の庭	自宅(157以外)	学校	勤務先	仕事先の現場	農地・林地	公園	駅・バス停	商業・飲食・娯楽施設	スポーツ施設	道路・歩道	その他	無回答	
上段:実数、下段:%																						
全体		158 100.0	11 7.0	7 4.4	4 2.5	5 3.2	11 7.0	7 4.4	28 17.7	11 7.0	0 0.0	2 1.3	3 1.9	13 8.2	0 0.0	3 1.9	5 3.2	2 1.3	29 18.4	13 8.2	4 2.5	
ケガの原因	交通事故	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 75.0	1 12.5	1 12.5
	転倒	82 100.0	8 9.8	5 6.1	4 4.9	2 2.4	8 9.8	1 1.2	15 18.3	5 6.1	0 0.0	1 1.2	0 0.0	4 4.9	0 0.0	3 3.7	3 3.7	1 1.2	22 27.0	3 3.7	1 1.2	
	転落	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 15.0	0 0.0
	接触・衝突	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	5 50.0	0 0.0	0 0.0
	はさまれた	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 33.3	0 0.0
	モノの落下	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	熱いものに触れた	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	鋭利なものへの接触	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0
	虫などにさされた・蛇などにかまれた	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0
	犬などにかまれた	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	暴行	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	異物を飲んだ	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	重い物を持った	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	21 100.0	2 9.5	2 9.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8	1 4.8	1 4.8	4 19.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 9.5	0 0.0	0 0.0	1 4.8	1 4.8	4 19.0	1 4.8	1 4.8

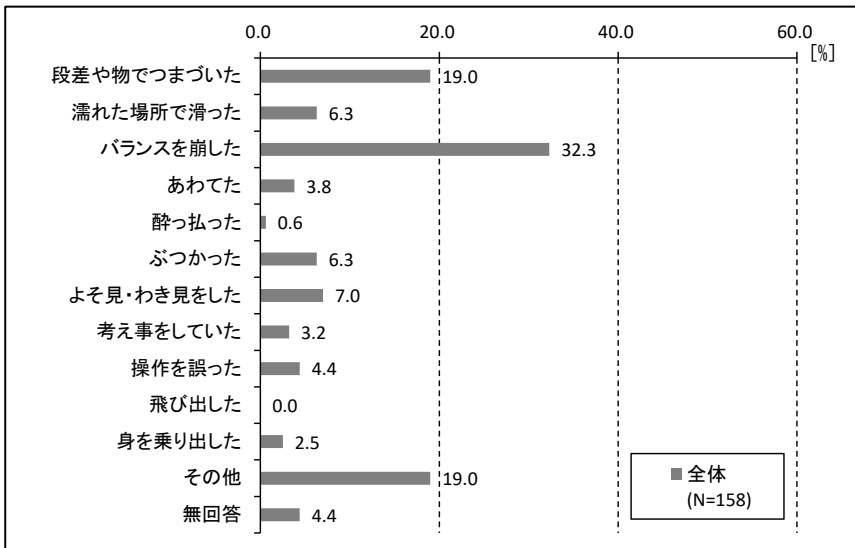


(5) ケガをした状況・きっかけ

問 1-4. ケガをした状況・きっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

ケガをしたきっかけは、「バランスを崩した」人が3割以上

- ケガをしたときの状況・きっかけについて、「バランスを崩した」が32.3%で最も高い。
- その他の内訳について、「草取り中」「交通事故」の回答が多くみられた。



【属性別特徴】

- 女性・65～69歳では、「バランスを崩した」の割合が高い。
- 女性・80歳以上では、「段差や物でつまづいた」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	段差や物でつまづいた	濡れた場所で滑った	バランスを崩した	あわてた	酔っ払った	ぶつかった	よそ見・わき見をした	考え事をしてた	操作を誤った	飛び出した	身を乗り出した	その他	無回答	
上段:実数、下段:%																
全体		158 100.0	30 19.0	10 6.3	51 32.3	6 3.8	1 0.6	10 6.3	11 7.0	5 3.2	7 4.4	0 0.0	4 2.5	30 19.0	7 4.4	
性別	男性	65 100.0	9 13.8	4 6.2	20 30.8	2 3.1	1 1.5	4 6.2	7 10.8	2 3.1	5 7.7	0 0.0	2 3.1	13 20.0	2 3.1	
	女性	91 100.0	19 20.9	6 6.6	31 34.1	4 4.4	0 0.0	6 6.6	4 4.4	3 3.3	2 2.2	0 0.0	2 2.2	17 18.7	5 5.5	
	回答しない	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	18 100.0	2 11.1	1 5.6	5 27.8	2 11.1	1 5.6	1 5.6	1 5.6	0 0.0	5 27.8	0 0.0	0 0.0	5 27.8	0 0.0
		女性	24 100.0	4 16.7	4 16.7	11 45.8	2 8.3	0 0.0	1 4.2	0 0.0	1 4.2	1 4.2	0 0.0	1 4.2	16 66.7	0 0.0
	70～74歳	男性	15 100.0	1 6.7	1 6.7	4 26.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 26.7	1 6.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	3 20.0
		女性	18 100.0	1 5.6	1 5.6	4 22.2	0 0.0	0 0.0	1 5.6	2 11.1	2 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 22.2	3 16.7
	75～79歳	男性	11 100.0	3 27.3	0 0.0	4 36.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	0 0.0	2 18.2	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0
		女性	17 100.0	3 17.6	1 5.9	6 35.3	0 0.0	0 0.0	4 23.5	1 5.9	0 0.0	1 5.9	0 0.0	1 5.9	11 64.7	0 0.0
	80歳以上	男性	20 100.0	3 15.0	2 10.0	7 35.0	0 0.0	0 0.0	3 15.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	1 5.0	4 20.0	0 0.0
		女性	32 100.0	11 34.4	0 0.0	10 31.3	2 6.3	0 0.0	0 0.0	1 3.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 21.9	2 6.3

# 1 「主なケガ」について

●転倒では、「バランスを崩した」47.6%で最多、「段差や物でつまづいた」が30.5%で2番目に高い。

◆表 ケガの原因別◆

	サンプル数	段差や物でつまづいた	濡れた場所で滑った	バランスを崩した	あわてた	酔っ払った	ぶつかった	よそ見・わき見をした	考え事をしてた	操作を誤った	飛び出した	身を乗り出した	その他	無回答	
上段:実数、下段:%															
全体	158 100.0	30 19.0	10 6.3	51 32.3	6 3.8	1 0.6	10 6.3	11 7.0	5 3.2	7 4.4	0 0.0	4 2.5	30 19.0	7 4.4	
ケガの原因	交通事故	8 100.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 62.5	1 12.5
	転倒	82 100.0	25 30.5	8 9.8	39 47.6	2 2.4	1 1.2	3 3.7	3 3.7	1 1.2	0 0.0	0 0.0	2 2.4	5 6.1	0 0.0
	転落	8 100.0	0 0.0	1 12.5	5 62.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
	接触・衝突	6 100.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0
	はさまれた	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0
	モノの落下	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	熱いものに触れた	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	鋭利なものへの接触	9 100.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	4 44.4	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0
	虫などにさされた・蛇などにかまれた	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7	1 16.7
	犬などにかまれた	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	暴行	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	異物を飲んだ	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	重い物を持った	5 100.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0
	その他	21 100.0	1 4.8	1 4.8	2 9.5	2 9.5	0 0.0	3 14.3	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 38.1	3 14.3

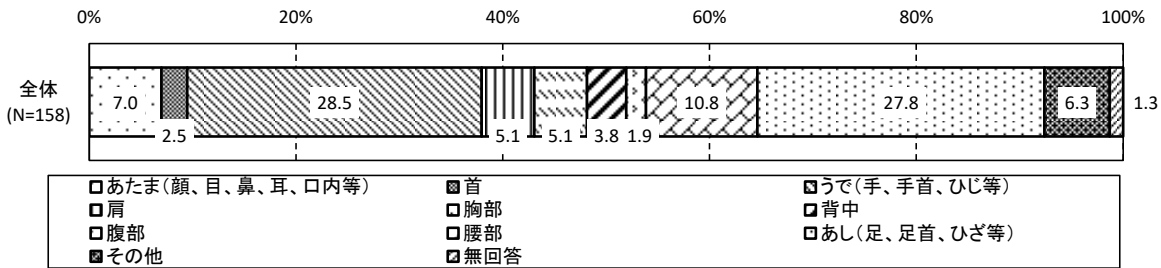
(6) ケガをした部位

問 1-5. ケガをした部位（からだの場所）はどこですか。（○はひとつ）

※一番ひどく、傷の深かった部位や骨折、出血した部位を選んでください。

ケガをした部位は、「うで」と「あし」がそれぞれ3割程度

●ケガをした部位について、「うで」が28.5%で最も高く、次いで「あし」が27.8%と続く。



【属性別特徴】

- 女性・65～69歳、女性・75～79歳では、「あし」の割合が高い。
- 男女・70～74歳では、「うで」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	あたま(顔、目、鼻、耳、口内等)	首	うで(手、手首、ひじ等)	肩	胸部	背中	腹部	腰部	あし(足、足首、ひざ等)	その他	無回答	
上段:実数、下段:%														
全体		158	11	4	45	8	8	6	3	17	44	10	2	
		100.0	7.0	2.5	28.5	5.1	5.1	3.8	1.9	10.8	27.8	6.3	1.3	
性別	男性	65	4	3	20	4	5	3	0	8	14	3	1	
		100.0	6.2	4.6	30.8	6.2	7.7	4.6	0.0	12.3	21.5	4.6	1.5	
	女性	91	7	1	25	4	3	3	3	9	28	7	1	
		100.0	7.7	1.1	27.5	4.4	3.3	3.3	3.3	9.9	30.8	7.7	1.1	
	回答しない	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	18	0	2	6	1	1	2	0	1	5	0	0
			100.0	0.0	11.1	33.3	5.6	5.6	11.1	0.0	5.6	27.8	0.0	0.0
		女性	24	0	1	6	2	0	1	1	10	2	0	0
			100.0	0.0	4.2	25.0	8.3	0.0	4.2	4.2	41.7	8.3	0.0	0.0
	70～74歳	男性	15	0	0	6	1	1	0	0	2	5	0	0
			100.0	0.0	0.0	40.0	6.7	6.7	0.0	0.0	13.3	33.3	0.0	0.0
		女性	18	1	0	8	0	0	0	1	3	3	2	0
			100.0	5.6	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	5.6	16.7	16.7	11.1	0.0
75～79歳	男性	11	0	0	2	2	2	0	0	1	2	2	0	
		100.0	0.0	0.0	18.2	18.2	18.2	0.0	0.0	9.1	18.2	18.2	0.0	
	女性	17	1	0	6	1	0	0	0	1	7	1	0	
		100.0	5.9	0.0	35.3	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	41.2	5.9	0.0	
80歳以上	男性	20	4	1	6	0	1	1	0	4	2	1	0	
		100.0	20.0	5.0	30.0	0.0	5.0	5.0	0.0	20.0	10.0	5.0	0.0	
	女性	32	5	0	5	1	3	2	1	4	8	2	1	
		100.0	15.6	0.0	15.6	3.1	9.4	6.3	3.1	12.5	25.0	6.3	3.1	

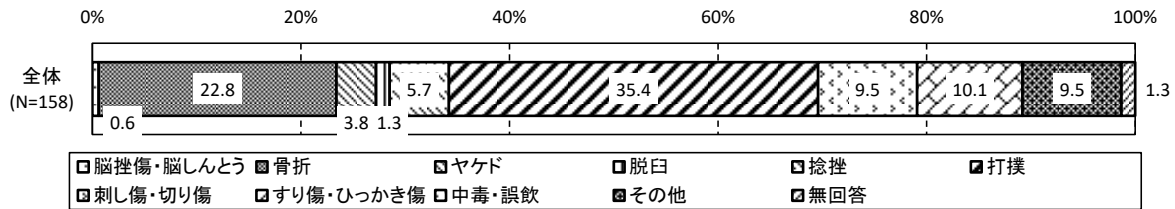
# 1 「主なケガ」について

## (7) ケガの種類

問 1-6. どのようなケガでしたか。(○はひとつ)

ケガの種類は、「打撲」が3割以上

●ケガの種類について、「打撲」が35.4%で最も高い。



### 【属性別特徴】

- 女性・65～69歳、女性・75歳以上では、「打撲」の割合が高い。
- 男性・75～79歳では、「骨折」の割合が高い。

### ◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	脳挫傷・脳しんとう	骨折	ヤケド	脱臼	捻挫	打撲	刺し傷・切り傷	すり傷・ひっかき傷	中毒・誤飲	その他	無回答	
上段:実数、下段:%														
全体		158 100.0	1 0.6	36 22.8	6 3.8	2 1.3	9 5.7	56 35.4	15 9.5	16 10.1	0 0.0	15 9.5	2 1.3	
性別	男性	65 100.0	1 1.5	15 23.1	2 3.1	1 1.5	4 6.2	15 23.1	7 10.8	11 16.9	0 0.0	8 12.3	1 1.5	
	女性	91 100.0	0 0.0	21 23.1	4 4.4	1 1.1	5 5.5	39 42.9	8 8.8	5 5.5	0 0.0	7 7.7	1 1.1	
	回答しない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	18 100.0	0 0.0	5 27.8	0 0.0	0 0.0	1 5.6	4 22.2	3 16.7	3 16.7	0 0.0	1 11.1	0 0.0
		女性	24 100.0	0 0.0	6 25.0	0 0.0	1 4.2	2 8.3	12 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0
	70～74歳	男性	15 100.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	3 20.0	2 13.3	1 6.7	0 0.0	5 33.3	0 0.0
		女性	18 100.0	0 0.0	5 27.8	2 11.1	0 0.0	0 0.0	5 27.8	1 5.6	2 11.1	0 0.0	3 16.7	0 0.0
	75～79歳	男性	11 100.0	0 0.0	5 45.5	1 9.1	1 9.1	0 0.0	2 18.2	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		女性	17 100.0	0 0.0	4 23.5	1 5.9	0 0.0	1 5.9	8 47.1	0 0.0	1 5.9	0 0.0	1 11.8	0 0.0
	80歳以上	男性	20 100.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0	2 10.0	6 30.0	1 5.0	6 30.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0
		女性	32 100.0	0 0.0	6 18.8	1 3.1	0 0.0	2 6.3	14 43.8	5 15.6	2 6.3	0 0.0	1 3.1	1 3.1

●ケガの原因が転倒では、「打撲」の割合が高い。

◆表 ケガの原因別◆

	サンプル数	脳挫傷・脳しんとう	骨折	ヤケド	脱臼	捻挫	打撲	刺し傷・切り傷	すり傷・ひっかき傷	中毒・誤飲	その他	無回答
上段:実数、下段:%												
全体	158 100.0	1 0.6	36 22.8	6 3.8	2 1.3	9 5.7	56 35.4	15 9.5	16 10.1	0 0.0	15 9.5	2 1.3
ケガの原因	交通事故	8 100.0	0 0.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	転倒	82 100.0	1 1.2	23 28.0	0 0.0	1 1.2	6 7.3	41 50.0	1 1.2	8 9.8	0 0.0	1 1.2
	転落	8 100.0	0 0.0	6 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5
	接触・衝突	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	はさまれた	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7
	モノの落下	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	熱いものに触れた	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	鋭利なものへの接触	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 77.8	2 22.2	0 0.0	0 0.0
	虫などにさされた・蛇などにかまれた	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	4 66.7
	犬などにかまれた	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	暴行	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	異物を飲んだ	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	重い物を持った	5 100.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
	その他	21 100.0	0 0.0	3 14.3	1 4.8	0 0.0	2 9.5	4 19.0	3 14.3	1 4.8	0 0.0	6 28.6

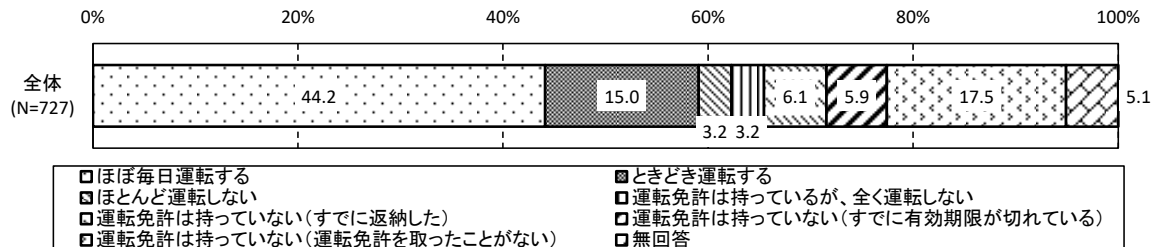
## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

### (8) 自動車やバイクの運転状況

問 2. あなたは、普段、自動車やバイク（原付を含む）を運転しますか。（○はひとつ）

自動車やバイクの運転状況は、「ほぼ毎日運転する」人が4割以上

●自動車やバイクの運転状況について、「ほぼ毎日運転する」が44.2%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性・70～79歳、男女・65～69歳では、「ほぼ毎日運転する」の割合が高い。
- 女性・75歳以上では、「運転免許証は持っていない」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	ほぼ毎日運転する	ときどき運転する	ほとんど運転しない	全く運転免許は持っているが、	運転免許は持っているが、全く運転しない(すでに返納した)	運転免許は持っているが、時々運転する(すでに有効期限が切れている)	運転免許は持っていない(すでに有効期限が切れている)	運転免許は持っていない(運転免許を取ったことがない)	無回答	
上段:実数、下段:%												
全体		727	321	109	23	23	44	43	127	37		
		100.0	44.2	15.0	3.2	3.2	6.1	5.9	17.5	5.1		
性別	男性	302	186	56	6	8	15	7	16	8		
		100.0	61.6	18.5	2.0	2.6	5.0	2.3	5.3	2.6		
	女性	417	134	52	17	14	29	36	108	27		
		100.0	32.1	12.5	4.1	3.4	7.0	8.6	25.9	6.5		
	回答しない	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
性別・年代別	65～69歳	男性	102	78	14	2	3	0	0	3	2	
			100.0	76.5	13.7	2.0	2.9	0.0	0.0	2.9	2.0	
		女性	131	68	21	4	10	2	6		4	
			100.0	51.9	16.0	3.1	7.6	1.5	4.6	12.2	3.1	
	70～74歳	男性	79	53	11	3	3	1	3	5	0	
			100.0	67.1	13.9	3.8	3.8	1.3	3.8	6.3	0.0	
		女性	90	36	14	3	4	3	8	18	4	
			100.0	40.0	15.6	3.3	4.4	3.3	8.9	20.0	4.4	
	75～79歳	男性	51	29	13	0	1	5	0	2	1	
			100.0	56.9	25.5	0.0	2.0	9.8	0.0	3.9	2.0	
		女性	81	16	8	3	0	11	7	27	9	
			100.0	19.8	9.9	3.7	0.0	13.6	8.6	33.3	11.1	
80歳以上	男性	67	24	18	1	1	9	3	6	5		
		100.0	35.8	26.9	1.5	1.5	13.4	4.5	9.0	7.5		
	女性	112	14	9	7	0	12	14	47	9		
		100.0	12.5	8.0	6.3	0.0	10.7	12.5	42.0	8.0		

## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

● 東部 B、西部 A では、「ほぼ毎日運転する」の割合が高い

◆ 表 居住校区別 ◆

		サ ン プ ル 数	ほ ぼ 毎 日 運 転 す る	と き ど き 運 転 す る	ほ と ん ど 運 転 し な い	全 く 運 転 し な い	運 転 免 許 は 持 つ て い な い が、	運 転 免 許 は 持 つ て い な い （ す で に 返 納 し た ）	運 転 免 許 は 持 つ て い な い （ す で に 有 効 期 限 が 切 れ て い る ）	運 転 免 許 は 持 つ て い な い （ 運 転 免 許 を 取 つ た こ と が な い ）	運 転 免 許 は 持 つ て い な い （ 運 転 免 許 を 取 つ て い な い ）	無 回 答	
上段:実数、下段:%													
全 体		727 100.0	321 44.2	109 15.0	23 3.2	23 3.2	44 6.1	43 5.9	127 17.5	37 5.1			
居 住 校 区	東部A	53 100.0	29 54.7	3 5.7	1 1.9	2 3.8	4 7.5	4 7.5	7 13.2	3 5.7			
	東部B	45 100.0	29 64.4	4 8.9	1 2.2	1 2.2	1 2.2	1 2.2	7 15.6	1 2.2			
	北部A	66 100.0	31 47.0	8 12.1	2 3.0	1 1.5	6 9.1	1 1.5	14 21.2	3 4.5			
	北部B	43 100.0	22 51.2	7 16.3	2 4.7	2 4.7	1 2.3	2 4.7	4 9.3	3 7.0			
	中央東部	78 100.0	32 41.0	17 21.8	3 3.8	3 3.8	4 5.1	5 6.4	11 14.1	3 3.8			
	南東部	77 100.0	35 45.5	14 18.2	2 2.6	1 1.3	6 7.8	5 6.5	10 13.0	4 5.2			
	中央部	90 100.0	26 28.9	17 18.9	4 4.4	6 6.7	6 6.7	5 5.6	21 23.3	5 5.6			
	中央南部	117 100.0	32 27.4	14 12.0	5 4.3	4 3.4	11 9.4	15 12.8	26 22.2	10 8.5			
	南西部	69 100.0	32 46.4	13 18.8	1 1.4	1 1.4	4 5.8	3 4.3	14 20.3	1 1.4			
	西部A	28 100.0	21 75.0	1 3.6	2 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.6	3 10.7	0 0.0		
	西部B	44 100.0	27 61.4	10 22.7	0 0.0	0 0.0	1 2.3	0 0.0	0 0.0	4 9.1	2 4.5		

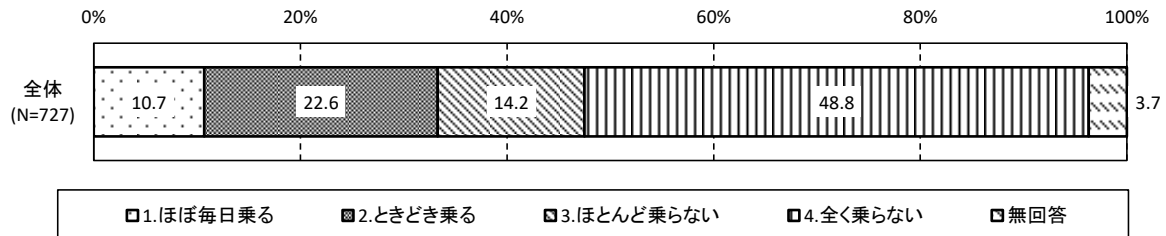
## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

### (9) 自転車の利用状況

問 3. あなたは、普段、自転車に乗りますか。(○はひとつ)

自転車は「全く乗らない」人が約半数

●自転車の利用状況について、「全く乗らない」が48.8%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性・70～79歳では、「ときどき乗る」の割合が高い。
- 東部B、南東部、西部Aでは、「全く乗らない」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1. ほぼ毎日乗る	2. ときどき乗る	3. ほとんど乗らない	4. 全く乗らない	無回答	
上段:実数、下段:%								
全体		727 100.0	78 10.7	164 22.6	103 14.2	355 48.8	27 3.7	
性別	男性	302 100.0	33 10.9	95 31.5	57 18.9	108 35.8	9 3.0	
	女性	417 100.0	44 10.6	69 16.5	44 10.6	242 58.0	18 4.3	
	回答しない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102 100.0	10 9.8	30 29.4	30 29.4	31 30.4	1 1.0
		女性	131 100.0	20 15.3	26 19.8	17 13.0	65 49.6	3 2.3
	70～74歳	男性	79 100.0	11 13.9	32 40.5	11 13.9	22 27.8	3 3.8
		女性	90 100.0	7 7.8	19 21.1	11 12.2	50 55.6	3 3.3
	75～79歳	男性	51 100.0	4 7.8	17 33.3	8 15.7	21 41.2	1 2.0
		女性	81 100.0	12 14.8	17 21.0	5 6.2	43 53.1	4 4.9
	80歳以上	男性	67 100.0	7 10.4	15 22.4	8 11.9	34 50.7	3 4.5
		女性	112 100.0	5 4.5	7 6.3	11 9.8	82 73.2	7 6.3

◆表 居住校區別◆

		サンプル数	1. ほぼ毎日乗る	2. ときどき乗る	3. ほとんど乗らない	4. 全く乗らない	無回答
上段:実数、下段:%							
全体		727 100.0	78 10.7	164 22.6	103 14.2	355 48.8	27 3.7
居住校區	東部A	53 100.0	7 13.2	12 22.6	4 7.5	28 52.8	2 3.8
	東部B	45 100.0	1 2.2	6 13.3	11 24.4	26 57.8	1 2.2
	北部A	66 100.0	9 13.6	18 27.3	10 15.2	27 40.9	2 3.0
	北部B	43 100.0	2 4.7	8 18.6	13 30.2	18 41.9	2 4.7
	中央東部	78 100.0	10 12.8	22 28.2	5 6.4	37 47.4	4 5.1
	南東部	77 100.0	3 3.9	14 18.2	9 11.7	44 57.1	7 9.1
	中央部	90 100.0	7 7.8	20 22.2	15 16.7	47 52.2	1 1.1
	中央南部	117 100.0	20 17.1	29 24.8	11 9.4	52 44.4	5 4.3
	南西部	69 100.0	6 8.7	16 23.2	8 11.6	36 52.2	3 4.3
	西部A	28 100.0	2 7.1	8 28.6	2 7.1	16 57.1	0 0.0
	西部B	44 100.0	8 18.2	9 20.5	13 29.5	14 31.8	0 0.0



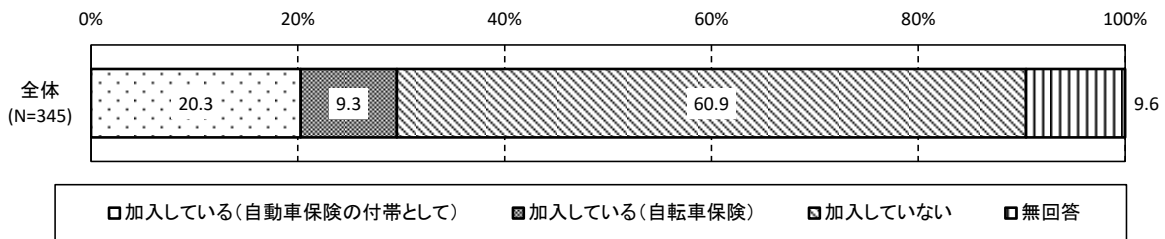
(10) 自転車保険等の加入状況

問3で、「1」～「3」と回答された方にお聞きします。

問3-1. あなたは、自転車運転中の加害事故に関する賠償責任に備えて、自転車保険等に加入していますか。(〇はひとつ)

約6割が自転車保険に「加入していない」

●自転車保険等の加入状況について、「加入していない」が60.9%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男性・75～79歳では、「加入している（自動車保険の付帯として）」の割合が高い。
- 女性・70～79歳では、「加入していない」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	の加入している(自動車保険の付帯として)	加入している(自転車保険)	加入していない	無回答	
上段:実数、下段:%							
全体		345	70	32	210	33	
		100.0	20.3	9.3	60.9	9.6	
性別	男性	185	41	14	111	19	
		100.0	22.2	7.6	60.0	10.3	
	女性	157	29	18	97	13	
		100.0	18.5	11.5	61.8	8.3	
	回答しない	1	0	0	1	0	
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	70	16	3	46	5
			100.0	22.9	4.3	65.7	7.1
	女性	63	12	10	33	8	
		100.0	19.0	15.9	52.4	12.7	
	70～74歳	男性	54	11	8	31	4
			100.0	20.4	14.8	57.4	7.4
	女性	37	7	3	26	1	
		100.0	18.9	8.1	70.3	2.7	
	75～79歳	男性	29	10	1	14	4
			100.0	34.5	3.4	48.3	13.8
	女性	34	6	3	24	1	
		100.0	17.6	8.8	70.6	2.9	
80歳以上	男性	30	4	2	18	6	
		100.0	13.3	6.7	60.0	20.0	
女性	23	4	2	14	3		
	100.0	17.4	8.7	60.9	13.0		

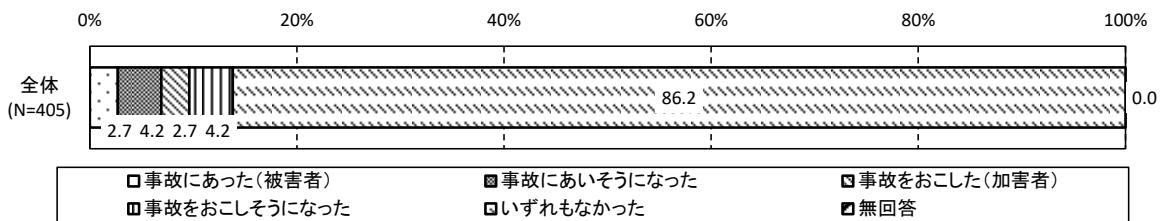
## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

### (11) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（自動車の運転中）

問 4-a. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。

自動車の運転中の事故または事故にあいそうになった経験は、8割以上が「いずれもなかった」と回答

●交通事故にあった又はあいそうになった経験（自動車の運転中）について、「いずれもなかった」が86.2%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

●属性別にみても、特に大きな差はみられない。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	事故にあつた(被害者)	事故にあいそうになった	事故をおこした(加害者)	事故をおこしそうになった	いずれもなかった	無回答	
上段:実数、下段:%									
全 体		405	11	17	11	17	349	0	
		100.0	2.7	4.2	2.7	4.2	86.2	0.0	
性別	男性	213	7	11	8	12	175	0	
		100.0	3.3	5.2	3.8	5.6	82.2	0.0	
	女性	189	4	6	3	5	171	0	
		100.0	2.1	3.2	1.6	2.6	90.5	0.0	
	回答しない	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	86	2	3	5	3	73	0
			100.0	2.3	3.5	5.8	3.5	84.9	0.0
		女性	77	3	3	1	4	66	0
			100.0	3.9	3.9	1.3	5.2	85.7	0.0
	70～74歳	男性	50	2	4	2	4	38	0
			100.0	4.0	8.0	4.0	8.0	76.0	0.0
		女性	47	0	2	1	0	44	0
			100.0	0.0	4.3	2.1	0.0	93.6	0.0
	75～79歳	男性	39	2	2	0	3	32	0
			100.0	5.1	5.1	0.0	7.7	82.1	0.0
		女性	32	1	1	0	1	29	0
			100.0	3.1	3.1	0.0	3.1	90.6	0.0
80歳以上	男性	37	1	2	1	2	31	0	
		100.0	2.7	5.4	2.7	5.4	83.8	0.0	
	女性	33	0	0	1	0	32	0	
		100.0	0.0	0.0	3.0	0.0	97.0	0.0	

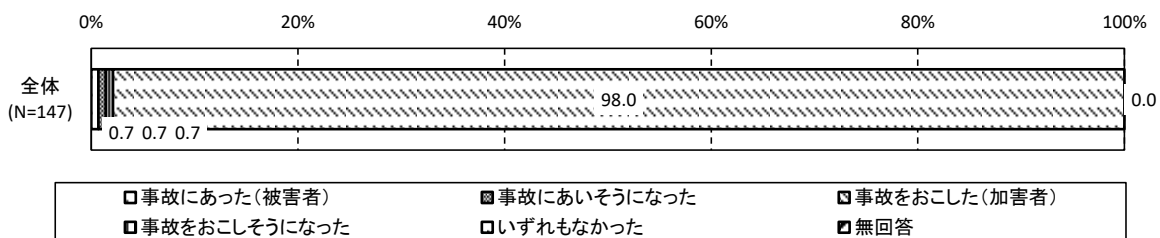
## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

### (12) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（バイクの運転中）

問 4-b. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。

バイクの運転中の事故または事故にあいそうになった経験は、9割以上が「いずれもなかった」と回答

●交通事故にあった又はあいそうになった経験（バイクの運転中）について、「いずれもなかった」が98.0%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

●属性別にみても、特に大きな差はみられない。

#### ◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	事故にあった(被害者)	事故にあいそうになった	事故をおこした(加害者)	事故をおこしそうなった	いずれもなかった	無回答	
上段:実数、下段:%									
全体		147	1	1	0	1	144	0	
		100.0	0.7	0.7	0.0	0.7	98.0	0.0	
性別	男性	66	0	1	0	1	64	0	
		100.0	0.0	1.5	0.0	1.5	97.0	0.0	
	女性	81	1	0	0	0	80	0	
	100.0	1.2	0.0	0.0	0.0	98.8	0.0		
	回答しない	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	27	0	0	0	1	26	0
			100.0	0.0	0.0	0.0	3.7	96.3	0.0
		女性	26	0	0	0	0	26	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	70～74歳	男性	18	0	1	0	0	17	0
			100.0	0.0	5.6	0.0	0.0	94.4	0.0
		女性	16	0	0	0	0	16	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	75～79歳	男性	12	0	0	0	0	12	0
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		女性	19	1	0	0	0	18	0
		100.0	5.3	0.0	0.0	0.0	94.7	0.0	
80歳以上	男性	8	0	0	0	0	8	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	女性	20	0	0	0	0	20	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		

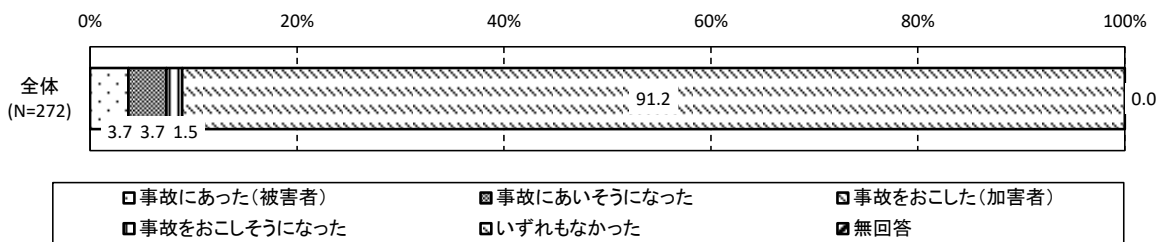
## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

### (13) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（自転車の運転中）

問 4-c. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。

自転車の運転中の事故または事故にあいそうになった経験は、9割以上が「いずれもなかった」と回答

●交通事故にあった又はあいそうになった経験（自転車の運転中）について、「いずれもなかった」が91.2%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

●属性別にみても、特に大きな差はみられない。

#### ◆表 性別・年代別◆

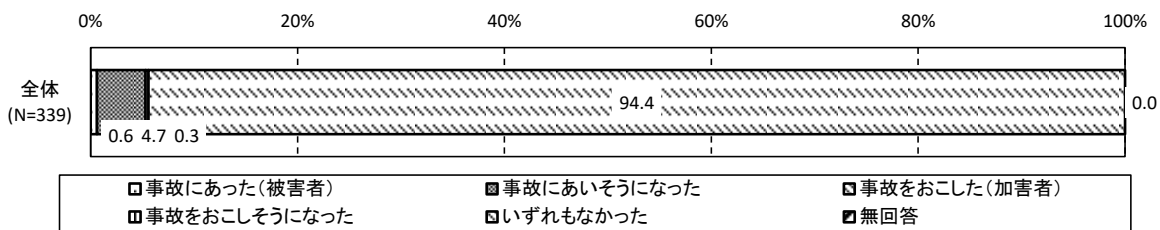
		サンプル数	事故にあった(被害者)	事故にあいそうになった	事故をおこした(加害者)	事故をおこしそうなった	いずれもなかった	無回答	
上段:実数、下段:%									
全体		272	10	10	0	4	248	0	
		100.0	3.7	3.7	0.0	1.5	91.2	0.0	
性別	男性	134	6	2	0	2	124	0	
		100.0	4.5	1.5	0.0	1.5	92.5	0.0	
	女性	137	4	8	0	2	123	0	
		100.0	2.9	5.8	0.0	1.5	89.8	0.0	
	回答しない	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	54	2	0	0	0	52	0
			100.0	3.7	0.0	0.0	0.0	96.3	0.0
		女性	48	2	5	0	2	39	0
			100.0	4.2	10.4	0.0	4.2	81.3	0.0
	70～74歳	男性	35	2	1	0	1	31	0
			100.0	5.7	2.9	0.0	2.9	88.6	0.0
		女性	33	1	1	0	0	31	0
			100.0	3.0	3.0	0.0	0.0	93.9	0.0
	75～79歳	男性	24	1	0	0	1	22	0
			100.0	4.2	0.0	0.0	4.2	91.7	0.0
		女性	33	1	2	0	0	30	0
			100.0	3.0	6.1	0.0	0.0	90.9	0.0
80歳以上	男性	20	1	1	0	0	18	0	
		100.0	5.0	5.0	0.0	0.0	90.0	0.0	
	女性	23	0	0	0	0	23	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

(14) 交通事故にあった又はあいそうになった経験（歩行中）

問 4-d. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。

歩行中に事故または事故にあいそうになった経験は、9割以上が「いずれもなかった」と回答

●交通事故にあった又はあいそうになった経験（歩行中）について、「いずれもなかった」が94.4%で最も高い。



【属性別特徴】

●属性別にみても、特に大きな差はみられない。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	事故にあった(被害者)	事故にあいそうになった	事故をおこした(加害者)	事故をおこしそうになった	いずれもなかった	無回答	
上段:実数、下段:%									
全 体		339	2	16	0	1	320	0	
		100.0	0.6	4.7	0.0	0.3	94.4	0.0	
性別	男性	156	1	9	0	1	145	0	
		100.0	0.6	5.8	0.0	0.6	92.9	0.0	
	女性	181	1	7	0	0	173	0	
		100.0	0.6	3.9	0.0	0.0	95.6	0.0	
	回答しない	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	61	0	3	0	0	58	0
			100.0	0.0	4.9	0.0	0.0	95.1	0.0
	女性	59	1	2	0	0	56	0	
		100.0	1.7	3.4	0.0	0.0	94.9	0.0	
	70～74歳	男性	37	0	1	0	0	36	0
			100.0	0.0	2.7	0.0	0.0	97.3	0.0
	女性	39	0	3	0	0	36	0	
		100.0	0.0	7.7	0.0	0.0	92.3	0.0	
	75～79歳	男性	28	0	3	0	1	24	0
			100.0	0.0	10.7	0.0	3.6	85.7	0.0
	女性	40	0	1	0	0	39	0	
		100.0	0.0	2.5	0.0	0.0	97.5	0.0	
80歳以上	男性	29	1	2	0	0	26	0	
		100.0	3.4	6.9	0.0	0.0	89.7	0.0	
女性	42	0	1	0	0	41	0		
	100.0	0.0	2.4	0.0	0.0	97.6	0.0		

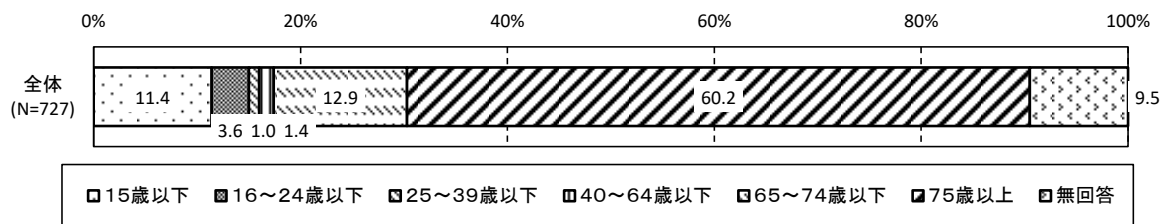
## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

### (15) 交通事故にあう危険性が1番高いと思う年齢層

問 5-a. あなたは、交通事故にあう（被害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。

交通事故にあう危険性が1番高いと思われる年齢は「75歳以上」

● 交通事故にあう危険性が1番高いと思う年齢層について、「75歳以上」が60.2%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

● 属性別にみても、特に大きな差はみられない。

#### ◆ 表 性別・年代別 ◆

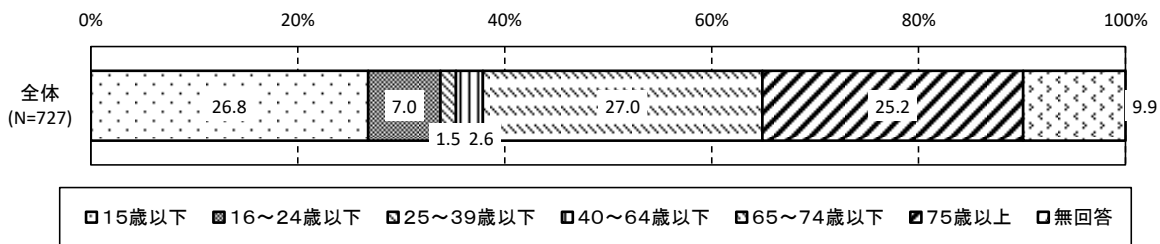
		サンプル数	15歳以下	16~24歳以下	25~39歳以下	40~64歳以下	65~74歳以下	75歳以上	無回答	
上段:実数、下段:%										
全体		727	83	26	7	10	94	438	69	
		100.0	11.4	3.6	1.0	1.4	12.9	60.2	9.5	
性別	男性	302	35	15	6	6	40	178	22	
		100.0	11.6	5.0	2.0	2.0	13.2	58.9	7.3	
	女性	417	48	11	1	4	54	257	42	
		100.0	11.5	2.6	0.2	1.0	12.9	61.6	10.1	
	回答しない	1	0	0	0	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65~69歳	男性	102	10	5	1	3	14	67	2
			100.0	9.8	4.9	1.0	2.9	13.7	65.7	2.0
	女性	131	19	6	1	1	13	82		
			100.0	14.5	4.6	0.8	0.8	9.9	62.6	6.9
	70~74歳	男性	79	12	5	4	1	10	39	8
			100.0	15.2	6.3	5.1	1.3	12.7	49.4	10.1
	女性	90	11	1	0	2	16	56	4	
			100.0	12.2	1.1	0.0	2.2	17.8	62.2	4.4
	75~79歳	男性	51	3	2	0	1	9	33	3
			100.0	5.9	3.9	0.0	2.0	17.6	64.7	5.9
	女性	81	8	3	0	1	12	52	5	
			100.0	9.9	3.7	0.0	1.2	14.8	64.2	6.2
80歳以上	男性	67	10	3	1	1	7	37	8	
		100.0	14.9	4.5	1.5	1.5	10.4	55.2	11.9	
女性	112	10	1	0	0	13	66	22		
		100.0	8.9	0.9	0.0	0.0	11.6	58.9	19.6	

(16) 交通事故にあう危険性が2番目に高いと思う年齢層

問5-b. あなたは、交通事故にあう（被害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。

交通事故にあう危険性が2番目に高いと思われる年齢は「65～74歳」

●交通事故にあう危険性が2番目に高いと思う年齢層について、「65～74歳」が27.0%で最も高く、次いで「15以下」が26.8%、「75歳以上」が25.2%と続く。



【属性別特徴】

- 男女・65～69歳では、「15歳以下」の割合が高い。
- 男性・75～79歳では、「65～74歳」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	15歳以下	16～24歳以下	25～39歳以下	40～64歳以下	65～74歳以下	75歳以上	無回答	
上段:実数、下段:%										
全体		727	195	51	11	19	196	183	72	
		100.0	26.8	7.0	1.5	2.6	27.0	25.2	9.9	
性別	男性	302	78	20	7	7	87	73	30	
		100.0	25.8	6.6	2.3	2.3	28.8	24.2	9.9	
	女性	417	114	31	4	12	109	108	39	
		100.0	27.3	7.4	1.0	2.9	26.1	25.9	9.4	
	回答しない	1	0	0	0	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	34	5	3	2	29	23	6
			100.0	33.3	4.9	2.9	2.0	28.4	22.5	5.9
	70～74歳	女性	131	46	11	1	3	38	24	6
			100.0	35.1	8.4	0.8	2.3	29.0	18.3	6.1
	75～79歳	男性	79	13	7	3	4	25	19	8
			100.0	16.5	8.9	3.8	5.1	31.6	24.1	10.1
	80歳以上	女性	90	25	9	2	4	23	22	5
			100.0	27.8	10.0	2.2	4.4	25.6	24.4	5.6
	75～79歳	男性	51	12	3	0	1	18	12	5
			100.0	23.5	5.9	0.0	2.0	35.3	23.5	9.8
	80歳以上	女性	81	18	7	1	2	25	25	3
			100.0	22.2	8.6	1.2	2.5	30.9	30.9	3.7
80歳以上	男性	67	19	5	1	0	13	19	10	
		100.0	28.4	7.5	1.5	0.0	19.4	28.4	14.9	
	女性	112	25	4	0	3	22	37	21	
		100.0	22.3	3.6	0.0	2.7	19.6	33.0	18.8	

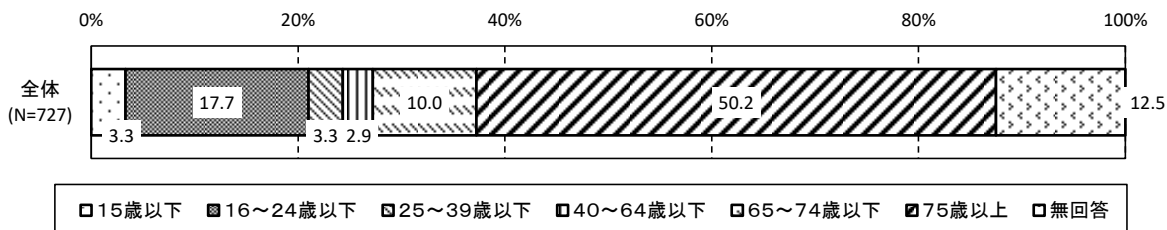
## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

### (17) 交通事故をおこす危険性が1番高いと思う年齢層

問 6-a. あなたは、交通事故をおこす（加害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。

交通事故をおこす危険性が1番高いと思われる年齢は「75歳以上」

●交通事故をおこす危険性が1番高いと思う年齢層について、「75歳以上」が50.2%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性・70～74歳では、「16～24歳以下」の割合が高い。
- 男性・80歳以上では、「75歳以上」の割合が高い。

#### ◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	15歳以下	16~24歳以下	25~39歳以下	40~64歳以下	65~74歳以下	75歳以上	無回答	
上段:実数、下段:%										
全体		727	24	129	24	21	73	365	91	
		100.0	3.3	17.7	3.3	2.9	10.0	50.2	12.5	
性別	男性	302	5	64	13	9	27	156	28	
		100.0	1.7	21.2	4.3	3.0	8.9	51.7	9.3	
	女性	417	18	65	11	12	45	208	58	
		100.0	4.3	15.6	2.6	2.9	10.8	49.9	13.9	
	回答しない	1	0	0	0	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	0	23	3	3	12	56	5
			100.0	0.0	22.5	2.9	2.9	11.8	54.9	4.9
	70～74歳	女性	131	5	21	3	4	14	73	8
			100.0	3.8	16.0	2.3	3.1	10.7	55.7	8.4
	75～79歳	男性	79	3	21	6	1	9	31	8
			100.0	3.8	26.6	7.6	1.3	11.4	39.2	10.1
	80歳以上	女性	90	7	15	3	5	13	38	9
			100.0	7.8	16.7	3.3	5.6	14.4	42.2	10.0
	75～79歳	男性	51	1	10	2	1	2	29	6
			100.0	2.0	19.6	3.9	2.0	3.9	56.9	11.8
	80歳以上	女性	81	1	10	2	0	10	46	12
			100.0	1.2	12.3	2.5	0.0	12.3	56.8	14.8
75～79歳	男性	67	1	10	2	4	4	39	7	
		100.0	1.5	14.9	3.0	6.0	6.0	58.2	10.4	
80歳以上	女性	112	5	18	3	3	8	51	24	
		100.0	4.5	16.1	2.7	2.7	7.1	45.5	21.4	

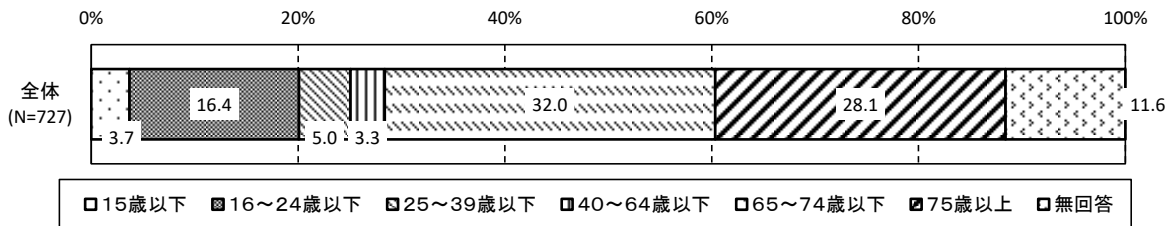


(18) 交通事故をおこす可能性が2番目に高いと思う年齢層

問 6-b. あなたは、交通事故をおこす（加害者となる）危険性が高いのは、どの年齢層の人だと思いますか。危険性が1番高いと思う年齢層と2番目に高いと思う年齢層をそれぞれ1つ選んでください。

交通事故をおこす危険性が2番目に高いと思われる年齢は「65～74歳以下」。

● 交通事故をおこす可能性が2番目に高いと思う年齢層について、「65～74歳以下」が32.0%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男性・65～69歳では、「65～74歳以下」の割合が高い。
- 男性・80歳以上では、「16～24歳以下」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	15歳以下	16～24歳以下	25～39歳以下	40～64歳以下	65～74歳以下	75歳以上	無回答	
上段:実数、下段:%										
全体		727	27	119	36	24	233	204	84	
		100.0	3.7	16.4	5.0	3.3	32.0	28.1	11.6	
性別	男性	302	11	51	21	12	100	81	26	
		100.0	3.6	16.9	7.0	4.0	33.1	26.8	8.6	
	女性	417	16	66	15	12	133	120	55	
		100.0	3.8	15.8	3.6	2.9	31.9	28.8	13.2	
	回答しない	1	0	0	0	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	4	18	8	1	42	25	4
			100.0	3.9	17.6	7.8	1.0	41.2	24.5	3.9
	70～74歳	女性	131	4	27	7	3	48	29	9
			100.0	3.1	20.6	5.3	2.3	36.6	22.1	9.9
	75～79歳	男性	79	4	11	4	5	22	25	8
			100.0	5.1	13.9	5.1	6.3	27.8	31.6	10.1
	80歳以上	女性	90	4	14	1	5	28	30	8
			100.0	4.4	15.6	1.1	5.6	31.1	33.3	8.9
	75～79歳	男性	51	0	6	5	4	18	13	5
			100.0	0.0	11.8	9.8	7.8	35.3	25.5	9.8
	80歳以上	女性	81	1	12	1	2	32	24	9
			100.0	1.2	14.8	1.2	2.5	39.5	29.6	11.1
65～69歳	男性	67	3	16	4	2	17	17	8	
		100.0	4.5	23.9	6.0	3.0	25.4	25.4	11.9	
70～74歳	女性	112	7	13	6	2	24	37	23	
		100.0	6.3	11.6	5.4	1.8	21.4	33.0	20.5	

## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

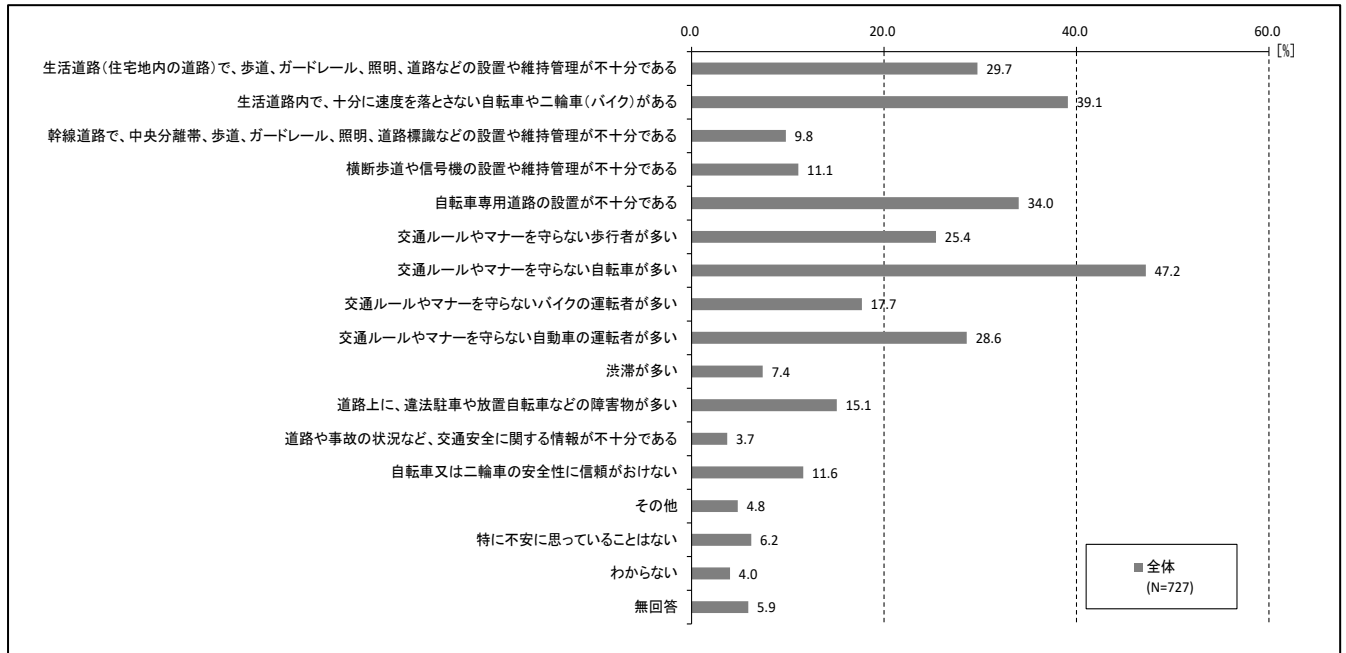
### (19) 交通安全について不安に思っていること

問 7-a. あなたは、交通安全について、不安に思っていることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

交通安全について不安に思うことは、「交通ルールやマナーを守らない自転車が多い」こと

●交通安全について不安に思っていることについて、「交通ルールやマナーを守らない自転車が多い」が47.2%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

●男性・65～69歳、男性・75～79歳では、「生活道路内で、十分に速度を落とさない自転車や二輪車(バイク)がある」「交通ルールやマナーを守らない自動車の運転者が多い」の割合が高い。

#### ◆表 性別・年代別◆

性別・年代別	サンプル数	不安に思っていること																	
		生活道路(住宅地内の道路)で、歩道、ガードレール、照明、道路などの設置や維持管理が不十分である	生活道路内で、十分に速度を落とさない自転車や二輪車(バイク)がある	幹線道路で、中央分離帯、歩道、ガードレール、照明、道路標識などの設置や維持管理が不十分である	横断歩道や信号機の設置や維持管理が不十分である	自転車専用道路の設置が不十分である	交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い	交通ルールやマナーを守らない自転車が多い	交通ルールやマナーを守らないバイクの運転者が多い	交通ルールやマナーを守らない自動車の運転者が多い	渋滞が多い	道路上に、違法駐車や放置自転車などの障害物が多い	道路や事故の状況など、交通安全に関する情報が不十分である	自転車又は二輪車の安全性に信頼がけない	その他	特に不安に思っていることはない	わからない	無回答	
全体	727	216	284	71	81	247	185	343	129	208	54	110	27	84	35	45	29	43	
男性	302	92	135	36	101	93	158	76	112	23	54	14	40	18	18	9	19		
女性	417	123	147	35	43	154	127	267	17	85	31	56	13	66	27	20	24		
回答しない	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
65～69歳	102	31	48	11	13	39	38	55	30	46	10	16	3	14	4	9	0		
70～74歳	131	44	52	15	11	56	33	22	34	10	22	4	19	8	7	5	6		
75～79歳	100	33.6	39.7	11.5	8.4	42.7	25.2	51.9	16.8	26.0	7.6	16.8	3.1	14.5	6.1	5.3	3.8		
80歳以上	79	22	33	11	8	30	20	43	23	26	6	13	7	11	6	2	2		
性別・年代別	100.0	27.8	41.8	13.9	10.1	38.0	25.3	54.4	29.1	32.9	7.6	16.5	8.9	13.9	7.6	2.5	2.5		
65～69歳	90	26	31	5	13	36	20	43	12	23	7	10	3	8	6	7	1		
70～74歳	100.0	28.9	34.4	5.6	14.4	40.0	22.2	47.8	13.3	25.6	7.8	11.1	3.3	8.9	6.7	7.8	1.1		
75～79歳	51	14	25	6	6	14	19	22	7	24	1	13	1	4	2	3	1		
80歳以上	100.0	24.7	32.1	8.6	9.9	34.6	21.0	42.0	8.6	21.0	6.2	12.3	2.5	3.7	1.2	4.9	2.5		
性別・年代別	67	23	27	8	11	17	16	36	16	16	6	12	3	11	6	4	6		
80歳以上	100.0	34.3	40.3	11.9	16.4	25.4	23.9	53.7	23.9	23.9	9.0	17.9	4.5	16.4	9.0	6.0	9.0		
性別・年代別	112	33	38	8	11	24	22	39	12	20	9	13	4	14	2	8	10		
80歳以上	100.0	29.5	33.9	7.1	9.8	21.4	19.6	34.8	10.7	17.9	8.0	11.6	3.6	12.5	1.8	7.1	8.9		

## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

●中央東部では、「生活道路内で、十分に速度を落さない自転車や二輪車（バイク）がある」「自転車専用道路の設置が不十分である」「交通ルールやマナーを守らない自動車の運転者が多い」の割合が高い。

●中央南部では、「生活道路で、歩道、ガードレール、照明、道路標識などの設置や維持が不十分である」の割合が高い。

◆表 居住校区別◆

	サンプル数	設置や照明が不十分である割合	生活道路（住宅地内）の道幅が狭い割合	生活道路内で、十分に速度を落さない割合	生活道路で、歩道、ガードレール、照明、道路標識などの設置や維持が不十分である割合	幹線道路で、中央分離帯、歩道、ガードレール、照明、道路標識などの設置や維持が不十分である割合	横断歩道や信号機の設置や維持が不十分である割合	自転車専用道路の設置が不十分である割合	交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い割合	交通ルールやマナーを守らない自転車が多い割合	交通ルールやマナーを守らないバイクの運転者が多い割合	交通ルールやマナーを守らない自動車の運転者が多い割合	渋滞が多い割合	道路上に、違法駐車や放置物が多い割合	道路や事故に関する情報が不十分である割合	自転車や二輪車の安全性に信頼がおけない割合	その他	特に不安に思っていること	わからない	無回答
全体	727	216	284	71	81	247	185	343	129	208	54	110	27	84	35	45	29	43	5.9	
東部A	53	18	19	9	4	17	13	26	8	16	8	7	1	5	5	3	0	2	3.8	
東部B	45	9	18	3	3	11	10	22	7	12	2	4	1	3	0	5	1	2	4.4	
北部A	66	20	25	6	9	20	17	29	9	15	5	10	2	7	1	0	4	3	4.5	
北部B	43	7	19	4	1	10	7	20	4	10	3	4	1	2	2	1	8	1	3	
中央東部	78	28	37	7	13	43	23	40	16	27	8	14	6	13	3	2	4	1	8	
南東部	77	22	30	9	11	20	21	41	15	22	7	12	3	13	7	3	1	8	10.4	
中央部	90	19	25	7	6	30	24	40	16	27	6	17	1	10	5	5	4	10	11.7	
中央南部	117	43	52	10	14	41	27	58	18	32	5	19	3	10	5	10	7	6	6	
南西部	69	24	29	4	7	21	19	33	14	21	6	14	4	8	4	4	3	2	2.9	
西部A	28	9	12	6	6	10	10	11	10	8	1	2	1	5	3	1	0	1	3.6	
西部B	44	11	13	5	6	19	9	17	8	11	2	4	2	5	1	2	2	3	6.8	

●運転免許は持っているが、全く運転しない人、自転車にほとんど乗らない人では、「生活道路内で、十分に速度を落さない自転車や二輪車（バイク）がある」の割合が高い。

●運転免許は持っているが、全く運転しない人、運転免許は持っていない（すでに有効期限が切れている）人、自転車にほぼ毎日乗る人では、「自転車専用道路の設置が不十分である」の割合が高い。

◆表 自動車やバイクの運転状況、自転車の利用状況別◆

	サンプル数	設置や照明が不十分である割合	生活道路（住宅地内）の道幅が狭い割合	生活道路内で、十分に速度を落さない割合	生活道路で、歩道、ガードレール、照明、道路標識などの設置や維持が不十分である割合	幹線道路で、中央分離帯、歩道、ガードレール、照明、道路標識などの設置や維持が不十分である割合	横断歩道や信号機の設置や維持が不十分である割合	自転車専用道路の設置が不十分である割合	交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い割合	交通ルールやマナーを守らない自転車が多い割合	交通ルールやマナーを守らないバイクの運転者が多い割合	交通ルールやマナーを守らない自動車の運転者が多い割合	渋滞が多い割合	道路上に、違法駐車や放置物が多い割合	道路や事故に関する情報が不十分である割合	自転車や二輪車の安全性に信頼がおけない割合	その他	特に不安に思っていること	わからない	無回答
全体	727	216	284	71	81	247	185	343	129	208	54	110	27	84	35	45	29	43	5.9	
ほぼ毎日運転する	321	101	143	36	39	114	101	181	75	108	29	48	9	49	20	18	1	9	2.8	
ときどき運転する	109	32	43	12	16	42	29	47	18	35	7	20	6	10	6	6	3	3	2.8	
ほとんど運転しない	23	4	8	4	2	7	6	10	2	5	4	4	2	3	0	2	3	4	17.4	
運転免許は持っているが、全く運転しない	23	6	11	6	2	11	6	9	7	6	1	6	3	5	3	1	0	1	4.0	
運転免許は持っていない(すでに返納した)	44	15	14	2	4	7	9	23	7	13	1	6	3	1	2	3	1	3	11	
運転免許は持っていない(すでに有効期限が切れている)	127	34	45	4	10	32	21	42	12	27	8	18	1	7	3	12	14	11	8.7	
運転免許を返ったことがない	78	25	27	4	4	38	21	28	15	19	2	12	3	6	3	6	3	1	4	
ほぼ毎日乗る	164	41	51	16	21	65	47	70	29	53	9	23	7	12	10	7	4	8	5.1	
ときどき乗る	103	31	48	13	13	34	28	52	25	36	10	21	4	12	3	9	2	6	4.9	
ほとんど乗らない	355	114	142	34	42	105	87	186	57	96	31	51	12	57	15	26	20	18	5.8	
全く乗らない	100	32	40	9	11	29	24	32	17	27	8	11	4	14	4	2	7	5	5.7	

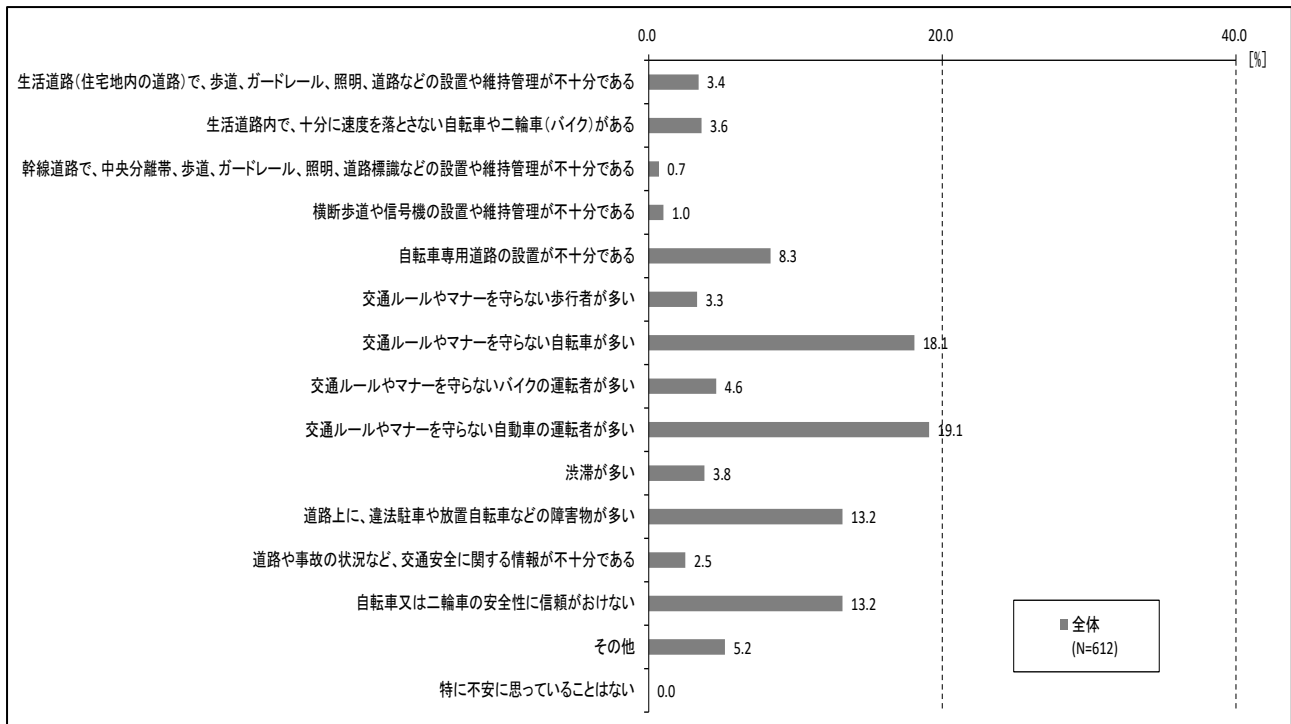
## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

### (20) 交通安全について特に不安に思うこと

問 7-b. あなたは、交通安全について、特に不安に思うことを1つ選んでください。

交通安全について特に不安に思うことは「交通ルールやマナーを守らない自転車・自動車の運転者」が多いこと

- 交通安全について特に不安に思っていることは、「交通ルールやマナーを守らない自動車の運転者が多い」が19.1%で最も高い。
- その他の内訳について、「自転車、運転中のスマホ」「道幅が狭い」等の意見が多くみられた。

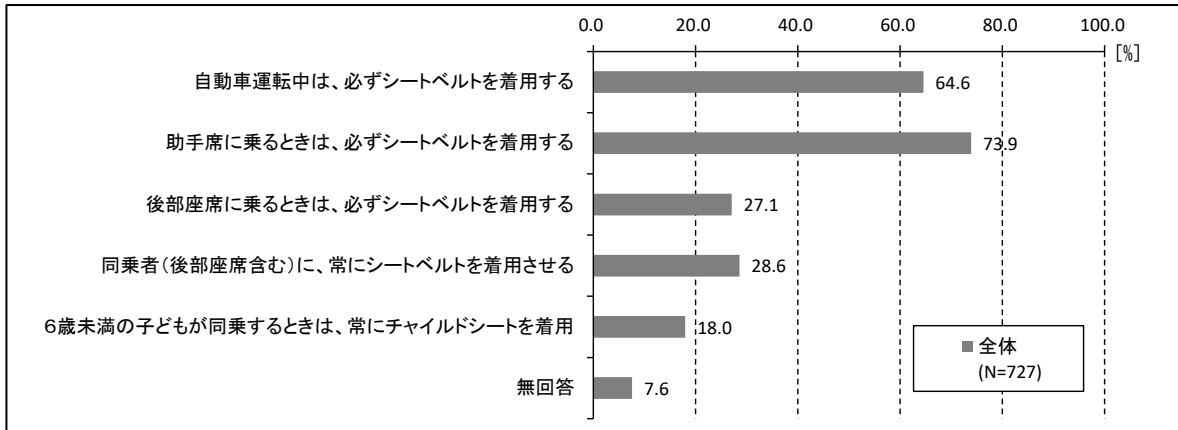


(21) シートベルトやチャイルドシートの着用状況

問 8. あなたは、シートベルトやチャイルドシートの着用について、普段どのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

後部座席に乗るときに必ずシートベルトを着用する割合は3割以下

●必ずシートベルトを着用する人の割合は低く、特に、後部座席の割合が低い。



【属性別特徴】

- 男性では、「自動車運転中は必ずシートベルトを着用する」の割合が高い。
- 男性・70～74歳以外では、「同乗者（後部座席を含む）に、常にシートベルトを着用させる」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	自動車運転中は、必ずシートベルトを着用する	助手席に乗るときは、必ずシートベルトを着用する	後部座席に乗るときは、必ずシートベルトを着用する	同乗者(後部座席含む)に、常にシートベルトを着用させる	6歳未満の子どもが同乗するときは、常にチャイルドシートを着用させる	無回答	
上段:実数、下段:%									
全体		727	470	537	197	208	131	55	
		100.0	64.6	73.9	27.1	28.6	18.0	7.6	
性別	男性	302	260	222	85	111	65	13	
		100.0	86.1	73.5	28.1	36.8	21.5	4.3	
	女性	417	208	309	110	95	66	40	
	100.0	49.9	74.1	26.4	22.8	15.8	9.6		
	回答しない	1	0	0	0	0	0	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	96	80	28	40	30	1
			100.0	94.1	78.4	27.5	39.2	29.4	1.0
	70～74歳	女性	131	99	100	29	35	33	8
			100.0	75.6	76.3	22.1	26.7	25.2	6.1
	75～79歳	男性	79	67	53	12	21	14	5
			100.0	84.8	67.1	15.2	26.6	17.7	6.3
	75～79歳	女性	90	51	66	23	25	18	5
			100.0	56.7	73.3	25.6	27.8	20.0	5.6
	80歳以上	男性	51	44	40	14	20	9	1
			100.0	86.3	78.4	27.5	39.2	17.6	2.0
	80歳以上	女性	81	27	61	33	20	8	7
			100.0	33.3	75.3	40.7	24.7	9.9	8.6
80歳以上	男性	67	51	49	31	30	12	5	
		100.0	76.1	73.1	46.3	44.8	17.9	7.5	
	女性	112	31	81	25	15	7	18	
	100.0	27.7	72.3	22.3	13.4	6.3	16.1		

◆表 自転車やバイクの運転状況別◆

		サンプル数	自動車運転中は、必ずシートベルトを着用する	助手席に乗るときは、必ずシートベルトを着用する	後部座席に乗るときは、必ずシートベルトを着用する	同乗者(後部座席含む)に、常にシートベルトを着用させる	6歳未満の子どもが同乗するときは、常にチャイルドシートを着用させる	無回答
上段:実数、下段:%								
全体		453	432	344	119	171	102	5
		100.0	95.4	75.9	26.3	37.7	22.5	1.1
自転車の運転やバイク	ほぼ毎日運転する	321	313	242	82	125	83	3
		100.0	97.5	75.4	25.5	38.9	25.9	0.9
	ときどき運転する	109	107	85	33	43	17	0
	100.0	98.2	78.0	30.3	39.4	15.6	0.0	
	ほとんど運転しない	23	12	17	4	3	2	2
	100.0	52.2	73.9	17.4	13.0	8.7	8.7	

※「1. ほぼ毎日運転する」「2. ときどき運転する」「3. ほとんど運転しない」と回答したサンプルのみで集計

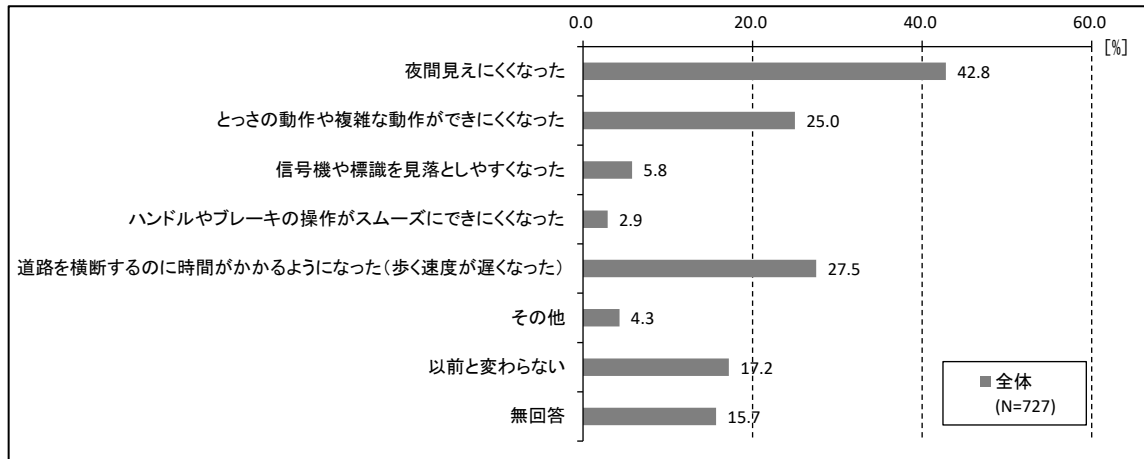
## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

### (22) 自動車運転や歩行について、若い頃と比べて変わったと感ずること

問 9. あなたは、自動車運転や歩行について、若い頃と比べて変わったと感ずることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

自動車や歩行について、若い頃と比べて変わったと感ずることは、「夜間見えにくくなった」人が4割以上

●自動車や歩行について、若い頃と比べて変わったと感ずることについて、「夜間見えにくくなった」が42.8%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性・65～79歳では、「夜間見えにくくなった」の割合が高い。
- 男女・80歳以上では、「道路を横断するのに時間がかかるようになった」割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

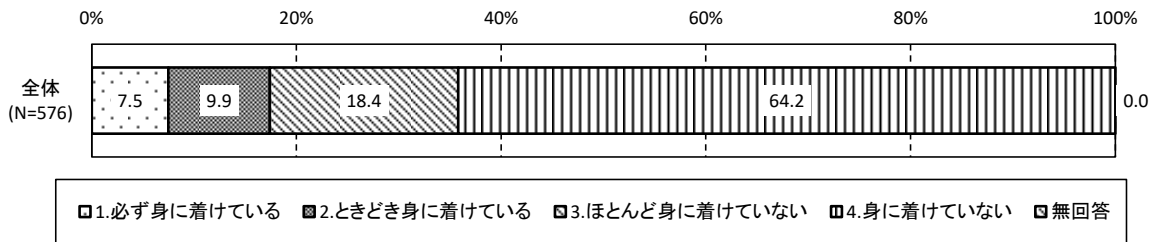
		サンプル数	夜間見えにくくなった	とっさの動作や複雑な動作ができにくくなった	信号機や標識を見落としやすくなった	ハンドルやブレーキの操作がスムーズにできにくくなった	道路を横断するのに時間がかかるようになった(歩く速度が遅くなった)	その他	以前と変わらない	無回答	
上段:実数、下段:%											
全体		727	311	182	42	21	200	31	125	114	
		100.0	42.8	25.0	5.8	2.9	27.5	4.3	17.2	15.7	
性別	男性	302	152	74	22	12	79	10	61	31	
		100.0	50.3	24.5	7.3	4.0	26.2	3.3	20.2	10.3	
	女性	417	157	106	20	9	119	21	62	80	
		100.0	37.6	25.4	4.8	2.2	28.5	5.0	14.9	19.2	
	回答しない	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	52	22	9	6	21	3	22	7
			100.0	51.0	21.6	8.8	5.9	20.6	2.9	21.6	6.9
		女性	131	53	31	12	2	26	7	18	18
			100.0	40.5	23.7	9.2	1.5	19.8	5.3	22.9	13.7
	70～74歳	男性	79	42	21	4	2	12	2	20	11
			100.0	53.2	26.6	5.1	2.5	15.2	2.5	25.3	13.9
		女性	90	37	26	3	3	22	3	17	12
			100.0	41.1	28.9	3.3	3.3	24.4	3.3	18.9	13.3
	75～79歳	男性	51	30	14	5	4	14	0	11	6
			100.0	58.8	27.5	9.8	7.8	27.5	0.0	21.6	11.8
		女性	81	27	19	2	3	24	4	9	22
			100.0	33.3	23.5	2.5	3.7	29.6	4.9	11.1	27.2
80歳以上	男性	67	27	15	4	0	32	5	8	7	
		100.0	40.3	22.4	6.0	0.0	47.8	7.5	11.9	10.4	
	女性	112	40	29	3	1	46	7	6	26	
		100.0	35.7	25.9	2.7	0.9	41.1	6.3	5.4	23.2	

(23) 夜間外出する際の反射材の着用状況

問 10. あなたは、夜間に外出するとき、反射材（反射バンドや反射タスキなど）を身に  
着けていますか。（○はひとつ）

夜間外出する際、6割以上の方が反射材を「身に着けていない」

●夜間外出する際の反射材の着用状況について、「身に着けていない」が64.2%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男女・75～79歳では、「必ず身に着けている」の割合が高い。
- 男性・80歳以上では、「ときどき身に着けている」の割合が高い。
- 男性・70～74歳では、「ほとんど身に着けていない」の割合が高い。
- 東部Bでは、「身につけている」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1.必ず身に着けている	2.ときどき身に着けている	3.ほとんど身に着けていない	4.身に着けていない	無回答	
上段:実数、下段:%								
全体		576	43	57	106	370	0	
		100.0	7.5	9.9	18.4	64.2	0.0	
性別	男性	260	15	28	57	160	0	
		100.0	5.8	10.8	21.9	61.5	0.0	
	女性	310	27	29	48	206	0	
		100.0	8.7	9.4	15.5	66.5	0.0	
	回答しない	1	0	0	0	1	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	95	3	6	16	70	0
			100.0	3.2	6.3	16.8	73.7	0.0
		女性	103	2	13	13	75	0
			100.0	1.9	12.6	12.6	72.8	0.0
	70～74歳	男性	66	1	7	18	40	0
			100.0	1.5	10.6	27.3	60.6	0.0
		女性	74	4	2	16	52	0
			100.0	5.4	2.7	21.6	70.3	0.0
	75～79歳	男性	43	6	6	10	21	0
			100.0	14.0	14.0	23.3	48.8	0.0
		女性	59	11	7	13	28	0
			100.0	18.6	11.9	22.0	47.5	0.0
80歳以上	男性	53	4	9	13	27	0	
		100.0	7.5	17.0	24.5	50.9	0.0	
	女性	73	10	7	6	50	0	
		100.0	13.7	9.6	8.2	68.5	0.0	

◆表 居住校區別◆

		サンプル数	1.必ず身に着けている	2.ときどき身に着けている	3.ほとんど身に着けていない	4.身に着けていない
上段:実数、下段:%						
全体		576	43	57	106	370
		100.0	7.5	9.9	18.4	64.2
居住校区	東部A	40	4	5	10	21
		100.0	10.0	12.5	25.0	52.5
	東部B	37	5	7	2	23
		100.0	13.5	18.9	5.4	62.2
	北部A	49	4	3	9	33
		100.0	8.2	6.1	18.4	67.3
	北部B	35	4	5	6	20
		100.0	11.4	14.3	17.1	57.1
	中央東部	63	4	4	15	40
		100.0	6.3	6.3	23.8	63.5
	南東部	61	6	5	12	38
		100.0	9.8	8.2	19.7	62.3
中央部	74	3	3	13	55	
	100.0	4.1	4.1	17.6	74.3	
中央南部	90	5	5	18	62	
	100.0	5.6	5.6	20.0	68.9	
南西部	58	4	7	8	39	
	100.0	6.9	12.1	13.8	67.2	
西部A	20	0	4	5	11	
	100.0	0.0	20.0	25.0	55.0	
西部B	35	2	9	6	18	
	100.0	5.7	25.7	17.1	51.4	

## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

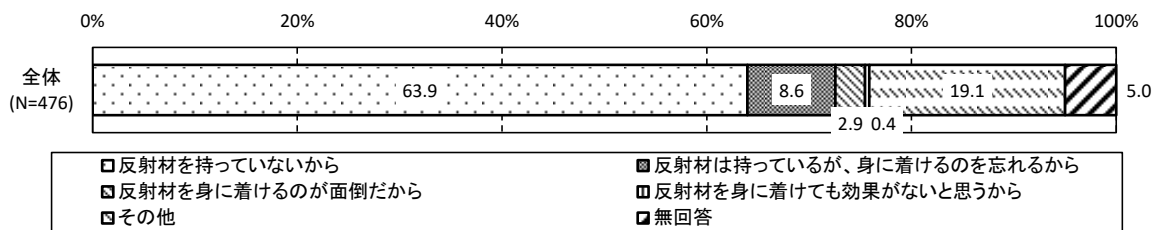
### (24) 反射材を身につけていない理由

問10で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「11」へお進みください。

問10-1. あなたが反射材を身につけていない理由は何ですか。(○はひとつ)

反射材を身につけていない理由は、「反射材を持っていないから」が6割以上

- 反射材を身につけていない理由について、「反射材を持っていないから」が63.9%で最も高い。
- その他の内訳について、「夜間は外出しない」の回答が多くみられた。



#### 【属性別特徴】

- 男性・65～69歳、男性・75～79歳では、「反射材を持っていないから」の割合が高い。
- 女性・75～79歳では、「反射材は持っているが、身につけるのを忘れるから」の割合が高い。
- 東部A、中央南部では、「反射材を持っていないから」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	反射材を持っていないから	反射材は持っているが、身につけるのを忘れるから	反射材を身につけても効果がないと思うから	その他	無回答		
上段:実数、下段:%									
全体		476 100.0	304 63.9	41 8.6	14 2.9	2 0.4	91 19.1	24 5.0	
性別	男性	217 100.0	158 72.8	14 6.5	10 4.6	2 0.9	30 13.8	3 1.4	
	女性	254 100.0	143 56.3	27 10.6	4 1.6	0 0.0	61 24.0	19 7.5	
	回答しない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	86 100.0	70 81.4	3 3.5	2 2.3	0 0.0	11 12.8	0 0.0
		女性	88 100.0	59 67.0	7 8.0	1 1.1	0 0.0	16 18.2	5 5.7
	70～74歳	男性	58 100.0	39 67.2	4 6.9	6 10.3	0 0.0	7 12.1	2 3.4
		女性	68 100.0	39 57.4	8 11.8	1 1.5	0 0.0	15 22.1	5 7.4
	75～79歳	男性	31 100.0	24 77.4	4 12.9	0 0.0	1 3.2	2 6.5	0 0.0
		女性	41 100.0	17 41.5	10 24.4	1 2.4	0 0.0	12 29.3	2 4.9
	80歳以上	男性	40 100.0	23 57.5	3 7.5	2 5.0	1 2.5	10 25.0	1 2.5
		女性	56 100.0	28 50.0	2 3.6	1 1.8	0 0.0	17 30.4	8 14.3

◆表 居住校區別◆

		サンプル数	反射材を持っていないから	反射材は持っているが、身につけるのを忘れるから	反射材を身につけても効果がないと思うから	その他	無回答	
上段:実数、下段:%								
全体		476 100.0	304 63.9	41 8.6	14 2.9	2 0.4	91 19.1	24 5.0
居住校区	東部A	31 100.0	22 71.0	2 6.5	1 3.2	0 0.0	4 12.9	2 6.5
	東部B	25 100.0	16 64.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0	7 28.0	1 4.0
	北部A	42 100.0	28 66.7	6 14.3	2 4.8	0 0.0	5 11.9	1 2.4
	北部B	26 100.0	15 57.7	1 3.8	2 7.7	0 0.0	7 26.9	1 3.8
	中央東部	55 100.0	34 61.8	5 9.1	4 7.3	0 0.0	9 16.4	3 5.5
	南東部	50 100.0	29 58.0	9 18.0	1 2.0	0 0.0	7 14.0	4 8.0
	中央部	68 100.0	44 64.7	6 8.8	0 0.0	1 1.5	16 23.5	1 1.5
	中央南部	80 100.0	56 70.0	4 5.0	2 2.5	0 0.0	14 17.5	4 5.0
	南西部	47 100.0	29 61.7	4 8.5	1 2.1	0 0.0	9 19.1	4 8.5
	西部A	16 100.0	11 68.8	1 6.3	1 6.3	0 0.0	3 18.8	0 0.0
	西部B	24 100.0	12 50.0	2 8.3	0 0.0	1 4.2	8 33.3	1 4.2

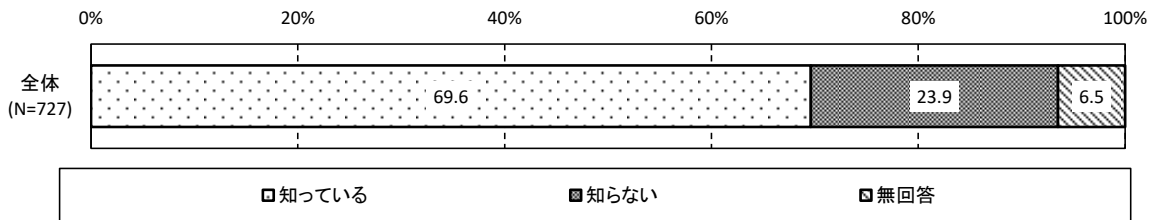


(25) 「高齢運転者免許証自主返納支援事業」の認知度

問 11. あなたは、当市が今年度から開始した「高齢運転者免許証自主返納支援事業」を知っていますか。(〇はひとつ)

約7割の人が「高齢運転者免許証自主返納支援事業」を知っている

● 「高齢運転者免許証自主返納支援事業」の認知度について、「知っている」が69.6%で最も高い。



【属性別特徴】

- 女性・75～79歳では、「知っている」の割合が高い。
- 広報紙を毎号必ず読む人では、「知っている」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	知っている	知らない	無回答	
上段:実数、下段:%						
全 体		727	506	174	47	
		100.0	69.6	23.9	6.5	
性別	男性	302	210	79	13	
		100.0	69.5	26.2	4.3	
	女性	417	292	94	31	
		100.0	70.0	22.5	7.4	
	回答しない	1	0	1	0	
		100.0	0.0	100.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	71	29	2
			100.0	69.6	28.4	2.0
	女性	131	97	29	5	
		100.0	74.0	22.1	3.8	
	70～74歳	男性	79	55	20	4
			100.0	69.6	25.3	5.1
	女性	90	64	20	6	
		100.0	71.1	22.2	6.7	
75～79歳	男性	51	38	11	2	
		100.0	74.5	21.6	3.9	
女性	81	62	13	6		
	100.0	76.5	16.0	7.4		
80歳以上	男性	67	44	18	5	
		100.0	65.7	26.9	7.5	
女性	112	68	32	12		
	100.0	60.7	28.6	10.7		

◆表 広報紙の閲読状況別◆

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段:実数、下段:%					
全 体		727	506	174	47
		100.0	69.6	23.9	6.5
広報紙の 閲読状 況	毎号必ず読む	407	313	70	24
		100.0	76.9	17.2	5.9
	ときどき読む	188	126	53	9
		100.0	67.0	28.2	4.8
	あまり読まない	72	36	29	7
		100.0	50.0	40.3	9.7
	まったく読まない	43	22	18	3
		100.0	51.2	41.9	7.0

## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

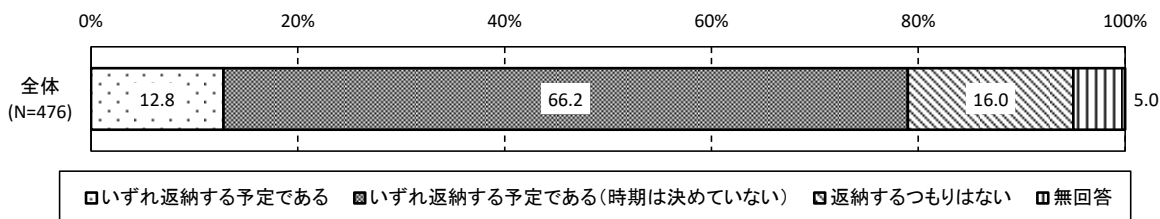
### (26) 運転免許返納状況

※現在、運転免許証をお持ちの方にお聞きします。お持ちでない方は、「問」14へお進みください。

問 12. あなたは、運転免許返納状況について、どのようにお考えですか。(○はひとつ)

運転免許の返納を予定している人は約 8 割

●運転免許返納状況について、「いずれ返納する予定である（時期は決めていない）」が 66.2%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 女性・80歳以上では、「いずれ返納する予定である」の割合が高い。
- 女性・65～69歳、男性・75～79歳では、「いずれ返納する予定である（時期は決めていない）」の割合が高い。
- 男性・70～74歳では、「返納するつもりはない」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	いずれ返納する予定である	(いずれ返納する予定である(時期は決めていない))	返納するつもりはない	無回答	
上段:実数、下段:%							
全体		476	61	315	76	24	
		100.0	12.8	66.2	16.0	5.0	
性別	男性	256	32	165	56	3	
		100.0	12.5	64.5	21.9	1.2	
	女性	217	28	149	20	20	
		100.0	12.9	68.7	9.2	9.2	
	回答しない	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	97	15	59	23	0
			100.0	15.5	60.8	23.7	0.0
	女性	103	10	78	9	6	
		100.0	9.7	75.7	8.7	5.8	
	70～74歳	男性	70	7	43	19	1
			100.0	10.0	61.4	27.1	1.4
	女性	57	5	41	6	5	
		100.0	8.8	71.9	10.5	8.8	
	75～79歳	男性	43	5	33	5	0
			100.0	11.6	76.7	11.6	0.0
	女性	27	5	16	3	3	
		100.0	18.5	59.3	11.1	11.1	
80歳以上	男性	44	3	30	9	2	
		100.0	6.8	68.2	20.5	4.5	
女性	30	8	14	2	6		
	100.0	26.7	46.7	6.7	20.0		

## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

● 東部 B、北部 B、南西部、西部 A では、「返納するつもりはない」の割合が高い。

◆ 表 居住校区別 ◆

		サンプル数	いずれ返納する予定である	（いずれ返納する予定でない） （時期は決めていない） （時期は決めていない） （時期は決めていない） （時期は決めていない）	返納するつもりはない	無回答
上段:実数、下段:%						
全 体		476 100.0	61 12.8	315 66.2	76 16.0	24 5.0
居住校区	東部A	35 100.0	4 11.4	26 74.3	4 11.4	1 2.9
	東部B	35 100.0	3 8.6	22 62.9	9 25.7	1 2.9
	北部A	42 100.0	10 23.8	25 59.5	5 11.9	2 4.8
	北部B	33 100.0	5 15.2	20 60.6	7 21.2	1 3.0
	中央東部	55 100.0	7 12.7	38 69.1	7 12.7	3 5.5
	南東部	52 100.0	4 7.7	40 76.9	8 15.4	0 0.0
	中央部	53 100.0	7 13.2	35 66.0	6 11.3	5 9.4
	中央南部	55 100.0	8 14.5	35 63.6	6 10.9	6 10.9
	南西部	47 100.0	5 10.6	30 63.8	11 23.4	1 2.1
	西部A	24 100.0	3 12.5	14 58.3	5 20.8	2 8.3
	西部B	37 100.0	2 5.4	27 73.0	7 18.9	1 2.7

◆ 表 自動車運転や歩行について、若い頃と比べて変わったと感ずること別 ◆

		サンプル数	いずれ返納する予定である	（いずれ返納する予定でない） （時期は決めていない） （時期は決めていない） （時期は決めていない） （時期は決めていない）	返納するつもりはない	無回答
上段:実数、下段:%						
全 体		476 100.0	61 12.8	315 66.2	76 16.0	24 5.0
頃と比べて歩行に変わったと感ずる若い	夜間見えにくくなった	246 100.0	46 18.7	164 66.7	31 12.6	5 2.0
	とつきの動作や複雑な動作ができにくくなった	117 100.0	21 17.9	82 70.1	10 8.5	4 3.4
	信号機や標識を見落としやすくなった	32 100.0	6 18.8	20 62.5	6 18.8	0 0.0
	ハンドルやブレーキの操作がスムーズにできにくくなった	17 100.0	2 11.8	11 64.7	4 23.5	0 0.0
	道路を横断するのに時間がかかるようになった(歩く速度が遅くなった)	119 100.0	19 16.0	82 68.9	13 10.9	5 4.2
	その他	20 100.0	3 15.0	12 60.0	4 20.0	1 5.0
	以前と変わらない	103 100.0	8 7.8	69 67.0	21 20.4	5 4.9

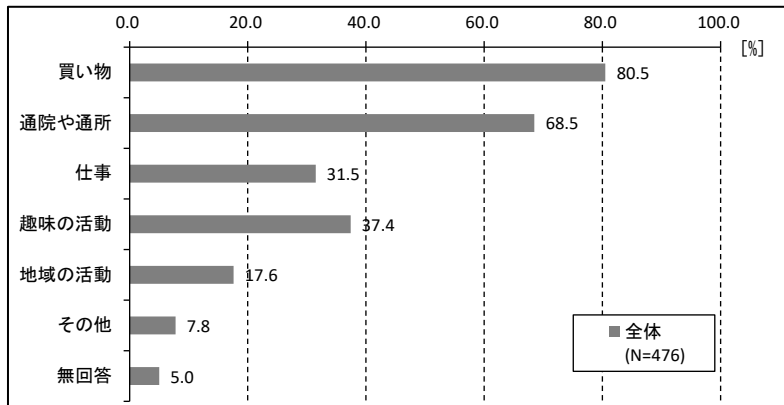
## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

### (27) 運転免許がないと困ると思うこと

問 13. あなたは、運転免許がないと困ると思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

運転免許がないと困ると思うことは、「買い物」が8割以上

- 運転免許がないと困ると思うことについて、「買い物」が80.5%で最も高い。
- その他の内訳について、「子どもや孫の送迎」「親せきや実家に帰るとき」等の意見がみられた。



#### 【属性別特徴】

- 男性・65～69歳では、「仕事」の割合が高い。
- 女性・75～79歳、男性・80歳以上では、「通院や通所」の割合が高い。

#### ◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	買い物	通院や通所	仕事	趣味の活動	地域の活動	その他	無回答	
上段:実数、下段:%										
全 体		476 100.0	383 80.5	326 68.5	150 31.5	178 37.4	84 17.6	37 7.8	24 5.0	
性別	男性	256 100.0	206 80.5	181 70.7	96 37.5	96 37.5	43 16.8	13 5.1	4 1.6	
	女性	217 100.0	175 80.6	143 65.9	54 24.9	82 37.8	41 18.9	24 11.1	19 8.8	
	回答しない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	97 100.0	81 83.5	67 69.1	55 56.7	39 40.2	18 18.6	4 4.1	1 1.0
		女性	103 100.0	82 79.6	65 63.1	38 36.9	37 35.9	19 18.4	13 12.6	5 5.8
	70～74歳	男性	70 100.0	57 81.4	46 65.7	19 27.1	25 35.7	16 22.9	5 7.1	0 0.0
		女性	57 100.0	48 84.2	36 63.2	11 19.3	26 45.6	15 26.3	8 14.0	4 7.0
	75～79歳	男性	43 100.0	32 74.4	32 74.4	11 25.6	18 41.9	6 14.0	1 2.3	0 0.0
		女性	27 100.0	22 81.5	21 77.8	4 14.8	10 37.0	4 14.8	1 3.7	4 14.8
	80歳以上	男性	44 100.0	35 79.5	35 79.5	11 25.0	14 31.8	3 6.8	3 6.8	3 6.8
		女性	30 100.0	23 76.7	21 70.0	1 3.3	9 30.0	3 10.0	2 6.7	5 16.7

## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

- 親・子（2世代）では、「買い物」の割合が高い。
- 親・子・孫（3世代）では、「通院や通所」の割合が高い。

◆表 家族構成別◆

		サンプル数	買い物	通院や通所	仕事	趣味の活動	地域の活動	その他	無回答
上段:実数、下段:%									
全 体		476 100.0	383 80.5	326 68.5	150 31.5	178 37.4	84 17.6	37 7.8	24 5.0
家族構成	単身	78 100.0	52 66.7	41 52.6	26 33.3	33 42.3	12 15.4	10 12.8	7 9.0
	夫婦のみ	231 100.0	195 84.4	164 71.0	77 33.3	91 39.4	45 19.5	18 7.8	5 2.2
	親・子(2世代)	100 100.0	87 87.0	72 72.0	30 30.0	36 36.0	16 16.0	6 6.0	6 6.0
	親・子・孫(3世代)	40 100.0	30 75.0	33 82.5	13 32.5	16 40.0	11 27.5	3 7.5	2 5.0
	その他	17 100.0	11 64.7	10 58.8	4 23.5	2 11.8	0 0.0	0 0.0	2 11.8

- 南西部、西部Aでは、「買い物」の割合が高い。
- 北部B、南西部、西部A、西部Bでは、「通院や通所」の割合が高い。
- 東部B、南東部、南西部では、「仕事」の割合が高い。
- 南西部では、「趣味の活動」の割合が高い。

◆表 居住校区別◆

		サンプル数	買い物	通院や通所	仕事	趣味の活動	地域の活動	その他	無回答
上段:実数、下段:%									
全 体		476 100.0	383 80.5	326 68.5	150 31.5	178 37.4	84 17.6	37 7.8	24 5.0
居住校区	東部A	35 100.0	26 74.3	23 65.7	9 25.7	10 28.6	7 20.0	5 14.3	4 11.4
	東部B	35 100.0	30 85.7	23 65.7	16 45.7	14 40.0	11 31.4	3 8.6	1 2.9
	北部A	42 100.0	32 76.2	24 57.1	9 21.4	16 38.1	8 19.0	3 7.1	2 4.8
	北部B	33 100.0	28 84.8	31 93.9	9 27.3	8 24.2	7 21.2	1 3.0	1 3.0
	中央東部	55 100.0	44 80.0	36 65.5	17 30.9	20 36.4	7 12.7	4 7.3	2 3.6
	南東部	52 100.0	43 82.7	36 69.2	21 40.4	22 42.3	9 17.3	2 3.8	2 3.8
	中央部	53 100.0	38 71.7	29 54.7	12 22.6	20 37.7	5 9.4	6 11.3	4 7.5
	中央南部	55 100.0	41 74.5	29 52.7	18 32.7	18 32.7	4 7.3	5 9.1	5 9.1
	南西部	47 100.0	42 89.4	38 80.9	19 40.4	23 48.9	8 17.0	2 4.3	0 0.0
	西部A	24 100.0	23 95.8	21 87.5	7 29.2	10 41.7	6 25.0	1 4.2	1 4.2
	西部B	37 100.0	30 81.1	31 83.8	12 32.4	15 40.5	12 32.4	4 10.8	1 2.7

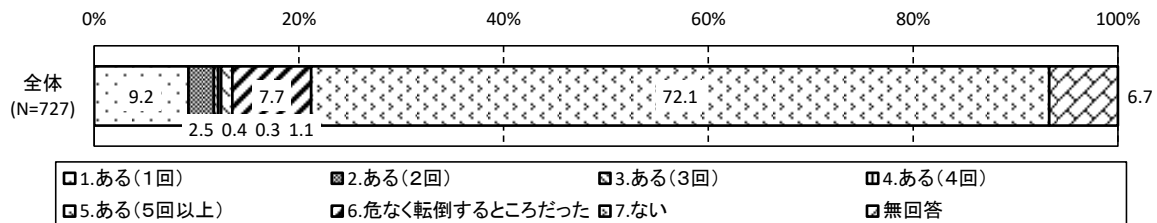
### 3 「転倒予防」について

#### (28) 自宅での転倒状況

問 14. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、自宅で転倒したことがありますか。（○はひとつ）

過去1年間に自宅で転倒したことがある人は1割程度

●自宅での転倒状況について、「ない」が72.1%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

●女性・75歳以上では、「ある（1回）」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1.ある(1回)	2.ある(2回)	3.ある(3回)	4.ある(4回)	5.ある(5回以上)	6.危なく転倒するところだった	7.ない	無回答	
上段:実数、下段:%											
全 体		727	67	18	3	2	8	56	524	49	
		100.0	9.2	2.5	0.4	0.3	1.1	7.7	72.1	6.7	
性別	男性	302	15	8	0	1	1	29	231	17	
		100.0	5.0	2.6	0.0	0.3	0.3	9.6	76.5	5.6	
	女性	417	52	9	2	1	7	26	290	30	
		100.0	12.5	2.2	0.5	0.2	1.7	6.2	69.5	7.2	
	回答しない	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	0	1	0	0	0	9	91	1
			100.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	8.8	89.2	1.0
		女性	131	13	3	1	0	0	10	74.0	7
			100.0	9.9	2.3	0.8	0.0	0.0	7.6	74.0	5.3
	70～74歳	男性	79	4	1	0	0	0	7	58	9
			100.0	5.1	1.3	0.0	0.0	0.0	8.9	73.4	11.4
		女性	90	7	0	0	0	0	5	70	8
			100.0	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	77.8	8.9
	75～79歳	男性	51	4	1	0	0	0	6	39	1
			100.0	7.8	2.0	0.0	0.0	0.0	11.8	76.5	2.0
		女性	81	12	1	0	0	1	5	55	7
			100.0	14.8	1.2	0.0	0.0	1.2	6.2	67.9	8.6
80歳以上	男性	67	6	4	0	1	1	6	43	6	
		100.0	9.0	6.0	0.0	1.5	1.5	9.0	64.2	9.0	
	女性	112	20	5	1	1	6	6	67	6	
		100.0	17.9	4.5	0.9	0.9	5.4	5.4	59.8	5.4	

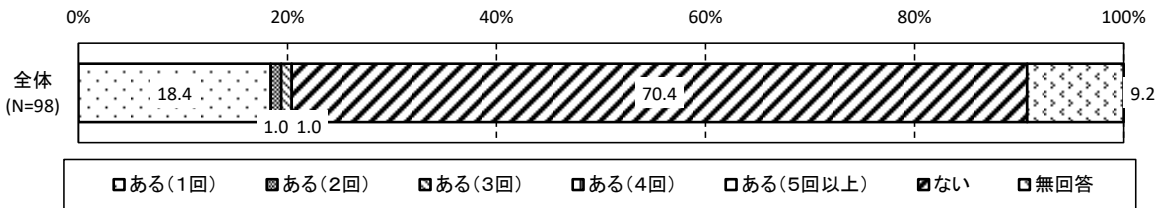
(29) 転倒による骨折経験の有無

問 14 で、「1」～「5」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「15」へお進みください。

問 14-1. あなたは、その転倒で骨折したことがありますか。(○はひとつ)

転倒が原因で骨折したことがある人は 2 割程度

● 転倒による骨折経験の有無について、「ない」が 70.4% で最も高い。



【属性別特徴】

● 男性では、「ない」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	ある(1回)	ある(2回)	ある(3回)	ある(4回)	ある(5回以上)	ない	無回答	
上段:実数、下段:%										
全 体		98 100.0	18 18.4	1 1.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	69 70.4	9 9.2	
性別	男性	25 100.0	4 16.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	21 84.0	0 0.0	
	女性	71 100.0	14 19.7	1 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	48 67.6	8 11.3	
	回答しない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
		女性	17 100.0	4 23.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 64.7	11.8
	70～74歳	男性	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0
		女性	7 100.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 57.1	1 14.3
	75～79歳	男性	5 100.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0
		女性	14 100.0	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 85.7	0 0.0
	80歳以上	男性	12 100.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 83.3	0 0.0
		女性	33 100.0	6 18.2	1 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	21 63.6	5 15.2

### 3 「転倒予防」について

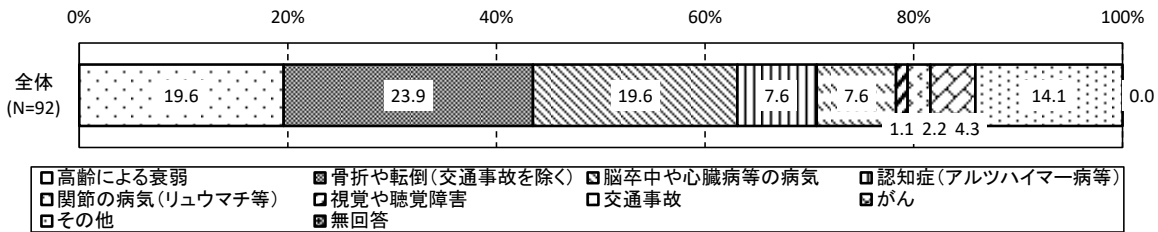
#### (30) 介護が必要になった主な原因

※現在、介護保険の要介護認定（要支援1から要介護5）をお持ちの方又は事業対象者の方にお聞きします。それ以外の方は、問「16」へお進みください。

問 15. あなたが、介護が必要になった主な原因は何ですか。（○はひとつ）

介護が必要になった主な原因は、「骨折や転倒」が2割以上

●介護が必要になった主な原因について、「骨折や転倒」が23.9%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性では、「高齢による衰弱」「脳卒中や心臓病等の病気」の割合が高い。
- 女性では、「骨折や転倒（交通事故を除く）」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	高齢による衰弱	骨折や転倒(交通事故を除く)	脳卒中や心臓病等の病気	認知症(アルツハイマー病等)	関節の病気(リュウマチ等)	視覚や聴覚障害	交通事故	がん	その他	無回答	
上段:実数、下段:%													
全体		92	18	22	18	7	7	1	2	4	13	0	
		100.0	19.6	23.9	19.6	7.6	7.6	1.1	2.2	4.3	14.1	0.0	
性別	男性	28	7	4	7	1	1	0	1	1	6	0	
		100.0	25.0	14.3	25.0	3.6	3.6	0.0	3.6	3.6	21.4	0.0	
	女性	61	10	16	11	6	6	1	1	3	7	0	
		100.0	16.4	26.2	18.0	9.8	9.8	1.6	1.6	4.9	11.5	0.0	
	回答しない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70～74歳	女性	7	1	2	0	1	2	0	0	0	1	0
			100.0	14.3	28.6	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	75～79歳	男性	7	3	0	1	0	1	0	1	0	1	0
			100.0	42.9	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0
	80歳以上	女性	8	3	2	0	0	0	0	0	1	2	0
			100.0	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0
75～79歳	男性	6	1	1	3	0	0	0	0	0	1	0	
		100.0	16.7	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	
80歳以上	女性	9	0	1	2	2	1	1	1	0	1	0	
		100.0	0.0	11.1	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	
65～69歳	男性	12	1	3	3	1	0	0	0	1	3	0	
		100.0	8.3	25.0	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	25.0	0.0	
70～74歳	女性	37	6	11	9	3	3	0	0	2	3	0	
		100.0	16.2	29.7	24.3	8.1	8.1	0.0	0.0	5.4	8.1	0.0	

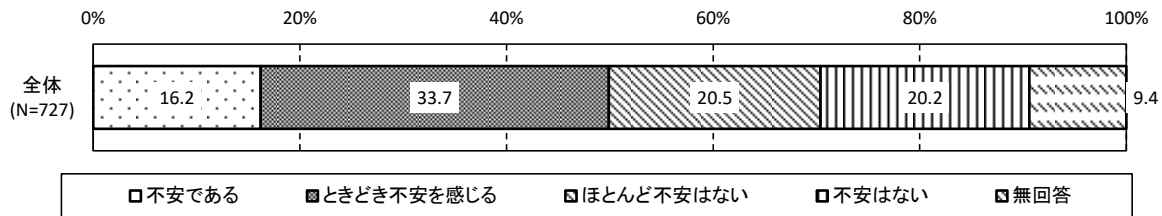


(3 1) 転倒に対する不安の有無

問 16. あなたは、普段、転倒に対する不安はありますか。(○はひとつ)

約半数の人が、転倒による不安を感じている

●転倒に対する不安の有無について、「ときどき不安を感じる」が33.7%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男性では、「不安はない」「ほとんど不安はない」の割合が高く、女性では「不安である」「ときどき不安を感じる」の割合が高い。
- 男性・65～69歳では、「不安はない」「ほとんど不安はない」の割合が高い。
- 男性・70～74歳では、「不安はない」の割合が高い。
- 男性・75歳以上では、「ときどき不安を感じる」の割合が高い。
- 女性では、いずれの年代でも「ときどき不安を感じる」の割合が高い。
- 80歳以上では、「不安である」「ときどき不安を感じる」の割合が高い。
- 自宅で転倒したことがある人では、「不安である」の割合が高い。
- 危うく転倒するところだった人では、「ときどき不安を感じる」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	不安である	ときどき不安を感じる	ほとんど不安はない	不安はない	無回答	
上段:実数、下段:%								
全 体		727	118 16.2	245 33.7	149 20.5	147 20.2	68 9.4	
性別	男性	302	30 9.9	95 31.5	74 24.5	82 27.2	21 7.0	
	女性	417	85 20.4	149 35.7	75 18.0	64 15.3	44 10.6	
	回答しない	1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	6 5.9	21 20.6	33 32.4	39 38.2	3 2.9
		女性	131	14 10.7	48 36.6	30 22.9	27 20.6	12 9.2
	70～74歳	男性	79	5 6.3	21 26.6	20 25.3	27 34.2	6 7.6
		女性	90	14 15.6	33 36.7	19 21.1	16 17.8	8 8.9
	75～79歳	男性	51	5 9.8	25 49.0	17 17.6	9 13.7	5 9.8
		女性	81	17 21.0	27 33.3	17 21.0	9 11.1	11 13.6
	80歳以上	男性	67	13 19.4	26 38.8	12 17.9	9 13.4	7 10.4
		女性	112	40 35.7	40 35.7	9 8.0	12 10.7	11 9.8

◆表 自宅での転倒状況別◆

		サンプル数	不安である	ときどき不安を感じる	ほとんど不安はない	不安はない	無回答
上段:実数、下段:%							
全 体		727	118 16.2	245 33.7	149 20.5	147 20.2	68 9.4
自宅での転倒状況	ある(1回)	67	22 32.8	22 32.8	10 14.9	8 11.9	5 7.5
	ある(2回)	18	10 55.6	6 33.3	1 5.6	0 0.0	1 5.6
	ある(3回)	3	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ある(4回)	2	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ある(5回以上)	8	5 62.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0
	危うく転倒するところだった	56	12 21.4	33 58.9	9 16.1	2 3.6	0 0.0
	ない	524	61 11.6	167 31.9	124 23.7	132 25.2	40 7.6

### 3 「転倒予防」について

#### (32) 転倒によるケガを防止するために心がけていること

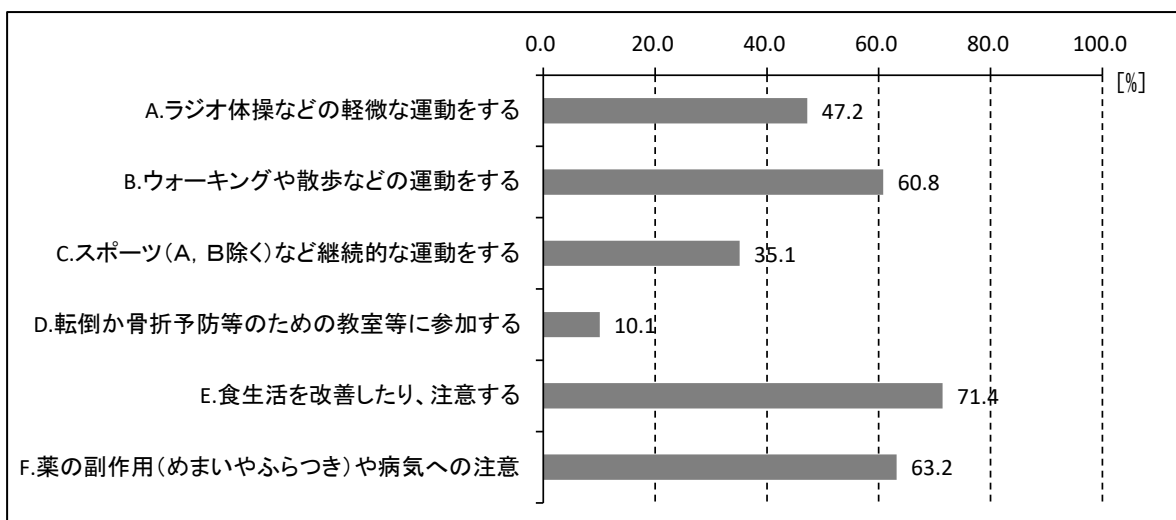
問 17. あなたは、転倒によるケガを予防するために心がけていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○) また、その効果はあると思いますか。(○はひとつ)

転倒によるケガを防止するために心がけていることは、「食生活を改善したり、注意する」が7割以上

● 転倒によるケガを防止するために心がけていることについて、「食生活を改善したり、注意する」の割合が高くなっている。

● 「転倒か骨折予防等のための教室等に参加する」は1割程度である。



● 実行している転倒防止策のうち、「効果あり」の割合が高いのは、「スポーツ (A, B を除く) など継続的な運動をする」と「転倒か骨折予防等のための教室等に参加する」。

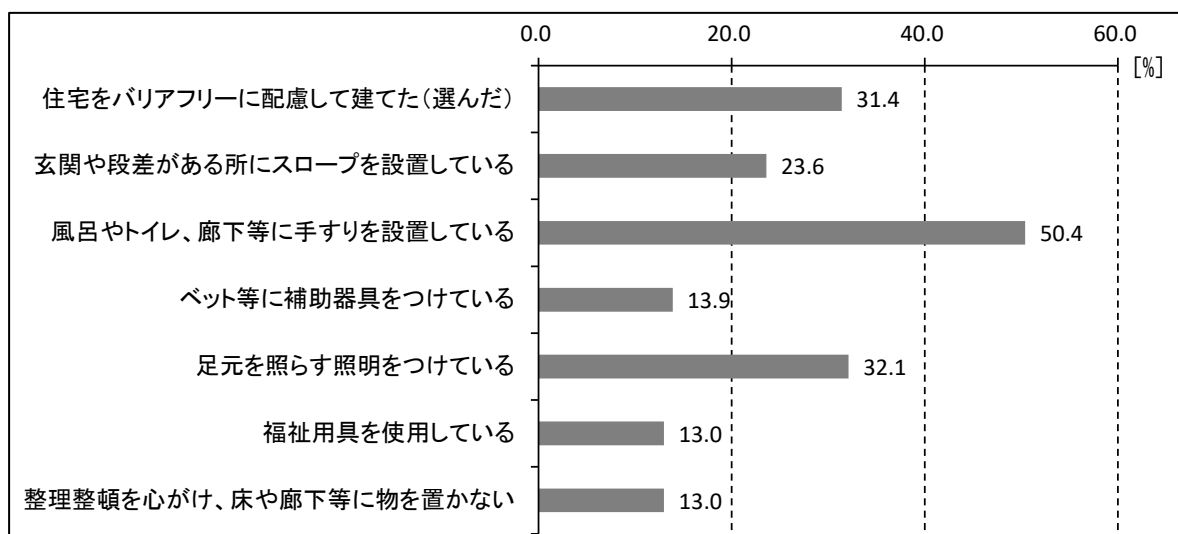
	実行している			効果あり		効果なし		わからない	
	サンプル数	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
A. ラジオ体操などの軽微な運動をする	468	221	47.2	152	68.8	1	0.5	51	23.1
B. ウォーキングや散歩などの運動をする	528	321	60.8	221	68.8	3	0.9	68	21.2
C. スポーツ(A, B除く)など継続的な運動をする	456	160	35.1	129	80.6	0	0.0	21	13.1
D. 転倒か骨折予防等のための教室等に参加する	417	42	10.1	33	78.6	1	2.4	3	7.1
E. 食生活を改善したり、注意する	490	350	71.4	219	62.6	2	0.6	92	26.3
F. 薬の副作用(めまいやふらつき)や病気への注意	438	277	63.2	160	57.8	8	2.9	79	28.5

## (33) 転倒によるケガを予防するために自宅で実行していること

問 18. あなたは、転倒によるケガを予防するために、自宅で実行していることはありますか。(あてはまるものすべてに○) また、その効果はあると思いますか。(○はひとつ)

転倒によるケガの予防として自宅で実行していることは、「風呂やトイレ、廊下等に手すりを設置している」が約半数

●転倒によるケガを予防するために自宅で実行していることについて、「風呂やトイレ、廊下等に手すりを設置している」の割合が高くなっている。



●自宅で実行している転倒防止策については、いずれも「効果あり」の割合が高くなっているが、特に「ベット等に補助器具をつけている」の割合が高い。

	実行している			効果あり		効果なし		わからない	
	サンプル数	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
住宅をバリアフリーに配慮して建てた(選んだ)	421	132	31.4	111	84.1	0	0.0	15	11.4
玄関や段差がある所にスロープを設置している	440	104	23.6	90	86.5	0	0.0	4	3.8
風呂やトイレ、廊下等に手すりを設置している	492	248	50.4	202	81.5	3	1.2	23	9.3
ベット等に補助器具をつけている	409	57	13.9	52	91.2	0	0.0	4	7.0
足元を照らす照明をつけている	448	144	32.1	120	83.3	2	1.4	7	4.9
福祉用具を使用している	430	56	13.0	48	85.7	0	0.0	3	5.4
整理整頓を心がけ、床や廊下等に物を置かない	430	56	13.0	290	70.6	12	2.9	50	12.2

### 3 「転倒予防」について

#### (34) 転倒の予防策をするようになったきっかけ

問 17 又は問 18 で、転倒の予防策を 1 つでも実行されていると回答された方にお聞きします。

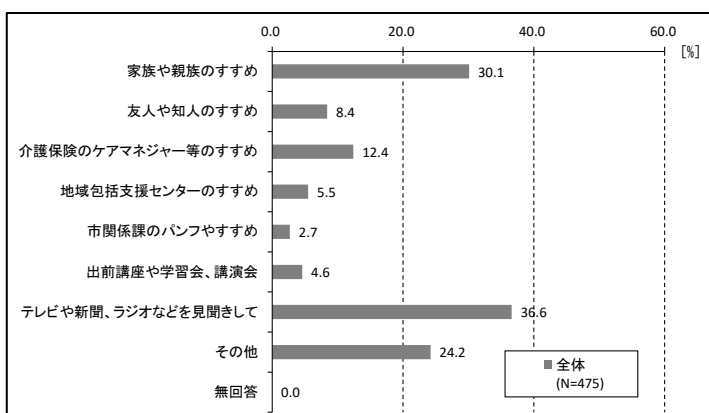
問 19. あなたが、その予防策をするようになったきっかけは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

予防策をするようになったきっかけは、「テレビや新聞、ラジオなどを見聞きして」「家族や親族のすすめ」がそれぞれ 3 割以上

● 予防策をするようになったきっかけについて、「テレビや新聞、ラジオなどを見聞きして」が 36.6% で最も高く、次いで「家族や親族のすすめ」が 30.1% と続く。

● その他の内訳について、「自主的に」「自身の考えで始めた」の回答が多くみられた。



#### 【属性別特徴】

● 男性・65～69 歳、男性・75～79 歳、男女・80 歳以上では、「家族や親族のすすめ」の割合が高い。

● 女性・80 歳以上では、「介護保険のケアマネジャー等のすすめ」の割合が高い。

● 女性・65～74 歳では、「テレビや新聞、ラジオなどを見聞きして」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	家族や親族のすすめ	友人や知人のすすめ	介護保険のケアマネジャー等のすすめ	地域包括支援センターのすすめ	市関係課のパンフやすすめ	出前講座や学習会、講演会	テレビや新聞、ラジオなどを見聞きして	その他	無回答	
上段: 実数、下段: %												
全 体		475 100.0	143 30.1	40 8.4	59 12.4	26 5.5	13 2.7	22 4.6	174 36.6	115 24.2	0 0.0	
性別	男性	198 100.0	70 35.4	15 7.6	16 8.1	6 3.0	8 4.0	6 3.0	67 33.8	53 26.8	0 0.0	
	女性	272 100.0	72 26.5	25 9.2	42 15.4	19 7.0	5 1.8	16 5.9	106 39.0	61 22.4	0 0.0	
	回答しない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	85 100.0	23 35.4	7 10.8	3 4.6	0 0.0	3 4.6	1 1.5	21 32.3	17 26.2	0 0.0
		女性	85 100.0	20 23.5	10 11.8	4 4.7	2 2.4	0 0.0	3 3.5	43 50.6	22 25.9	0 0.0
	70～74歳	男性	44 100.0	12 27.3	4 9.1	1 2.3	0 0.0	0 0.0	2 4.5	18 40.9	12 27.3	0 0.0
		女性	53 100.0	7 13.2	4 7.5	7 13.2	2 3.8	1 1.9	4 7.5	23 43.4	13 24.5	0 0.0
	75～79歳	男性	35 100.0	15 42.9	4 11.4	6 17.1	2 5.7	3 8.6	1 2.9	11 31.4	6 17.1	0 0.0
		女性	56 100.0	14 25.0	4 7.1	6 10.7	5 8.9	3 5.4	7 12.5	23 41.1	13 23.2	0 0.0
	80歳以上	男性	52 100.0	20 38.5	0 0.0	6 11.5	3 5.8	2 3.8	2 3.8	17 32.7	17 32.7	0 0.0
		女性	77 100.0	31 40.3	7 9.1	25 32.5	10 13.0	1 1.3	2 2.6	17 22.1	12 15.6	0 0.0

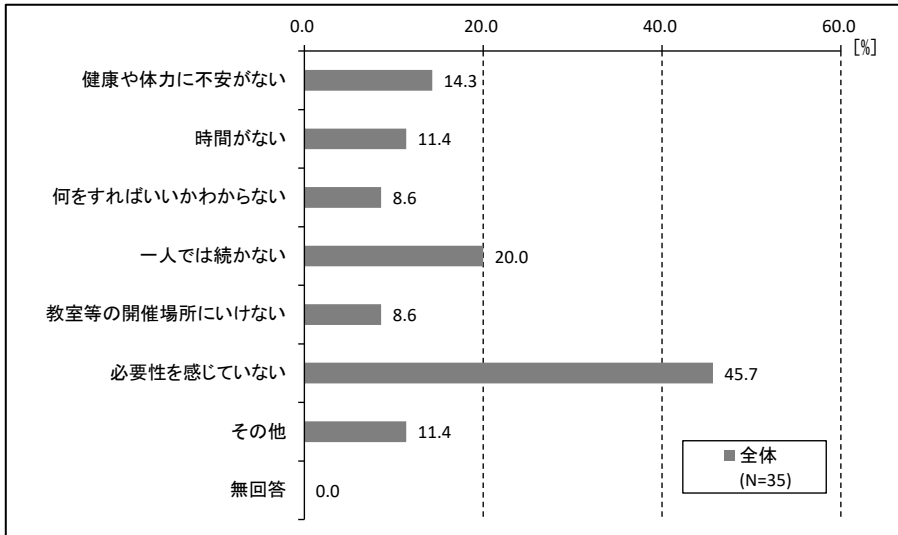
(35) 転倒の予防策を実行していない理由

問 17 と問 18 で、すべて「実行していない」と回答された方にお聞きします。

問 20. あなたが、実行していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

実行していない理由は「必要性を感じていない」が 4 割以上

● 実行していない理由について、「必要性を感じていない」が 45.7% で最も高い。



【属性別特徴】

● 男性では、「必要性を感じていない」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	健康や体力に不安がない	時間がない	何をすればいいかわからない	一人では続かない	教室等の開催場所にいけない	必要性を感じていない	その他	無回答	
上段:実数、下段:%											
全体		35	5	4	3	7	3	16	4	0	
		100.0	14.3	11.4	8.6	20.0	8.6	45.7	11.4	0.0	
性別	男性	20	3	1	2	5	0	11	2	0	
		100.0	15.0	5.0	10.0	25.0	0.0	55.0	10.0	0.0	
	女性	15	2	3	1	2	3	5	2	0	
	100.0	13.3	20.0	6.7	13.3	20.0	33.3	13.3	0.0		
	回答しない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	10	2	0	0	2	0	7	1	0
			100.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	70.0	10.0	0.0
		女性	3	0	2	1	0	1	1	0	0
		100.0	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	
	70～74歳	男性	5	1	1	1	2	0	1	0	0
			100.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
		女性	2	0	0	0	0	0	1	1	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	
	75～79歳	男性	3	0	0	1	0	0	2	1	0
			100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
		女性	3	0	0	0	1	0	1	1	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	
80歳以上	男性	2	0	0	0	1	0	1	0	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
	女性	7	2	1	0	1	2	2	0	0	
	100.0	28.6	14.3	0.0	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0		

### 3 「転倒予防」について

◆表 自宅での転倒状況、転倒に対する不安の有無別◆

		サ ン プ ル 数	健 康 や 体 力 に 不 安 が な い	時 間 が な い	い 何 を す れ ば い い か わ か ら な い	一 人 で は 続 か な い	い 教 室 等 の 開 催 場 所 に い け な い	必 要 性 を 感 じ て い な い	そ の 他
上段:実数、下段:%									
全 体		35 100.0	5 14.3	4 11.4	3 8.6	7 20.0	3 8.6	16 45.7	4 11.4
自 宅 で の 転 倒 状 況	ある(1回)	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3
	ある(2回)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ある(3回)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ある(4回)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ある(5回以上)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	危なく転倒するところ だった	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0
	ない	26 100.0	4 15.4	3 11.5	3 11.5	6 23.1	2 7.7	12 46.2	2 7.7
転 倒 に 対 す る 不 安 の 有 無	不安である	6 100.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	2 33.3
	ときどき不安を感じる	8 100.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	4 50.0	1 12.5
	ほとんど不安はない	5 100.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
	不安はない	10 100.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	7 70.0	0 0.0

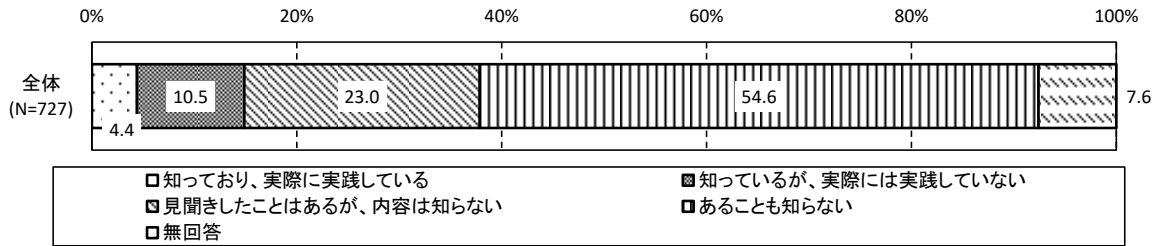
(36) 「転倒予防パンフレット」の認知度

問 21. あなたは、当市で発行している「転倒予防のパンフレット」を知っていますか。

(○はひとつ)

半数以上の人々が、「転倒予防のパンフレット」があることも知らない

● 「転倒予防パンフレット」の認知度について、「あることも知らない」が 54.6%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男性・65～69歳では、「あることも知らない」の割合が高い。
- 男性・75～79歳では、「見聞きしたことはあるが、内容は知らない」の割合が高い。
- 広報紙をあまり読まない人やまったく読まない人では、「あることも知らない」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	知っている	知っているが、実際には実践していない	見聞きしたことはあるが、内容は知らない	あることも知らない	無回答	
上段:実数、下段:%								
全体		727	32	76	167	397	55	
			4.4	10.5	23.0	54.6	7.6	
性別	男性	302	6	30	74	178	14	
			2.0	9.9	24.5	58.9	4.6	
	女性	417	25	45	93	214	40	
			6.0	10.8	22.3	51.3	9.6	
	回答しない	1	0	0	0	0	1	
			0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	1	8	22	63	8
				1.0	7.8	21.6	61.8	7.8
		女性	131	1	15	32	71	12
				0.8	11.5	24.4	54.2	9.2
	70～74歳	男性	79	2	9	19	47	2
				2.5	11.4	24.1	59.5	2.5
		女性	90	6	6	21	51	6
				6.7	6.7	23.3	56.7	6.7
	75～79歳	男性	51	1	4	18	26	2
				2.0	7.8	35.3	51.0	3.9
		女性	81	5	16	19	33	8
				6.2	19.8	23.5	40.7	9.9
80歳以上	男性	67	2	8	15	40	2	
			3.0	11.9	22.4	59.7	3.0	
	女性	112	13	8	21	59	11	
			11.6	7.1	18.8	52.7	9.8	

◆表 広報紙の閲読状況別◆

		サンプル数	知っている	知っているが、実際には実践していない	見聞きしたことはあるが、内容は知らない	あることも知らない	無回答
上段:実数、下段:%							
全体		727	32	76	167	397	55
			4.4	10.5	23.0	54.6	7.6
広報紙の閲読状況	毎号必ず読む	407	20	55	107	193	32
			4.9	13.5	26.3	47.4	7.9
	ときどき読む	188	7	14	48	107	12
			3.7	7.4	25.5	56.9	6.4
	あまり読まない	72	0	6	9	49	8
			0.0	8.3	12.5	68.1	11.1
	まったく読まない	43	2	0	2	37	2
			4.7	0.0	4.7	86.0	4.7

## 4 「高齢者虐待の防止」について

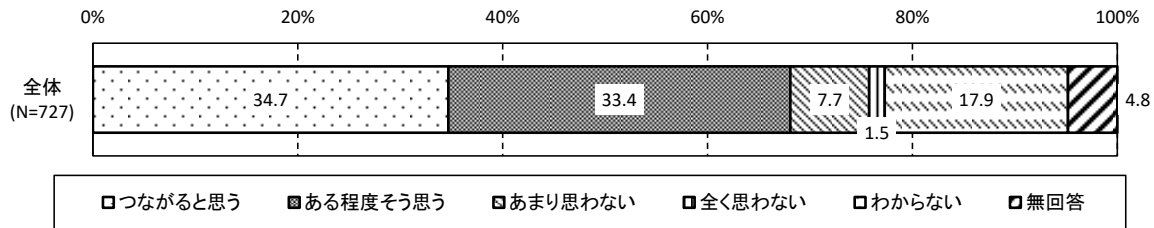
### (37) 認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性

問 22. あなたは、認知症の理解不足が高齢者虐待につながる場合があると思いますか。

(○はひとつ)

認知症の理解不足が高齢者虐待につながると思う人は6割以上

●認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性について、「つながると思う」が34.7%で最も高く、次いで「ある程度そう思う」が33.4%と続く。



#### 【属性別特徴】

- 男女・75～79歳では、「ある程度そう思う」の割合が高い。
- 男性・80歳以上では、「つながると思う」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	つながると思う	ある程度そう思う	あまり思わない	全く思わない	わからない	無回答	
上段:実数、下段:%									
全 体		727	252	243	56	11	130	35	
		100.0	34.7	33.4	7.7	1.5	17.9	4.8	
性別	男性	302	108	103	22	5	56	8	
		100.0	35.8	34.1	7.3	1.7	18.5	2.6	
	女性	417	140	140	34	5	73	25	
		100.0	33.6	33.6	8.2	1.2	17.5	6.0	
	回答しない	1	0	0	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	34	37	9	1	18	3
			100.0	33.3	36.3	8.8	1.0	17.6	2.9
	女性	131	49	43	11	2	17	9	
		100.0	37.4	32.8	8.4	1.5	13.0	6.9	
	70～74歳	男性	79	27	25	5	2	18	2
			100.0	34.2	31.6	6.3	2.5	22.8	2.5
	女性	90	33	29	7	0	20	1	
		100.0	36.7	32.2	7.8	0.0	22.2	1.1	
	75～79歳	男性	51	20	23	3	0	5	0
			100.0	39.2	45.1	5.9	0.0	9.8	0.0
	女性	81	16	36	6	0	17	6	
		100.0	19.8	44.4	7.4	0.0	21.0	7.4	
80歳以上	男性	67	27	16	5	1	15	3	
		100.0	40.3	23.9	7.5	1.5	22.4	4.5	
女性	112	42	30	10	3	19	8		
	100.0	37.5	26.8	8.9	2.7	17.0	7.1		

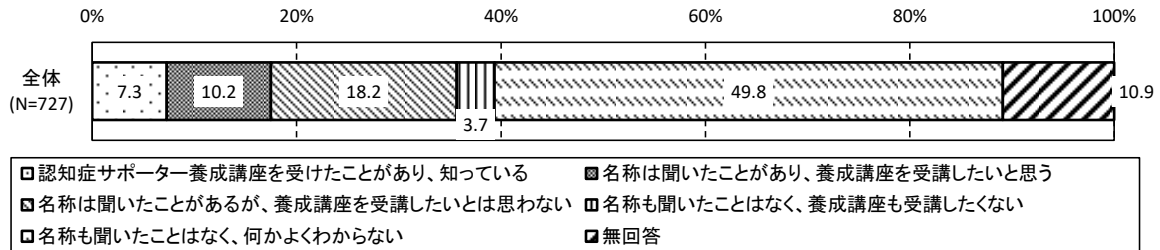


(38) 認知症サポーターの認知度

問 23. あなたは、「認知症サポーター」について知っていますか。(○はひとつ)

認知症サポーターの「名称も聞いたことはなく、何かよくわからない」人が約半数

● 認知症サポーターの認知度について、「名称も聞いたことはなく、何かよくわからない」が 49.8% で最も高い。



【属性別特徴】

● 男性・65～69歳では、「名称も聞いたことはなく、何かよくわからない」の割合が高い。

● 広報紙をまったく読まない人では、「名称も聞いたことはなく、何かよくわからない」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	知っている	名称も聞いたことがあり、養成講座を受講したいと思う	名称は聞いたことがあるが、養成講座を受講したいとは思わない	名称も聞いたことはなく、養成講座を受講したくない	名称も聞いたことはなく、何かよくわからない	無回答	
上段:実数, 下段:%									
全体		727	53	74	132	27	362	79	
		100.0	7.3	10.2	18.2	3.7	49.8	10.9	
性別	男性	302	13	21	63	15	165	25	
		100.0	4.3	7.0	20.9	5.0	54.6	8.3	
	女性	417	40	51	69	12	193	52	
		100.0	9.6	12.2	16.5	2.9	46.3	12.5	
	回答しない	1	0	0	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	6	7	16	3	67	3
			100.0	5.9	6.9	15.7	2.9	65.7	2.9
	70～74歳	女性	131	11	24	21	6	57	12
			100.0	8.4	18.3	16.0	4.6	43.5	9.2
	75～79歳	男性	79	2	8	17	4	38	10
			100.0	2.5	10.1	21.5	5.1	48.1	12.7
	80歳以上	女性	90	11	12	15	2	43	7
			100.0	12.2	13.3	16.7	2.2	47.8	7.8
75～79歳	男性	51	4	1	14	6	23	3	
		100.0	7.8	2.0	27.5	11.8	45.1	5.9	
80歳以上	女性	81	6	9	17	2	32	15	
		100.0	7.4	11.1	21.0	2.5	39.5	18.5	
80歳以上	男性	67	1	5	15	2	36	8	
		100.0	1.5	7.5	22.4	3.0	53.7	11.9	
80歳以上	女性	112	11	6	16	1	61	17	
		100.0	9.8	5.4	14.3	0.9	54.5	15.2	

◆表 広報紙の閲読状況別◆

		サンプル数	知っている	名称も聞いたことがあり、養成講座を受講したいと思う	名称は聞いたことがあるが、養成講座を受講したいとは思わない	名称も聞いたことはなく、養成講座を受講したくない	名称も聞いたことはなく、何かよくわからない	無回答
上段:実数, 下段:%								
全体		727	53	74	132	27	362	79
		100.0	7.3	10.2	18.2	3.7	49.8	10.9
広報紙の閲読状況	毎号必ず読む	407	40	51	81	10	176	49
		100.0	9.8	12.5	19.9	2.5	43.2	12.0
	ときどき読む	188	10	16	34	11	100	17
		100.0	5.3	8.5	18.1	5.9	53.2	9.0
	あまり読まない	72	1	5	14	3	41	8
		100.0	1.4	6.9	19.4	4.2	56.9	11.1
	まったく読まない	43	2	0	3	2	34	2
		100.0	4.7	0.0	7.0	4.7	79.1	4.7

#### 4 「高齢者虐待の防止」について

● 認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性について、あまり思わない人や全く思わない人、わからない人では、「名称も聞いたことはなく、何かよくわからない」の割合が高い。

◆ 表 認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性別 ◆

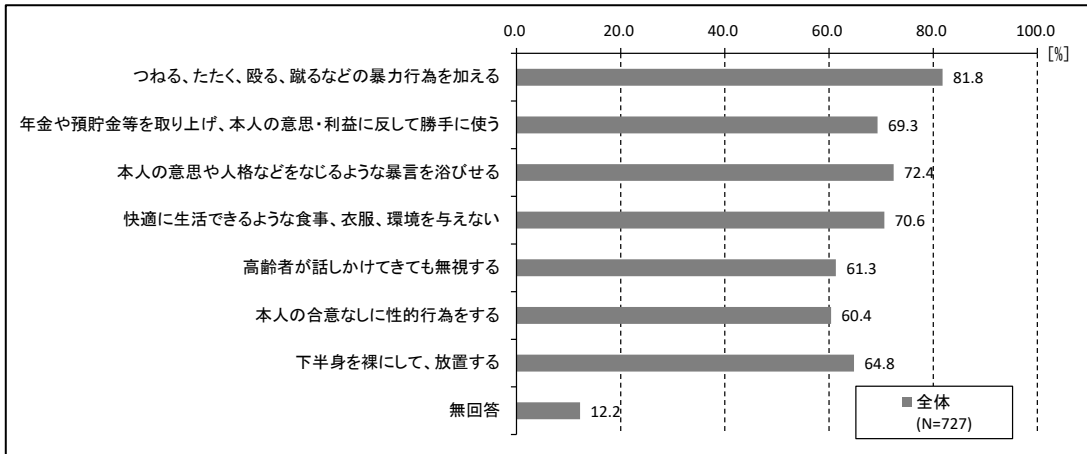
		サンプル数	認知症サポーター養成講座を受けたことがある、認知講座	う養成講座を受けたことあり、	名称は聞いたことあり、	が、養成講座を受講した	名称は聞いたことあり、	養成講座も受講した	名称も聞いたことあり、	何かよく聞いたことはない、	無回答
上段:実数、下段:%											
全 体		727 100.0	53 7.3	74 10.2	132 18.2	27 3.7	362 49.8	79 10.9			
高 認 知 症 の 理 解 不 足 と 関 係 性 と	つながると思う	252 100.0	24 9.5	38 15.1	51 20.2	12 4.8	112 44.4	15 6.0			
	ある程度そう思う	243 100.0	15 6.2	32 13.2	52 21.4	10 4.1	111 45.7	23 9.5			
	あまり思わない	56 100.0	8 14.3	1 1.8	11 19.6	2 3.6	31 55.4	3 5.4			
	全く思わない	11 100.0	0 0.0	0 0.0	3 27.3	0 0.0	8 72.7	0 0.0			
	わからない	130 100.0	6 4.6	3 2.3	14 10.8	2 1.5	95 73.1	10 7.7			

(39) 高齢者虐待にあたると思う行為

問 24. あなたは、次の行為は高齢者虐待にあたると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

高齢者虐待にあたると思う行為は、「つねる、たたく、殴る、蹴るなどの暴力行為」が8割以上

● 高齢者虐待にあたると思う行為について、「つねる、たたく、殴る、蹴るなどの暴力行為を加える」が81.8%で最も高い。



【属性別特徴】

● 男性・65～69歳では、「つねる、たたく、殴る、蹴るなどの暴力行為を加える」「年金や預貯金等を取り上げ、本人の意思・利益に反して勝手に使う」「快適に生活できるような食事、衣服、環境を与えない」の割合が高い。

● 女性・70～74歳では、「本人の意思や人格などをなじるような暴力を浴びせる」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	つねる、たたく、殴る、蹴るなどの暴力行為を加える	つねる、たたく、殴る、蹴るなどの暴力行為を加える	年金や預貯金等を取り上げ、本人の意思・利益に反して勝手に使う	本人の意思や人格などをなじるような暴言を浴びせる	本人の意思や人格などをなじるような暴言を浴びせる	快適に生活できるような食事、衣服、環境を与えない	高齢者が話しかけてきても無視する	本人の合意なしに性的行為をする	下半身を裸にして、放置する	無回答					
上段:実数、下段:%																	
全体		727	595	81.8	504	69.3	513	70.6	446	61.3	439	60.4	471	64.8	89	12.2	
性別	男性	302	258	85.4	207	68.5	226	74.8	228	75.5	190	63.2	191	66.9	32	10.6	
	女性	417	335	80.3	294	70.5	297	71.2	283	67.9	253	60.7	246	59.0	287	64.0	12.7
	回答しない	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	95	93.1	78	76.5	81	79.4	85	83.3	75	73.5	75	78.4	80	3.9
		女性	131	110	84.0	96	73.3	101	77.1	97	74.0	81	61.8	84	71.8	17	13.0
	70～74歳	男性	79	63	79.7	47	59.5	56	70.9	56	70.9	46	58.2	42	62.0	49	13.2
		女性	90	77	85.6	68	75.6	73	81.1	67	74.4	64	71.1	60	70.0	63	4.4
	75～79歳	男性	51	41	80.4	32	62.7	35	68.6	36	70.6	30	58.8	30	60.8	31	13.7
		女性	81	60	74.1	54	66.7	47	58.0	48	59.3	37	45.7	41	50.6	44	18.5
	80歳以上	男性	67	57	85.1	49	73.1	53	79.1	50	74.6	38	56.7	43	64.2	41	8
		女性	112	86	76.8	74	66.1	74	66.1	69	61.6	69	61.6	59	52.7	64	14.3

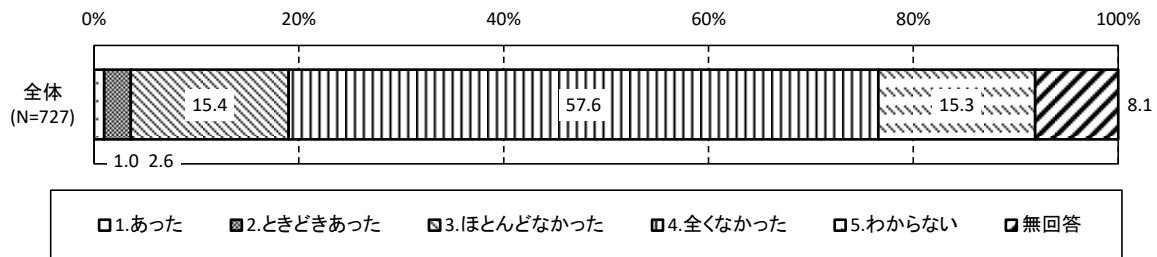
## 4 「高齢者虐待の防止」について

### (40) 虐待しているのではと思った経験の有無

問 25. あなたは、これまで自分が高齢者虐待をしているのではないかと思うことがありましたか。(〇はひとつ)

虐待しているのではと思った経験は、半数以上の人「全くない」

●虐待しているのではと思った経験の有無について、「全くなかった」が 57.6% で最も高い。



#### 【属性別特徴】

●いずれの性別・年代において「全くなかった」の割合が高い。

#### ◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1. あった	2. ときどきあった	3. ほとんどなかった	4. 全くなかった	5. わからない	無回答	
上段:実数、下段:%									
全体		727	7	19	112	419	111	59	
		100.0	1.0	2.6	15.4	57.6	15.3	8.1	
性別	男性	302	4	9	52	176	46	15	
		100.0	1.3	3.0	17.2	58.3	15.2	5.0	
	女性	417	3	10	59	239	64	42	
	100.0	0.7	2.4	14.1	57.3	15.3	10.1		
	回答しない	1	0	0	0	0	0	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	2	4	19	58	15	4
			100.0	2.0	3.9	18.6	56.9	14.7	3.9
		女性	131	1	2	25	74	13	16
		100.0	0.8	1.5	19.1	56.5	9.9	12.2	
	70～74歳	男性	79	2	2	12	45	14	4
			100.0	2.5	2.5	15.2	57.0	17.7	5.1
		女性	90	1	3	14	51	16	5
		100.0	1.1	3.3	15.6	56.7	17.8	5.6	
	75～79歳	男性	51	0	2	6	35	6	2
			100.0	0.0	3.9	11.8	68.6	11.8	3.9
		女性	81	1	1	9	50	12	8
		100.0	1.2	1.2	11.1	61.7	14.8	9.9	
80歳以上	男性	67	0	1	15	37	10	4	
		100.0	0.0	1.5	22.4	55.2	14.9	6.0	
	女性	112	0	4	11	63	22	12	
	100.0	0.0	3.6	9.8	56.3	19.6	10.7		

#### ◆表 認知症の理解不足と高齢者虐待の関係性別◆

		サンプル数	1. あった	2. ときどきあった	3. ほとんどなかった	4. 全くなかった	5. わからない	無回答
上段:実数、下段:%								
全体		727	7	19	112	419	111	59
		100.0	1.0	2.6	15.4	57.6	15.3	8.1
高認知症の虐待の理解不足性と関係性	つながると思う	252	4	12	50	151	28	7
		100.0	1.6	4.8	19.8	59.9	11.1	2.8
	ある程度そう思う	243	2	6	39	136	41	19
		100.0	0.8	2.5	16.0	56.0	16.9	7.8
	あまり思わない	56	0	0	10	34	10	2
	100.0	0.0	0.0	17.9	60.7	17.9	3.6	
全く思わない	11	0	0	1	9	0	1	
	100.0	0.0	0.0	9.1	81.8	0.0	9.1	
わからない	130	1	1	11	82	29	6	
	100.0	0.8	0.8	8.5	63.1	22.3	4.6	

(4 1) 自身の行為について感じること

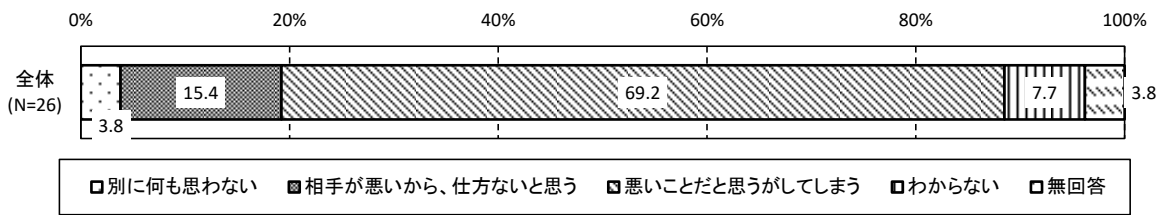
問 25 で、「1」～「2」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問 26 へお進み下さい。

問 25-1. あなたは、問 25 でお答えいただいた行為についてどう思っていますか。

(○はひとつ)

自身の行為について、「悪いことだと思うがしてしまう」人が 7 割程度

●自身の行為について感じることに、「悪いことだと思うがしてしまう」が 69.2%で最も高い。



【属性別特徴】

●男女とも、「悪いことだと思うがしてしまう」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	別に何も思わない	相手が悪いから、仕方ないと思う	まあ悪いことだと思うがしてしまう	わからない	無回答	
上段:実数、下段:%								
全 体		26	1	4	18	2	1	
		100.0	3.8	15.4	69.2	7.7	3.8	
性別	男性	13	1	2	8	2	0	
		100.0	7.7	15.4	61.5	15.4	0.0	
	女性	13	0	2	10	0	1	
		100.0	0.0	15.4	76.9	0.0	7.7	
	回答しない	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	6	0	1	4	1	0
			100.0	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0
		女性	3	0	0	3	0	0
			100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	70～74歳	男性	4	0	1	2	1	0
			100.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0
		女性	4	0	0	4	0	0
			100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	75～79歳	男性	2	1	0	1	0	0
			100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
		女性	2	0	1	1	0	0
			100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
80歳以上	男性	1	0	0	1	0	0	
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
	女性	4	0	1	2	0	1	
		100.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	

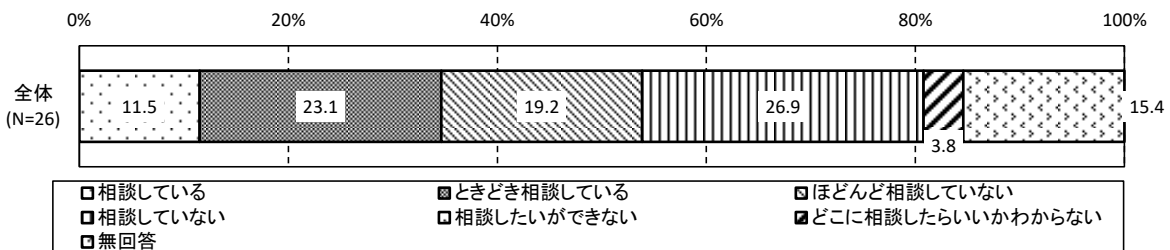
## 4 「高齢者虐待の防止」について

### (4 2) 自身の虐待行為についての相談状況

問 25-2. あなたは、問 25 でお答えいただいた行為について相談していますか。(○はひとつ)

自身の虐待行為について 3 割以上の方が「相談している」

●自身の虐待行為についての相談状況について、「相談していない」が 26.9%で最も高く、次いで「ときどき相談している」が 23.1%と続く。



#### 【属性別特徴】

- 男性では、「ときどき相談している」「相談していない」の割合が高い。
- 女性では、「ほとんど相談していない」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	相談している	ときどき相談している	ほとんど相談していない	相談していない	相談したいができない	からどに相談したらいいかわからない	無回答	
上段:実数、下段:%										
全体		26 100.0	3 11.5	6 23.1	5 19.2	7 26.9	0 0.0	1 3.8	4 15.4	
性別	男性	13 100.0	0 0.0	5 38.5	1 7.7	5 38.5	0 0.0	0 0.0	2 15.4	
	女性	13 100.0	3 23.1	1 7.7	4 30.8	2 15.4	0 0.0	1 7.7	2 15.4	
	回答しない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	6 100.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	4 66.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7
		女性	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	70～74歳	男性	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
		女性	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	75～79歳	男性	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		女性	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	80歳以上	男性	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		女性	4 100.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

◆表 広報紙の閲読状況別◆

		サンプル数	相談している	ときどき相談している	ほとんど相談していない	相談していない	相談したいができない	どこに相談したらいいかわからない	無回答
上段:実数、下段:%									
全体		26 100.0	3 11.5	6 23.1	5 19.2	7 26.9	0 0.0	1 3.8	4 15.4
広報紙の 閲読状況	毎号必ず読む	16 100.0	1 6.3	4 25.0	3 18.8	5 31.3	0 0.0	1 6.3	2 12.5
	ときどき読む	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	あまり読まない	5 100.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
	まったく読まない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

◆表 自身の行為について感じる事別◆

		サンプル数	相談している	ときどき相談している	ほとんど相談していない	相談していない	相談したいができない	どこに相談したらいいかわからない	無回答
上段:実数、下段:%									
全体		26 100.0	3 11.5	6 23.1	5 19.2	7 26.9	0 0.0	1 3.8	4 15.4
自身 の 行為 に つ いて 感 じ る こ と	別に何も思わない	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	相手が悪いから、仕方ないと思う	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	悪いことだと思うがしてしまう	18 100.0	2 11.1	4 22.2	4 22.2	4 22.2	0 0.0	1 5.6	3 16.7
	わからない	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0

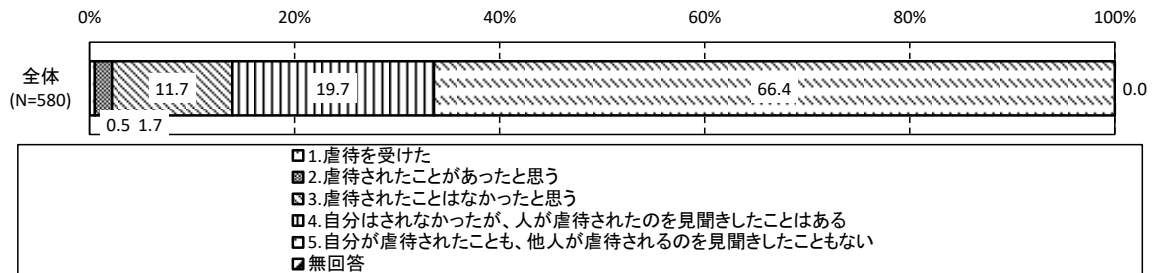
## 4 「高齢者虐待の防止」について

### (43) 高齢者虐待を受けた又は見聞きした経験の有無

問 26. あなたは、これまで高齢者虐待を受けた又は高齢者虐待を見聞きしたことがありますか。(○はひとつ)

高齢者の虐待について、「人がされたのを見聞きしたことがある」人が約 2 割

● 高齢者虐待を受けた又は見聞きした経験の有無について、「自分が虐待されたことも、他人が虐待されるのを見聞きしたこともない」が 66.4%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

● 属性別にみても、特に大きな差はみられない。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	1. 虐待を受けた	2. 虐待されたと思う	3. 虐待されたことはなかったと思う	4. 自分が虐待されたことはあるが、人が虐待されたのを見聞きしたことはある	5. 自分が虐待されたこともない他人が虐待されたのを見聞きしたことはある	無回答	
上段:実数、下段:%									
全 体		580	3	10	68	114	385	0	
		100.0	0.5	1.7	11.7	19.7	66.4	0.0	
性別	男性	256	0	5	33	52	166	0	
		100.0	0.0	2.0	12.9	20.3	64.8	0.0	
	女性	319	3	5	34	59	218	0	
	100.0	0.9	1.6	10.7	18.5	68.3	0.0		
回答しない		0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	87	0	0	9	19	59	0
			100.0	0.0	0.0	10.3	21.8	67.8	0.0
	女性	101	1	0	7	22	71	0	
		100.0	1.0	0.0	6.9	21.8	70.3	0.0	
	70～74歳	男性	63	0	3	6	12	42	0
			100.0	0.0	4.8	9.5	19.0	66.7	0.0
	女性	70	1	3	6	12	48	0	
		100.0	1.4	4.3	8.6	17.1	68.6	0.0	
	75～79歳	男性	47	0	1	8	8	30	0
			100.0	0.0	2.1	17.0	17.0	63.8	0.0
	女性	62	1	0	7	12	42	0	
		100.0	1.6	0.0	11.3	19.4	67.7	0.0	
80歳以上	男性	57	0	1	10	12	34	0	
		100.0	0.0	1.8	17.5	21.1	59.6	0.0	
女性	84	0	2	14	13	55	0		
	100.0	0.0	2.4	16.7	15.5	65.5	0.0		



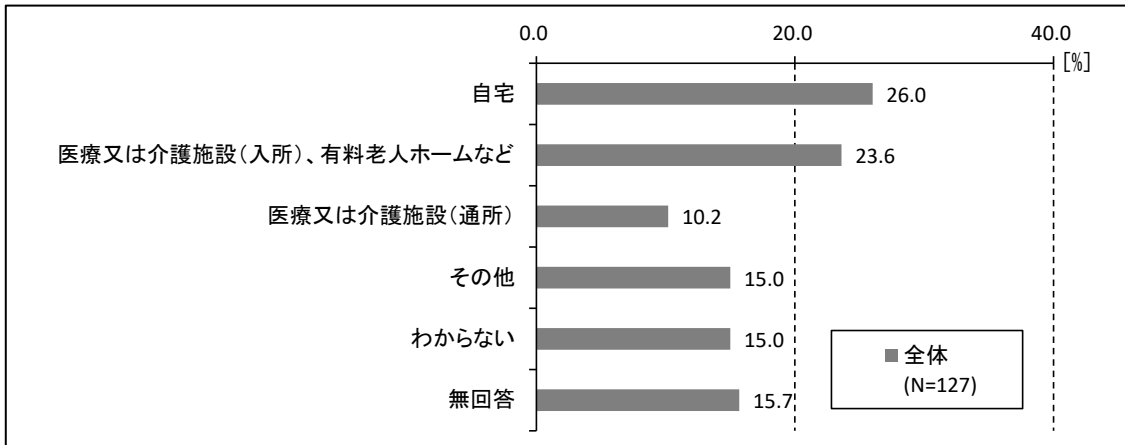
(44) 虐待がされた場所

問 26 で、「1」、「2」、「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「27」へお進みください。

問 26-1. 虐待がされた場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

虐待がされた場所は「自宅」、「医療又は介護施設（入所）、有料老人ホームなど」がともに2割以上

●虐待がされた場所について、「自宅」が26.0%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男性では、「医療又は介護施設（入所）、有料老人ホームなど」の割合が高い。
- 女性では、「自宅」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	自宅	所医療又は介護施設(入所)、有料老人ホームなど	医療又は介護施設(通所)	その他	わからない	無回答	
上段:実数、下段:%									
全 体		127	33	30	13	19	19	20	
		100.0	26.0	23.6	10.2	15.0	15.0	15.7	
性別	男性	57	11	15	5	7	11	9	
		100.0	19.3	26.3	8.8	12.3	19.3	15.8	
	女性	67	21	15	8	10	8	11	
		100.0	31.3	22.4	11.9	14.9	11.9	16.4	
	回答しない	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	19	6	4	2	2	3	2
			100.0	31.6	21.1	10.5	10.5	15.8	10.5
		女性	23	7	9	2	4	3	0
			100.0	30.4	39.1	8.7	17.4	13.0	0.0
	70～74歳	男性	15	3	5	2	0	2	3
			100.0	20.0	33.3	13.3	0.0	13.3	20.0
		女性	16	6	2	3	2	1	3
			100.0	37.5	12.5	18.8	12.5	6.3	18.8
	75～79歳	男性	9	1	2	1	2	3	1
			100.0	11.1	22.2	11.1	22.2	33.3	11.1
		女性	13	4	3	3	1	1	4
			100.0	30.8	23.1	23.1	7.7	7.7	30.8
80歳以上	男性	13	1	4	0	3	2	3	
		100.0	7.7	30.8	0.0	23.1	15.4	23.1	
	女性	15	4	1	0	3	3	4	
		100.0	26.7	6.7	0.0	20.0	20.0	26.7	

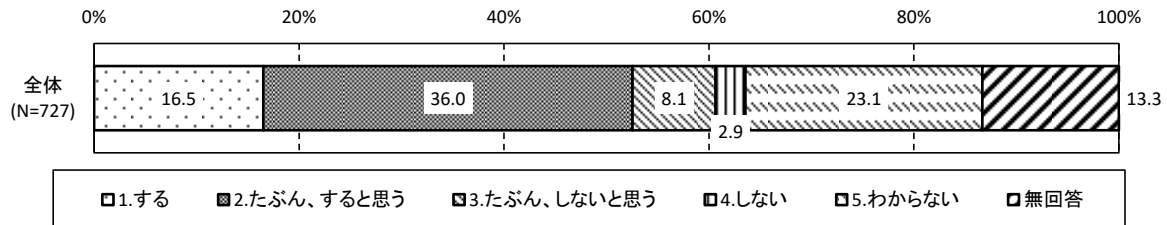
## 4 「高齢者虐待の防止」について

### (45) 高齢者の虐待を見聞きした場合の対応（相談または通報）

問 27. あなたは、高齢者虐待を見聞きしたとき、相談又は通報しますか。(○はひとつ)

高齢者の虐待を見聞きした場合、相談または通報する人は約半数

● 高齢者の虐待を見聞きした場合の対応（相談または通報）について、「たぶん、すると思う」が 36.0% で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性・75～79歳では、「する」の割合が高い。
- 男性・70～79歳では、「たぶん、すると思う」の割合が高い。
- 広報紙を毎号必ず読む人では、「する」「たぶん、すると思う」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1. する	2. たぶん、すると思う	3. たぶん、しないと思う	4. しない	5. わからない	無回答	
上段:実数、下段:%									
全体		727	120	262	59	21	168	97	
		100.0	16.5	36.0	8.1	2.9	23.1	13.3	
性別	男性	302	55	117	24	9	65	32	
		100.0	18.2	38.7	7.9	3.0	21.5	10.6	
	女性	417	65	140	35	12	103	62	
		100.0	15.6	33.6	8.4	2.9	24.7	14.9	
	回答しない	1	0	0	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	13	40	14	4	26	5
			100.0	12.7	39.2	13.7	3.9	25.5	4.9
	70～74歳	女性	131	25	44	12	3	34	13
			100.0	19.1	33.6	9.2	2.3	26.0	9.9
	75～79歳	男性	79	12	33	4	2	18	10
			100.0	15.2	41.8	5.1	2.5	22.8	12.7
	80歳以上	女性	90	13	29	7	5	26	10
			100.0	14.4	32.2	7.8	5.6	28.9	11.1
	75～79歳	男性	51	14	22	1	2	8	4
			100.0	27.5	43.1	2.0	3.9	15.7	7.8
	80歳以上	女性	81	7	31	7	2	16	18
			100.0	8.6	38.3	8.6	2.5	19.8	22.2
80歳以上	男性	67	14	22	5	1	13	12	
		100.0	20.9	32.8	7.5	1.5	19.4	17.9	
	女性	112	19	36	9	2	26	20	
		100.0	17.0	32.1	8.0	1.8	23.2	17.9	

◆表 広報紙の閲読状況別◆

		サンプル数	1. する	2. たぶん、すると思う	3. たぶん、しないと思う	4. しない	5. わからない	無回答
上段:実数、下段:%								
全体		727	120	262	59	21	168	97
		100.0	16.5	36.0	8.1	2.9	23.1	13.3
広報紙の閲読状況	毎号必ず読む	407	70	161	32	10	81	53
		100.0	17.2	39.6	7.9	2.5	19.9	13.0
	ときどき読む	188	28	64	12	7	56	21
		100.0	14.9	34.0	6.4	3.7	29.8	11.2
	あまり読まない	72	11	20	9	2	18	12
	100.0	15.3	27.8	12.5	2.8	25.0	16.7	
まったく読まない	43	7	11	6	2	10	7	
	100.0	16.3	25.6	14.0	4.7	23.3	16.3	

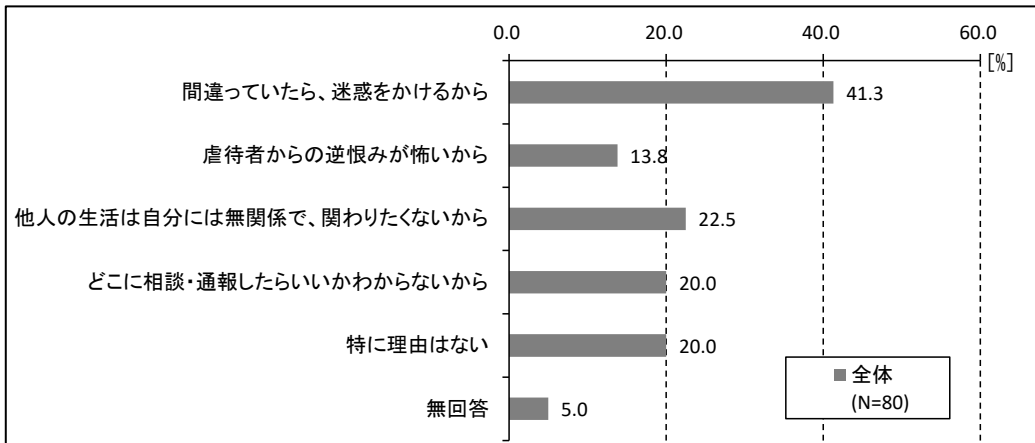
(46) 相談又は通報しない理由

問 27 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「28」へお進みください。

問 27-1. あなたが、相談又は通報しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

相談又は通報しない理由は「間違っていたら迷惑をかけるから」が4割以上

●相談又は通報しない理由について、「間違っていたら、迷惑をかけるから」が41.3%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男性では、「他人の生活は自分には無関係で、関わりたくないから」「どこに相談・通報したらいいかわからないから」の割合が高い。
- 女性では、「間違っていたら、迷惑をかけるから」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1. する	2. たぶん、すると思う	3. たぶん、しないとと思う	4. しない	5. わからない	無回答	
上段:実数、下段:%									
全体		727	120	262	59	21	168	97	
		100.0	16.5	36.0	8.1	2.9	23.1	13.3	
性別	男性	302	55	117	24	9	65	32	
		100.0	18.2	38.7	7.9	3.0	21.5	10.6	
	女性	417	65	140	35	12	103	62	
		100.0	15.6	33.6	8.4	2.9	24.7	14.9	
	回答しない	1	0	0	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	13	40	14	4	26	5
			100.0	12.7	39.2	13.7	3.9	25.5	4.9
		女性	131	25	44	12	3	34	13
			100.0	19.1	33.6	9.2	2.3	26.0	9.9
	70～74歳	男性	79	12	33	4	2	18	10
			100.0	15.2	41.8	5.1	2.5	22.8	12.7
		女性	90	13	29	7	5	26	10
			100.0	14.4	32.2	7.8	5.6	28.9	11.1
	75～79歳	男性	51	14	22	1	2	8	4
			100.0	27.5	43.1	2.0	3.9	15.7	7.8
		女性	81	7	31	7	2	16	18
			100.0	8.6	38.3	8.6	2.5	19.8	22.2
80歳以上	男性	67	14	22	5	1	13	12	
		100.0	20.9	32.8	7.5	1.5	19.4	17.9	
	女性	112	19	36	9	2	26	20	
		100.0	17.0	32.1	8.0	1.8	23.2	17.9	

## 5 「犯罪の防止・防犯力の向上」について

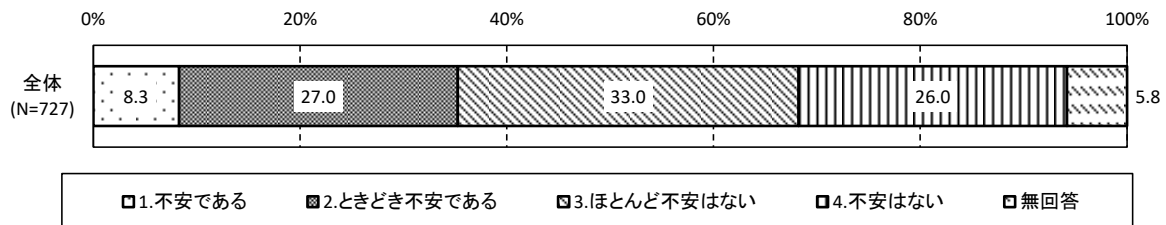
### (47) 犯罪の被害に対する不安

問 28. あなたは、生活の中で犯罪の被害にあうかもしれないという不安はありますか。

(○はひとつ)

3割以上の方が、犯罪の被害に対する不安を感じている

●犯罪の被害に対する不安について、「ほとんど不安はない」が33.0%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 女性・65～69歳では、「ときどき不安である」の割合が高い。
- 男性・65～69歳、女性・70～74歳では、「ほとんど不安はない」の割合が高い。
- 女性・80歳以上では、「不安はない」の割合が高い。
- 中央東部、南東部、西部Aでは、「ときどき不安である」の割合が高い。
- 北部Bでは、「ほとんど不安はない」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1.不安である	2.ときどき不安である	3.ほとんど不安はない	4.不安はない	無回答	
上段:実数、下段:%								
全体		727	60	196	240	189	42	
		100.0	8.3	27.0	33.0	26.0	5.8	
性別	男性	302	27	86	106	74	9	
		100.0	8.9	28.5	35.1	24.5	3.0	
	女性	417	32	109	132	113	31	
		100.0	7.7	26.1	31.7	27.1	7.4	
	回答しない	1	0	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	5	27	49	17	4
			100.0	4.9	26.5	48.0	16.7	3.9
		女性	131	7	44	45	31	4
			100.0	5.3	33.6	34.4	23.7	3.1
	70～74歳	男性	79	10	24	20	21	4
			100.0	12.7	30.4	25.3	26.6	5.1
		女性	90	9	18	37	20	6
			100.0	10.0	20.0	41.1	22.2	6.7
	75～79歳	男性	51	4	16	16	15	0
			100.0	7.8	31.4	31.4	29.4	0.0
		女性	81	2	24	24	22	9
			100.0	2.5	29.6	29.6	27.2	11.1
80歳以上	男性	67	7	19	21	19	1	
		100.0	10.4	28.4	31.3	28.4	1.5	
	女性	112	14	22	25	40	11	
		100.0	12.5	19.6	22.3	35.7	9.8	

◆表 居住校別◆

		サンプル数	1.不安である	2.ときどき不安である	3.ほとんど不安はない	4.不安はない	無回答
上段:実数、下段:%							
全体		727	60	196	240	189	42
		100.0	8.3	27.0	33.0	26.0	5.8
居住校別	東部A	53	6	14	17	13	3
		100.0	11.3	26.4	32.1	24.5	5.7
	東部B	45	4	9	14	16	2
		100.0	8.9	20.0	31.1	35.6	4.4
	北部A	66	5	12	19	22	8
		100.0	7.6	18.2	28.8	33.3	12.1
	北部B	43	6	9	19	7	2
		100.0	14.0	20.9	44.2	16.3	4.7
	中央東部	78	3	25	24	21	5
		100.0	3.8	32.1	30.8	26.9	6.4
	南東部	77	5	28	22	19	3
		100.0	6.5	36.4	28.6	24.7	3.9
中央部	90	10	28	25	23	4	
	100.0	11.1	31.1	27.8	25.6	4.4	
中央南部	117	13	23	41	32	8	
	100.0	11.1	19.7	35.0	27.4	6.8	
南西部	69	2	18	26	20	3	
	100.0	2.9	26.1	37.7	29.0	4.3	
西部A	28	1	11	5	9	2	
	100.0	3.6	39.3	17.9	32.1	7.1	
西部B	44	3	13	22	6	0	
	100.0	6.8	29.5	50.0	13.6	0.0	

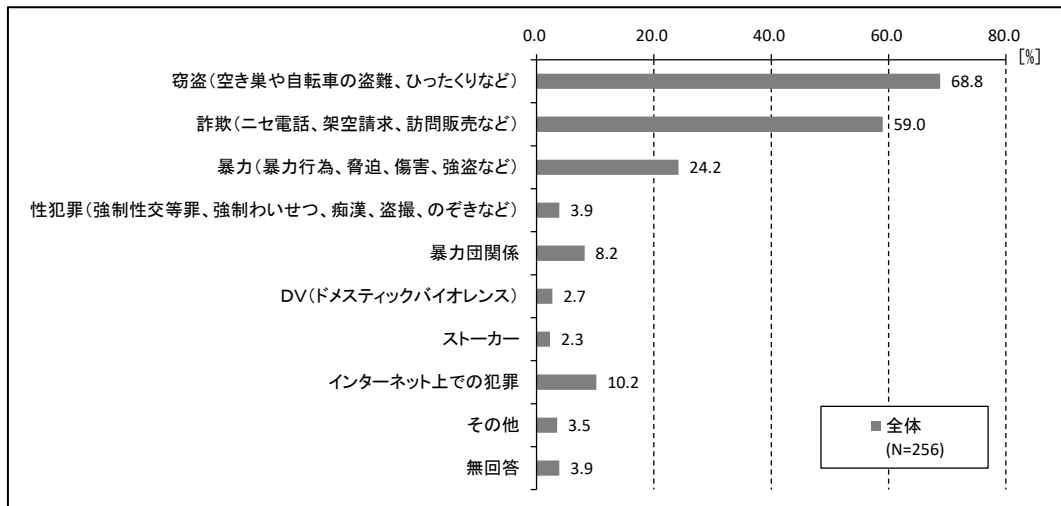
(48) 不安に感じる犯罪

問 28 で、「1」又は「2」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「29」へお進みください。

問 28-1. あなたが、不安に感じる犯罪は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

不安に感じる犯罪は「窃盗」が約 7 割

●不安に感じる犯罪について、「窃盗」が 68.8%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男女・65～69 歳では、「窃盗」の割合が高い。
- 女性・75～79 歳、男性・80 歳以上では、「詐欺」の割合が高い。
- 男性では、「暴力」「インターネット上での犯罪」の割合が高い。
- 女性では、「性犯罪」「DV」「ストーカー」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	窃盗、ひったくりなど	詐欺(ニセ電話、架空請求、訪問販売など)	暴力(暴力行為、脅迫、傷害、強盗など)	性犯罪(強制性交等罪、痴漢、盗撮、のぞきなど)	暴力団関係	DV(ドメスティックバイオレンス)	ストーカー	インターネット上での犯罪	その他	無回答	
上段:実数、下段:%													
全体		256 100.0	176 68.8	151 59.0	62 24.2	10 3.9	21 8.2	7 2.7	6 2.3	26 10.2	9 3.5	10 3.9	
性別	男性	113 100.0	82 72.6	67 59.3	37 32.7	1 0.9	12 10.6	1 0.9	1 0.9	19 16.8	4 3.5	1 0.9	
	女性	141 100.0	93 66.0	83 58.9	24 17.0	9 6.4	9 6.4	6 4.3	5 3.5	7 5.0	5 3.5	8 5.7	
	回答しない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	32 100.0	29 90.6	18 56.3	12 37.5	0 0.0	3 9.4	0 0.0	0 0.0	8 25.0	1 3.1	0 0.0
		女性	51 100.0	41 80.4	27 52.9	10 19.6	4 7.8	1 2.0	2 3.9	3 3.9	3 5.9	3 5.9	1 2.0
	70～74歳	男性	34 100.0	25 73.5	21 61.8	9 26.5	0 0.0	2 5.9	1 2.9	0 0.0	4 11.8	3 8.8	0 0.0
		女性	27 100.0	20 74.1	17 63.0	6 22.2	3 11.1	4 14.8	2 7.4	3 11.1	2 7.4	1 3.7	1 3.7
	75～79歳	男性	20 100.0	13 65.0	10 50.0	7 35.0	1 5.0	5 25.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	2 0.0	0 5.0
		女性	26 100.0	19 73.1	17 65.4	4 15.4	0 0.0	2 7.7	1 3.8	0 0.0	1 3.8	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	男性	26 100.0	15 57.7	17 65.4	9 34.6	0 0.0	2 7.7	0 0.0	1 3.8	5 19.2	0 0.0	0 0.0
		女性	36 100.0	13 36.1	22 61.1	4 11.1	2 5.6	2 5.6	1 2.8	0 0.0	1 2.8	1 2.8	5 13.9

## 5 「犯罪の防止・防犯力の向上」について

- 北部 B では、窃盗の割合が高い。
- 中央東部、南西部では、「詐欺」の割合が高い。

◆表 居住校區別◆

	サンプル数	窃盗(空き巣や自転車の盗難、ひったくりなど)	詐欺(ニセ電話、架空請求、訪問販売など)	暴力(暴力行為、脅迫、傷害、強盗など)	性犯罪(強制性交等罪、強姦など)	暴力団関係	DV(ドメスティックバイオレンス)	ストーカー	インターネット上での犯罪	その他	無回答
	上段:実数、下段:%										
全体	256 100.0	176 68.8	151 59.0	62 24.2	10 3.9	21 8.2	7 2.7	6 2.3	26 10.2	9 3.5	10 3.9
居住校區	東部A	20 100.0	12 60.0	11 55.0	4 20.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 10.0	2 5.0	1 10.0
	東部B	13 100.0	9 69.2	8 61.5	4 30.8	0 0.0	3 23.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	北部A	17 100.0	12 70.6	7 41.2	5 29.4	1 5.9	3 17.6	0 0.0	1 5.9	3 17.6	1 5.9
	北部B	15 100.0	13 86.7	7 46.7	4 26.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	1 6.7
	中央東部	28 100.0	21 75.0	19 67.9	8 28.6	0 0.0	1 3.6	0 0.0	0 10.7	3 3.6	1 7.1
	南東部	33 100.0	20 60.6	19 57.6	4 12.1	1 3.0	1 3.0	0 0.0	0 0.0	4 12.1	0 0.0
	中央部	38 100.0	23 60.5	22 57.9	11 28.9	2 5.3	3 7.9	3 7.9	1 2.6	2 5.3	1 2.6
	中央南部	36 100.0	27 75.0	23 63.9	10 27.8	2 5.6	5 13.9	1 2.8	2 5.6	3 8.3	1 2.8
	南西部	20 100.0	15 75.0	14 70.0	7 35.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0	1 5.0	4 20.0	1 5.0
	西部A	12 100.0	9 75.0	7 58.3	4 33.3	1 8.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3	4 33.3	1 8.3
	西部B	16 100.0	12 75.0	9 56.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

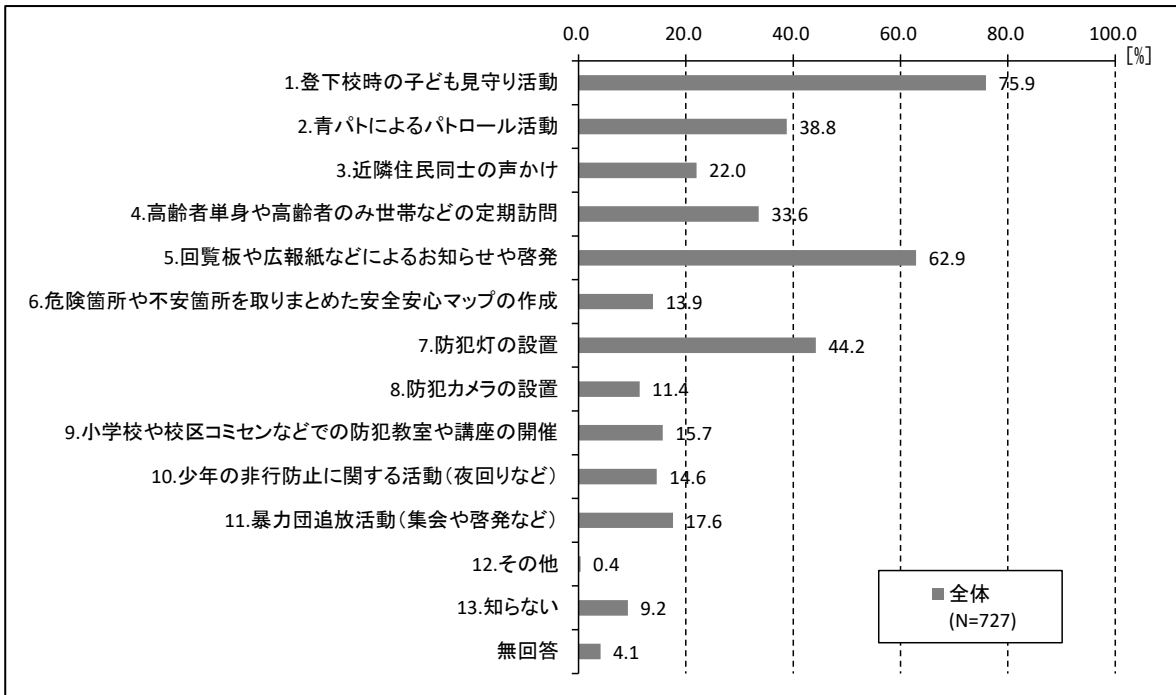
## (49) 地域で行われている防犯活動の認知度

問 29. あなたは、お住まいの地域で行われている防犯活動を知っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

地域で行われている防犯活動で認知度が高いのは「登下校時の子ども見守り活動」で7割以上

●地域で行われている防犯活動の認知度について、「登下校時の子ども見守り活動」が75.9%で最も高い。



## 5 「犯罪の防止・防犯力の向上」について

### 【属性別特徴】

- 男性・65～79歳では、「登下校時の子ども見守り活動」の割合が高い。
- 男性・65～74歳では、「青パトによるパトロール活動」の割合が高い。
- 女性・70～79歳では、「高齢者単身や高齢者のみの世帯などの定期訪問」の割合が高い。
- 男性・65～69歳では、「回覧板や広報誌などによるお知らせや啓発」の割合が高い。
- 男性・65～69歳、男性・75～79歳では、「防犯灯の設置」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1. 登下校時の子ども見守り活動	2. 青パトによるパトロール	3. 近隣住民同士の声かけ	4. 高齢者単身や高齢者のみの世帯などの定期訪問	5. 回覧板や広報誌などによるお知らせや啓発	6. 危険箇所や不安箇所を把握するための安全安心マップの作成	7. 防犯灯の設置	8. 防犯カメラの設置	9. 小学校や教室や講座の開催	10. 少年の非行防止に関する活動（夜回りなど）	11. 暴力団追放活動（集会や啓発など）	12. その他	13. 知らない	無回答	
		上段:実数、下段:%															
全体		727 100.0	552 75.9	282 38.8	160 22.0	244 33.6	457 62.9	101 13.9	321 44.2	83 11.4	114 15.7	106 14.6	128 17.6	3 0.4	67 9.2	30 4.1	
性別	男性	302 100.0	245 81.1	143 47.4	57 18.9	84 27.8	199 65.9	42 13.9	152 50.3	47 15.6	49 16.2	49 16.2	69 22.8	2 0.7	24 7.9	7 2.3	
	女性	417 100.0	303 72.7	138 33.1	99 23.7	157 37.6	256 61.4	59 14.1	167 40.0	35 8.4	63 15.1	56 13.4	58 13.9	1 0.2	43 10.3	20 4.8	
	回答しない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
性別・年代別	65～69歳	男性	102 100.0	83 81.4	55 53.9	14 13.7	28 27.5	74 72.5	18 17.6	55 53.9	15 14.7	18 17.6	21 20.6	0 0.0	9 8.8	2 2.0	
		女性	131 100.0	104 79.4	54 41.2	23 17.6	43 32.8	92 70.2	23 17.6	44.3	11 8.4	14 10.7	24 18.3	20 15.3	0 0.0	10 7.6	5 3.8
	70～74歳	男性	79 100.0	65 82.3	38 48.1	15 19.0	19 24.1	48 60.8	6 7.6	37 46.8	14 17.7	13 16.5	10 12.7	23 29.1	0 0.0	4 5.1	2 2.5
		女性	90 100.0	66 73.3	32 35.6	22 24.4	39 43.3	62 68.9	15 16.7	37 41.1	12 13.3	16 17.8	14 15.6	19 21.1	0 0.0	9 10.0	1 1.1
	75～79歳	男性	51 100.0	42 82.4	23 45.1	9 17.6	16 31.4	36 70.6	7 13.7	27 52.9	9 17.6	6 11.8	8 15.7	12 23.5	1 2.0	2 3.9	1 2.0
		女性	81 100.0	61 75.3	25 30.9	21 25.9	33 40.7	45 55.6	8 9.9	35 43.2	2 2.5	14 17.3	8 9.9	8 9.9	1 1.2	5 6.2	5 6.2
	80歳以上	男性	67 100.0	54 80.6	27 40.3	19 28.4	21 31.3	41 61.2	11 16.4	33 49.3	9 13.4	12 17.9	11 16.4	13 19.4	1 1.5	8 11.9	1 1.5
		女性	112 100.0	72 64.3	27 24.1	33 29.5	41 36.6	57 50.9	13 11.6	37 33.0	10 8.9	19 17.0	10 8.9	11 9.8	0 0.0	18 16.1	8 7.1

- 自治会に加入している人では、全ての項目で「知っている」割合が高い。
- 自治会に加入していない人では、3割以上が地域で行われている防犯活動を知らない。

◆表 自治会の加入状況別◆

		サンプル数	1. 登下校時の子ども見守り活動	2. 青パトによるパトロール	3. 近隣住民同士の声かけ	4. 高齢者単身や高齢者のみの世帯などの定期訪問	5. 回覧板や広報誌などによるお知らせや啓発	6. 危険箇所や不安箇所を把握するための安全安心マップの作成	7. 防犯灯の設置	8. 防犯カメラの設置	9. 小学校や教室や講座の開催	10. 少年の非行防止に関する活動（夜回りなど）	11. 暴力団追放活動（集会や啓発など）	12. その他	13. 知らない	無回答
		上段:実数、下段:%														
全体		727 100.0	552 75.9	282 38.8	160 22.0	244 33.6	457 62.9	101 13.9	321 44.2	83 11.4	114 15.7	106 14.6	128 17.6	3 0.4	67 9.2	30 4.1
自治会加入状況	加入している	646 100.0	516 79.9	266 41.2	153 23.7	232 35.9	441 68.3	96 14.9	310 48.0	76 11.8	109 16.9	103 15.9	125 19.3	3 0.5	38 5.9	23 3.6
	加入していない	42 100.0	21 50.0	11 26.2	7 3.1	9 21.4	7 16.7	4 9.5	7 16.7	2 4.8	2 4.8	2 4.8	1 2.4	0 0.0	14 33.3	2 4.8
	わからない	27 100.0	8 29.6	2 7.4	0 0.0	1 3.7	3 11.1	1 3.7	2 7.4	3 11.1	1 3.7	1 0.0	0 0.0	0 0.0	14 51.9	2 7.4



- 東部 A、東部 B、西部 A、西部 B では、「登下校時の子ども見守り活動」の割合が高い。
- 北部 A、西部 A では、「青パトによるパトロール活動」の割合が高い。
- 西部 B では、「高齢者単身や高齢者のみ世帯などの定期訪問」の割合が高い。
- 南東部、西部 B では、「回覧板や広報紙などによるお知らせや啓発」の割合が高い。
- 北部 A では、「危険箇所や不安箇所を取りまとめた安全安心マップの作成」の割合が高い。
- 東部 B、西部 B では、「防犯灯の設置」の割合が高い。
- 北部 A、西部 B では、「小学校や校区コミセンなどでの防犯教室や講座の開催」の割合が高い。
- 北部 A では、「少年の非行防止に関する活動」の割合が高い。
- 北部 A、中央東部では、「暴力団追放活動」の割合が高い。

◆ 表 居住校区别 ◆

		サンプル数	1 活動 り活動 登下校時の子ども見守り	2 活動 青パトによるパトロール	3 近隣住民同士の声かけ	4 み世帯 高齢者単身や高齢者の定期訪問	5 よる お知らせや広報紙などによる啓発	6 プ取り の作成 危険箇所や不安箇所をまとめた安全安心マップ	7 防犯灯の設置	8 防犯カメラの設置	9 開催 小学校や校区コミセンなどの防犯教室や講座	10 する活動 (夜回りなど) 少年の非行防止に関する活動	11 会や啓発 など) 暴力団追放活動(集会や啓発など)	12 その他	13 知らない	無回答
上段:実数、下段:%																
全体		727 100.0	552 75.9	282 38.8	160 22.0	244 33.6	457 62.9	101 13.9	321 44.2	83 11.4	114 15.7	106 14.6	128 17.6	3 0.4	67 9.2	30 4.1
居住校区	東部A	53 100.0	46 86.8	24 45.3	15 28.3	18 34.0	36 67.9	8 15.1	23 43.4	4 7.5	9 17.0	4 7.5	7 13.2	0 0.0	3 5.7	0 0.0
	東部B	45 100.0	39 86.7	18 40.0	10 22.2	18 40.0	25 55.6	3 6.7	25 55.6	4 8.9	2 4.4	4 8.9	4 8.9	0 0.0	4 8.9	2 4.4
	北部A	66 100.0	53 80.3	38 57.6	15 22.7	23 34.8	45 68.2	16 24.2	27 40.9	9 13.6	17 25.8	17 25.8	23 34.8	0 0.0	4 6.1	3 4.5
	北部B	43 100.0	30 69.8	10 23.3	9 20.9	9 20.9	26 60.5	3 7.0	20 46.5	5 11.6	4 9.3	5 11.6	6 14.0	0 0.0	7 16.3	2 4.7
	中央東部	78 100.0	60 76.9	34 43.6	14 17.9	28 35.9	47 60.3	11 14.1	34 43.6	11 14.1	12 15.4	14 17.9	21 26.9	2 2.6	9 11.5	3 3.8
	南東部	77 100.0	56 72.7	31 40.3	14 18.2	20 26.0	54 70.1	12 15.6	35 45.5	5 6.5	11 14.3	12 15.6	12 15.6	1 1.3	8 10.4	3 3.9
	中央部	90 100.0	59 65.6	31 34.4	18 20.0	26 28.9	51 56.7	13 14.4	30 33.3	19 21.1	10 11.1	17 18.9	16 17.8	0 0.0	12 13.3	4 4.4
	中央南部	117 100.0	84 71.8	27 23.1	21 17.9	38 32.5	73 62.4	9 7.7	50 42.7	13 11.1	23 19.7	13 11.1	15 12.8	0 0.0	10 8.5	7 6.0
	南西部	69 100.0	53 76.8	32 46.4	15 21.7	26 37.7	44 63.8	11 15.9	36 52.2	6 8.7	9 13.0	9 13.0	12 17.4	0 0.0	7 10.1	3 4.3
	西部A	28 100.0	24 85.7	15 53.6	10 35.7	10 35.7	18 64.3	4 14.3	12 42.9	2 7.1	2 7.1	4 14.3	2 7.1	0 0.0	1 3.6	0 0.0
西部B	44 100.0	38 86.4	20 45.5	13 29.5	24 54.5	32 72.7	10 22.7	26 59.1	3 6.8	13 29.5	5 11.4	8 18.2	0 0.0	4 9.1	0 0.0	

## 5 「犯罪の防止・防犯力の向上」について

### (50) 防犯活動の参加状況

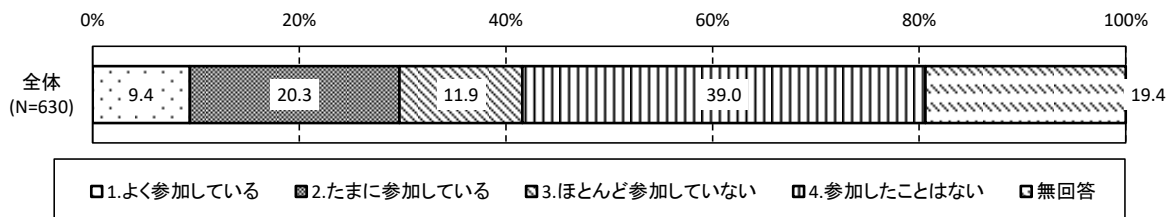
問 29 で、「13」以外と回答された方にお聞きします。「13」と回答された方は、問「30」へお進み下さい。

問 29-1. あなたは、問 29 であげた活動のいずれかに参加したことがありますか。

(○はひとつ)

防犯活動に参加したことがある人は 3 割程度

● 防犯活動の参加状況について、「参加したことはない」が 39.0%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

● 自治会に加入していない人や自治会加入がわからない人では、「参加したことはない」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	1.よく参加している	2.たまに参加している	3.ほとんど参加していない	4.参加したことはない	無回答	
上段:実数、下段:%								
全体		630 100.0	59 9.4	128 20.3	75 11.9	246 39.0	122 19.4	
性別	男性	271 100.0	32 11.8	56 20.7	41 15.1	99 36.5	43 15.9	
	女性	354 100.0	27 7.6	71 20.1	33 9.3	145 41.0	78 22.0	
	回答しない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	91 100.0	10 11.0	19 20.9	17 18.7	38 41.8	7 7.7
		女性	116 100.0	8 6.9	27 23.3	11 9.5	53 45.7	17 14.7
	70～74歳	男性	73 100.0	10 13.7	16 21.9	8 11.0	24 32.9	15 20.5
		女性	80 100.0	7 8.8	15 18.8	7 8.8	34 42.5	17 21.3
	75～79歳	男性	48 100.0	3 6.3	10 20.8	5 10.4	20 41.7	10 20.8
		女性	71 100.0	7 9.9	12 16.9	7 9.9	25 35.2	20 28.2
	80歳以上	男性	58 100.0	9 15.5	11 19.0	11 19.0	17 29.3	10 17.2
		女性	86 100.0	5 5.8	17 19.8	8 9.3	32 37.2	24 27.9

◆ 表 自治会の加入状況別 ◆

		サンプル数	1.よく参加している	2.たまに参加している	3.ほとんど参加していない	4.参加したことはない	無回答
上段:実数、下段:%							
全体		630 100.0	59 9.4	128 20.3	75 11.9	246 39.0	122 19.4
自治会加入状況	加入している	585 100.0	57 9.7	126 21.5	73 12.5	219 37.4	110 18.8
	加入していない	26 100.0	2 7.7	1 3.8	0 0.0	16 61.5	7 26.9
	わからない	11 100.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	7 63.6	3 27.3

● 中央部、南西部では、「参加したことはない」の割合が高い。

◆ 表 居住校区別 ◆

		サ ン プ ル 数	1 ・ よ く 参 加 し て い る	2 ・ た ま に 参 加 し て い る	い 3 ・ ほ と ん ど 参 加 し て い な い	4 ・ 参 加 し た こ と は な い	無 回 答
上段:実数、下段:%							
全 体		630 100.0	59 9.4	128 20.3	75 11.9	246 39.0	122 19.4
居 住 校 区	東部A	50 100.0	11 22.0	11 22.0	3 6.0	12 24.0	13 26.0
	東部B	41 100.0	6 14.6	11 26.8	2 4.9	11 26.8	11 26.8
	北部A	59 100.0	8 13.6	10 16.9	9 15.3	19 32.2	13 22.0
	北部B	34 100.0	4 11.8	8 23.5	5 14.7	11 32.4	6 17.6
	中央東部	66 100.0	2 3.0	16 24.2	11 16.7	29 43.9	8 12.1
	南東部	66 100.0	3 4.5	12 18.2	11 16.7	22 33.3	18 27.3
	中央部	74 100.0	4 5.4	12 16.2	7 9.5	40 54.1	11 14.9
	中央南部	100 100.0	9 9.0	14 14.0	8 8.0	44 44.0	25 25.0
	南西部	59 100.0	5 8.5	15 25.4	6 10.2	31 52.5	2 3.4
	西部A	27 100.0	3 11.1	7 25.9	4 14.8	8 29.6	5 18.5
	西部B	42 100.0	4 9.5	11 26.2	8 19.0	13 31.0	6 14.3

## 5 「犯罪の防止・防犯力の向上」について

### (5 1) 防犯活動に参加していない理由

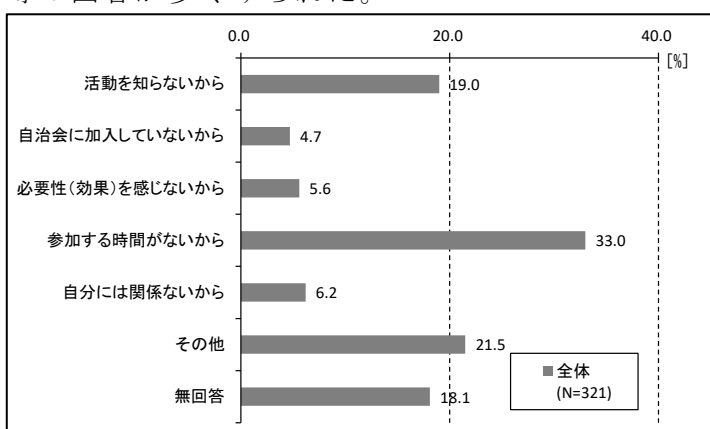
問 29-1 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「30」へお進みください。

問 29-2. あなたが問 29 であげた活動に参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

防犯活動に参加していない理由は、「参加する時間がないから」が 3 割程度

●防犯活動に参加していない理由について、「参加する時間がないから」が 33.0%で最も高い。

●その他の内訳について、「高齢者だから」「体力に不安がある」「身体的に問題がある」等の回答が多くみられた。



#### 【属性別特徴】

- 男性・80歳以上では、「活動を知らないから」の割合が高い。
- 男女・65～69歳では、「参加する時間がないから」の割合が高い。
- 東部 B、西部 A では、「参加する時間がないから」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	活動を知らないから	自治会に加入していないから	必要性(効果)を感じないから	参加する時間がないから	自分には関係ないから	その他	無回答	
上段:実数, 下段:%										
全体		321	61	15	18	106	20	69	58	
		100.0	19.0	4.7	5.6	33.0	6.2	21.5	18.1	
性別	男性	140	28	4	9	51	9	28	23	
		100.0	20.0	2.9	6.4	36.4	6.4	20.0	16.4	
	女性	178	31	10	9	54	11	41	35	
	100.0	17.4	5.6	5.1	30.3	6.2	23.0	19.7		
	回答しない	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	55	6	0	4	31	5	7	8
			100.0	10.9	0.0	7.3	56.4	9.1	12.7	14.5
		女性	64	14	3	4	29	3	9	9
		100.0	21.9	4.7	6.3	45.3	4.7	14.1	15.0	
	70～74歳	男性	32	6	2	1	12	2	6	7
			100.0	18.8	6.3	3.1	37.5	6.3	18.8	21.9
		女性	41	5	3	2	16	1	8	9
		100.0	12.2	7.3	4.9	39.0	2.4	19.5	22.0	
	75～79歳	男性	25	6	2	2	4	1	9	2
			100.0	24.0	8.0	8.0	16.0	4.0	36.0	8.0
		女性	32	6	2	1	6	3	7	7
		100.0	18.8	6.3	3.1	18.8	9.4	21.9	21.9	
80歳以上	男性	28	10	0	2	4	1	6	6	
		100.0	35.7	0.0	7.1	14.3	3.6	21.4	21.4	
	女性	40	6	2	2	3	4	17	8	
	100.0	15.0	5.0	5.0	7.5	10.0	42.5	20.0		

◆表 居住校区别◆

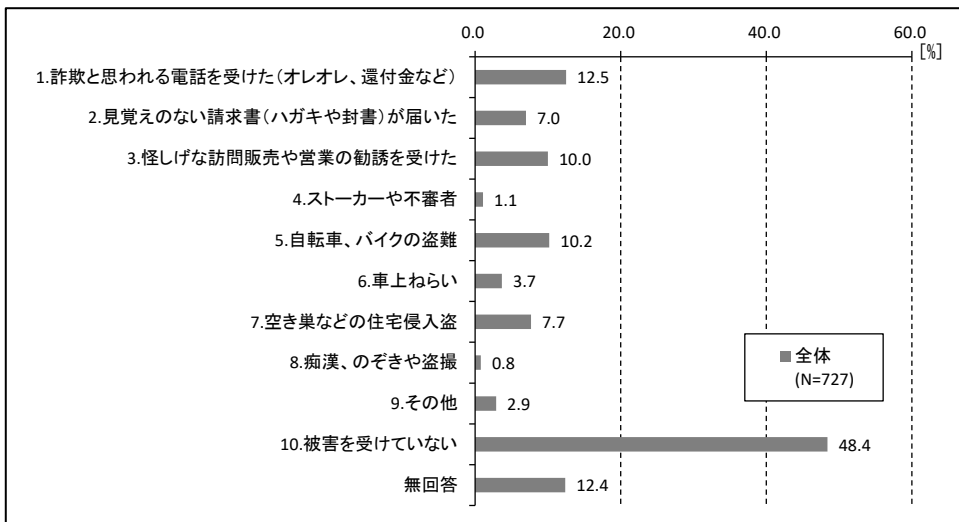
		サンプル数	活動を知らないから	自治会に加入していないから	必要性(効果)を感じないから	参加する時間がないから	自分には関係ないから	その他	無回答
上段:実数, 下段:%									
全体		321	61	15	18	106	20	69	58
		100.0	19.0	4.7	5.6	33.0	6.2	21.5	18.1
居住校区	東部A	15	3	0	1	3	0	3	5
		100.0	20.0	0.0	6.7	20.0	0.0	20.0	33.3
	東部B	13	1	1	0	7	0	0	4
		100.0	7.7	7.7	0.0	53.8	0.0	0.0	30.8
	北部A	28	9	1	2	6	3	8	3
		100.0	32.1	3.6	7.1	21.4	10.7	28.6	10.7
	北部B	16	3	1	2	4	1	4	2
		100.0	18.8	6.3	12.5	25.0	6.3	25.0	12.5
	中央東部	40	6	5	2	11	1	13	6
		100.0	15.0	12.5	5.0	27.5	2.5	32.5	15.0
	南東部	33	6	0	4	11	1	7	7
		100.0	18.2	0.0	12.1	33.3	3.0	21.2	21.2
	中央部	47	9	1	3	19	2	10	7
	100.0	19.1	2.1	6.4	40.4	4.3	21.3	14.9	
中央南部	52	11	0	2	21	2	7	11	
	100.0	21.2	0.0	3.8	40.4	3.8	13.5	21.2	
南西部	37	5	2	0	10	4	11	7	
	100.0	13.5	5.4	0.0	27.0	10.8	29.7	18.9	
西部A	12	0	1	0	6	1	2	3	
	100.0	0.0	8.3	0.0	50.0	8.3	16.7	25.0	
西部B	21	5	0	2	6	5	3	2	
	100.0	23.8	0.0	9.5	28.6	23.8	14.3	9.5	

(52) 犯罪被害等を受けた経験の有無

問 30. あなたは、これまで何らかの犯罪被害等を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

犯罪被害等を受けたことがある人が約4割

●犯罪被害等を受けた経験の有無について、「被害を受けていない」が48.4%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男性・75～79歳では、「怪しげな訪問販売や営業の勧誘を受けた」の割合が高い。
- 男性・80歳以上では、「詐欺と思われる電話を受けた」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1. 詐欺と思われる電話を受けた(オレオレ、還付金など)	2. 見覚えのない請求書(ハガキや封書)が届いた	3. 怪しげな訪問販売や営業の勧誘を受けた	4. ストーカーや不審者	5. 自転車、バイクの盗難	6. 車上ねらい	7. 空き巣などの住宅侵入盗	8. 痴漢、のぞきや盗撮	9. その他	10. 被害を受けていない	無回答	
上段:実数、下段:%														
全体		727	91	51	73	8	74	27	56	6	21	352	90	
		100.0	12.5	7.0	10.0	1.1	10.2	3.7	7.7	0.8	2.9	48.4	12.4	
性別	男性	302	39	27	40	2	30	12	30	3	11	144	24	
		100.0	12.9	8.9	13.2	0.7	9.9	4.0	9.9	1.0	3.6	47.7	7.9	
	女性	417	52	24	33	6	43	15	26	3	10	203	64	
		100.0	12.5	5.8	7.9	1.4	10.3	3.6	6.2	0.7	2.4	48.7	15.3	
	回答しない	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	12	11	13	0	9	6	6	1	3	56	4
			100.0	11.8	10.8	12.7	0.0	8.8	5.9	5.9	1.0	2.9	54.9	3.9
		女性	131	15	13	9	2	17	10		0	6	54	15
			100.0	11.5	9.9	6.9	1.5	13.0	7.6	11.5	0.0	4.6	41.2	11.5
	70～74歳	男性	79	8	4	7	0	9	2	10	0	3	34	8
			100.0	10.1	5.1	8.9	0.0	11.4	2.5	12.7	0.0	3.8	43.0	10.1
		女性	90	14	6	8	2	13	3	2	1	0	45	12
			100.0	15.6	6.7	8.9	2.2	14.4	3.3	2.2	1.1	0.0	50.0	13.3
75～79歳	男性	51	5	6	14	1	7	3	7	1	2	21	4	
		100.0	9.8	11.8	27.5	2.0	13.7	5.9	13.7	2.0	3.9	41.2	7.8	
	女性	81	9	2	5	1	10	0	6	1	1	44	12	
		100.0	11.1	2.5	6.2	1.2	12.3	0.0	7.4	1.2	1.2	54.3	14.8	
80歳以上	男性	67	13	6	6	1	5	1	7	1	3	32	7	
		100.0	19.4	9.0	9.0	1.5	7.5	1.5	10.4	1.5	4.5	47.8	10.4	
	女性	112	14	3	11	1	3	2	3	1	3	59	23	
		100.0	12.5	2.7	9.8	0.9	2.7	1.8	2.7	0.9	2.7	52.7	20.5	

## 5 「犯罪の防止・防犯力の向上」について

- 南東部では、「怪しげな訪問販売を受けた」の割合が高い。
- 中央東部では、「自転車、バイクの盗難」の割合が高い。
- 東部B、南西部、西部Bでは、「被害を受けていない」の割合が高い

◆表 居住校區別◆

上段:実数、下段:%		サンプル数	1 詐欺 を受けた (オレオレ など)	2 見覚え のない (ハガキ や封書)	3 怪しげ な訪問 販売や 営業の 勧誘を 受けた	4 スト ーカー や不審 者	5 自 転車、 バイク の盗難	6 車 上ねら い	7 盗 空 き巣 などの 住宅 侵入	8 痴 漢、 のぞ きや 盗撮	9 そ の 他	10 被 害を 受 けて い ない	無 回 答
全 体		727 100.0	91 12.5	51 7.0	73 10.0	8 1.1	74 10.2	27 3.7	56 7.7	6 0.8	21 2.9	352 48.4	90 12.4
居住 校 区	東部A	53 100.0	6 11.3	4 7.5	7 13.2	1 1.9	4 7.5	2 3.8	4 7.5	0 0.0	1 1.9	24 45.3	8 15.1
	東部B	45 100.0	3 6.7	2 4.4	2 4.4	1 2.2	1 2.2	2 4.4	1 2.2	1 2.2	0 0.0	27 60.0	9 20.0
	北部A	66 100.0	6 9.1	8 12.1	6 9.1	0 0.0	7 10.6	3 4.5	8 12.1	0 0.0	0 0.0	27 40.9	10 15.2
	北部B	43 100.0	5 11.6	2 4.7	5 11.6	0 0.0	3 7.0	5 11.6	3 7.0	1 2.3	0 0.0	23 53.5	4 9.3
	中央東部	78 100.0	14 17.9	6 7.7	10 12.8	2 2.6	12 15.4	3 3.8	6 7.7	2 2.6	5 6.4	34 43.6	8 10.3
	南東部	77 100.0	13 16.9	11 14.3	13 16.9	0 0.0	7 9.1	3 3.9	9 11.7	0 0.0	3 3.9	33 42.9	6 7.8
	中央部	90 100.0	11 12.2	7 7.8	7 7.8	1 1.1	10 11.1	2 2.2	7 7.8	0 0.0	5 5.6	41 45.6	13 14.4
	中央南部	117 100.0	16 13.7	5 4.3	10 8.5	3 2.6	14 12.0	4 3.4	11 9.4	2 1.7	4 3.4	54 46.2	15 12.8
	南西部	69 100.0	6 8.7	1 1.4	5 7.2	0 0.0	9 13.0	2 2.9	3 4.3	0 0.0	1 1.4	41 59.4	6 8.7
	西部A	28 100.0	5 17.9	3 10.7	3 10.7	0 0.0	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 46.4	4 14.3
西部B	44 100.0	5 11.4	2 4.5	4 9.1	0 0.0	4 9.1	0 0.0	4 9.1	0 0.0	2 4.5	26 59.1	2 4.5	

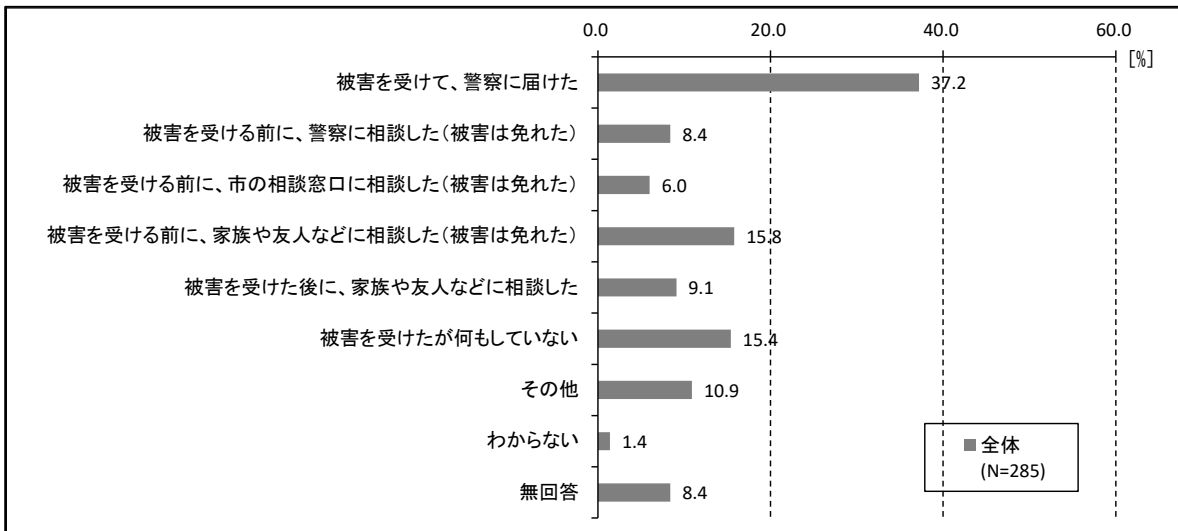
(53) 犯罪被害を受けた際の対応

問 30 で、「1」～「9」と回答した方にお聞きします。「10」と回答された方は、問「31」へお進みください。

問 30-1. あなたは、その後どうしましたか。(あてはまるものすべてに○)

犯罪被害を受けたが何もしていない人が 1.5 割

● 犯罪被害を受けた際の対応について、「被害を受けて、警察に届けた」が 37.2% で最も高い。



【属性別特徴】

- 女性・65～69歳、女性・75歳以上では、「被害を受けて警察に届けた」の割合が高い。
- 男女・75～79歳では、「被害を受ける前に、家族や友人などに相談した」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	被害を受けて、警察に届けた	被害を受ける前に、警察に相談した(被害は免れた)	被害を受ける前に、市の相談窓口で相談した(被害は免れた)	被害を受ける前に、家族や友人などに相談した(被害は免れた)	被害を受けた後に、家族や友人などに相談した	被害を受けたが何もしていない	その他	わからない	無回答	
全体		285	106	24	17	45	26	44	31	4	24	
		100.0	37.2	8.4	6.0	15.8	9.1	15.4	10.9	1.4	8.4	
性別	男性	134	42	11	8	24	11	24	18	3	10	
		100.0	31.3	8.2	6.0	17.9	8.2	17.9	13.4	2.2	7.5	
	女性	150	64	13	9	21	15	20	13	1	13	
		100.0	42.7	8.7	6.0	14.0	10.0	13.3	8.7	0.7	8.7	
	回答しない	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	42	10	3	3	7	2	15	4	1	2
			100.0	23.8	7.1	7.1	16.7	4.8	35.7	9.5	2.4	4.8
		女性	62	28	6	2	5	5	11		0	4
			100.0	45.2	9.7	3.2	8.1	8.1	17.7	11.3	0.0	6.5
	70～74歳	男性	37	13	3	1	5	5	5	4	0	5
			100.0	35.1	8.1	2.7	13.5	13.5	13.5	10.8	0.0	13.5
		女性	33	12	1	3	5	3	4	2	0	4
			100.0	36.4	3.0	9.1	15.2	9.1	12.1	6.1	0.0	12.1
	75～79歳	男性	26	7	0	2	6	2	3	4	1	1
			100.0	26.9	0.0	7.7	23.1	7.7	11.5	15.4	3.8	3.8
		女性	25	11	3	2	6	3	3	1	0	2
			100.0	44.0	12.0	8.0	24.0	12.0	12.0	4.0	0.0	8.0
80歳以上	男性	28	11	5	2	6	2	1	6	1	2	
		100.0	39.3	17.9	7.1	21.4	7.1	3.6	21.4	3.6	7.1	
	女性	30	13	3	2	5	4	2	3	1	3	
		100.0	43.3	10.0	6.7	16.7	13.3	6.7	10.0	3.3	10.0	





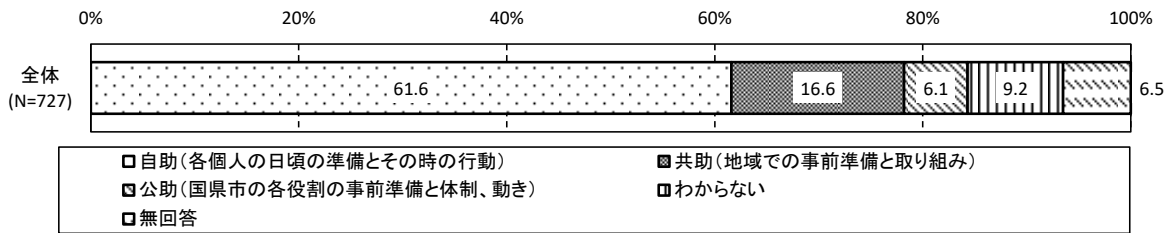
(54) 自然災害から身を守るために一番重要だと思うこと

問 31. あなたは、自然災害から身を守るために一番重要なものは何だと思いますか。

(○はひとつ)

自然災害から身を守るために一番重要だと思うことは「自助」が6割以上

●自然災害から身を守るために一番重要だと思うことについて、「自助」が61.6%で最も高い。



【属性別特徴】

- 女性・75～79歳では、「自助」の割合が高い。
- 中央東部、南西部では、「自助」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	自助(各個人の日頃の準備とその時の行動)	共助(地域での事前準備と取り組み)	公助(国県市の各役割の事前準備と体制、動き)	わからない	無回答	
上段:実数、下段:%								
全 体		727 100.0	448 61.6	121 16.6	44 6.1	67 9.2	47 6.5	
性別	男性	302 100.0	182 60.3	54 17.9	26 8.6	24 7.9	16 5.3	
	女性	417 100.0	262 62.8	66 15.8	18 4.3	43 10.3	28 6.7	
	回答しない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102 100.0	66 64.7	18 17.6	7 6.9	10 9.8	1 1.0
		女性	131 100.0	86 65.6	26 19.8	4 3.1	8 6.1	7 5.3
	70～74歳	男性	79 100.0	44 55.7	15 19.0	8 10.1	3 3.8	9 11.4
		女性	90 100.0	52 57.8	18 20.0	6 6.7	8 8.9	6 6.7
	75～79歳	男性	51 100.0	33 64.7	9 17.6	3 5.9	4 7.8	2 3.9
		女性	81 100.0	56 69.1	10 12.3	2 2.5	9 11.1	4 4.9
	80歳以上	男性	67 100.0	38 56.7	12 17.9	6 9.0	7 10.4	4 6.0
		女性	112 100.0	67 59.8	12 10.7	5 4.5	18 16.1	10 8.9

◆表 居住校區別◆

		サンプル数	自助(各個人の日頃の準備とその時の行動)	共助(地域での事前準備と取り組み)	公助(国県市の各役割の事前準備と体制、動き)	わからない	無回答
上段:実数、下段:%							
全 体		727 100.0	448 61.6	121 16.6	44 6.1	67 9.2	47 6.5
居住校 区	東部A	53 100.0	34 64.2	10 18.9	3 5.7	5 9.4	1 1.9
	東部B	45 100.0	26 57.8	10 22.2	3 6.7	3 6.7	3 6.7
	北部A	66 100.0	36 54.5	12 18.2	4 6.1	9 13.6	5 7.6
	北部B	43 100.0	19 44.2	11 25.6	4 9.3	5 11.6	4 9.3
	中央東部	78 100.0	54 69.2	10 12.8	3 3.8	7 9.0	4 5.1
	南東部	77 100.0	47 61.0	12 15.6	5 6.5	8 10.4	5 6.5
	中央部	90 100.0	61 67.8	13 14.4	4 4.4	6 6.7	6 6.7
	中央南部	117 100.0	77 65.8	18 15.4	5 4.3	11 9.4	6 5.1
	南西部	69 100.0	46 66.7	8 11.6	3 4.3	8 11.6	4 5.8
	西部A	28 100.0	14 50.0	5 17.9	3 10.7	3 10.7	3 10.7
	西部B	44 100.0	28 63.6	9 20.5	4 9.1	1 2.3	2 4.5

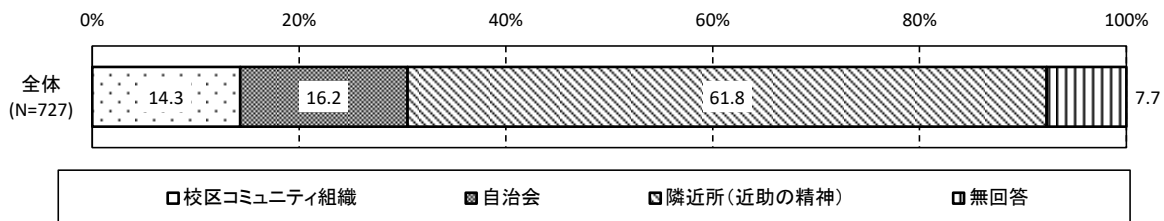
## 6 「地域防災力の向上」について

### (55) 災害が発生したときに重要な「共助」

問 32. あなたは、災害が発生したときに重要な「共助」は何だと思えますか。(○はひとつ)

災害が発生したときに重要な「共助」は「隣近所」が6割以上

●災害が発生したときに重要な「共助」について、「隣近所」が61.8%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性・70～74歳、男性・80歳以上では、「自治会」の割合が高い。
- 女性・75～79歳では、「隣近所」の割合が高い。
- 東部B、南西部では、「隣近所」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	校区コミュニティ組織	自治会	隣近所(近助の精神)	無回答	
上段:実数、下段:%							
全体		727	104	118	449	56	
		100.0	14.3	16.2	61.8	7.7	
性別	男性	302	47	65	171	19	
		100.0	15.6	21.5	56.6	6.3	
	女性	417	57	52	274	34	
		100.0	13.7	12.5	65.7	8.2	
	回答しない	1	0	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	19	21	60	2
			100.0	18.6	20.6	58.8	2.0
	70～74歳	女性	131	22	17	84	8
			100.0	16.8	13.0	64.1	6.1
	75～79歳	男性	79	14	19	37	9
			100.0	17.7	24.1	46.8	11.4
	80歳以上	女性	90	13	10	60	7
			100.0	14.4	11.1	66.7	7.8
75～79歳	男性	51	7	9	33	2	
		100.0	13.7	17.6	64.7	3.9	
80歳以上	女性	81	8	12	55	6	
		100.0	9.9	14.8	67.9	7.4	
80歳以上	男性	67	5	16	40	6	
		100.0	7.5	23.9	59.7	9.0	
80歳以上	女性	112	14	12	74	12	
		100.0	12.5	10.7	66.1	10.7	

◆表 自治会の加入状況別◆

		サンプル数	校区コミュニティ組織	自治会	隣近所(近助の精神)	無回答
上段:実数、下段:%						
全体		727	104	118	449	56
		100.0	14.3	16.2	61.8	7.7
自治会加入状況	加入している	646	89	106	407	44
		100.0	13.8	16.4	63.0	6.8
	加入していない	42	9	7	21	5
		100.0	21.4	16.7	50.0	11.9
	わからない	27	6	5	11	5
		100.0	22.2	18.5	40.7	18.5

◆表 居住校区別◆

		サンプル数	校区コミュニティ組織	自治会	隣近所(近助の精神)	無回答
上段:実数、下段:%						
全体		727	104	118	449	56
		100.0	14.3	16.2	61.8	7.7
居住校区	東部A	53	10	8	30	5
		100.0	18.9	15.1	56.6	9.4
	東部B	45	4	4	36	1
		100.0	8.9	8.9	80.0	2.2
	北部A	66	9	14	40	3
		100.0	13.6	21.2	60.6	4.5
	北部B	43	6	8	25	4
		100.0	14.0	18.6	58.1	9.3
	中央東部	78	13	12	45	8
		100.0	16.7	15.4	57.7	10.3
	南東部	77	7	15	47	8
		100.0	9.1	19.5	61.0	10.4
中央部	90	16	11	56	7	
	100.0	17.8	12.2	62.2	7.8	
中央南部	117	17	20	69	11	
	100.0	14.5	17.1	59.0	9.4	
南西部	69	8	11	47	3	
	100.0	11.6	15.9	68.1	4.3	
西部A	28	6	3	18	1	
	100.0	21.4	10.7	64.3	3.6	
西部B	44	5	9	29	1	
	100.0	11.4	20.5	65.9	2.3	

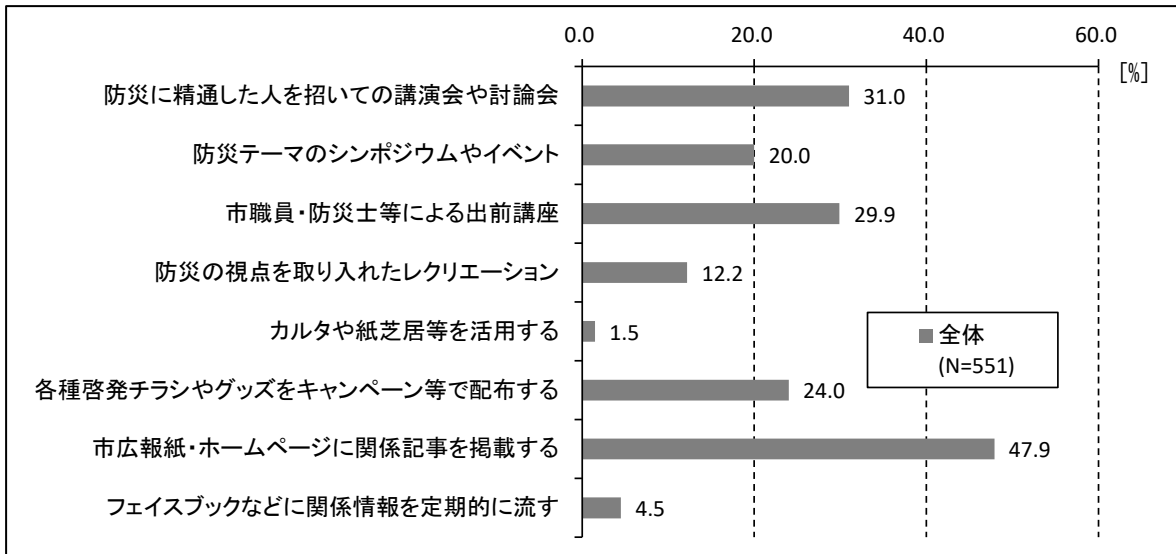
## (56) 「自助」の重要性を啓発するために有効な手段

問 33. あなたは、「自助」の重要性を啓発するためには、何が有効だと思いますか。

(あてはまるもの2つに○)

「自助」の重要性を啓発するために有効な手段は、「市広報紙・ホームページに  
関係記事を掲載する」が約半数

● 「自助」の重要性を啓発するために有効な手段について、「市広報紙・ホームページに  
関係記事を掲載する」が47.9%で最も高い。



## 6 「地域防災力の向上」について

### 【属性別特徴】

- 男性・70～74歳では、「災害に精通した人を招いての講演会や討論会」の割合が高い。
- 女性・75～79歳では、「防犯テーマのシンポジウムやイベント」の割合が高い。
- 男女・80歳以上では、「市職員・防災士等による出前講座」の割合が高い。
- 男性・75～79歳では、「各種啓発チラシやグッズをキャンペーン等で配布する」の割合が高い。
- 女性・70～74歳、男性・80歳以上では、「フェイスブックなどに関係情報を定期的に流す」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	の講演会や討論会	やイベントのシンポジウム	市職員・防災士等による出前講座	防災の視点を取り入れたレクリエーション	カルタや紙芝居等を活用する	各種啓発チラシやグッズを配布する	関係記事を掲載する	市広報紙・ホームページに	フェイスブックなどに定期的に流す	無回答
上段:実数、下段:%												
全体		551 100.0	171 31.0	110 20.0	165 29.9	67 12.2	8 1.5	132 24.0	264 47.9	25 4.5	0 0.0	
性別	男性	255 100.0	84 32.9	59 23.1	66 25.9	24 9.4	0 0.0	72 28.2	125 49.0	12 4.7	0 0.0	
	女性	292 100.0	85 29.1	51 17.5	96 32.9	43 14.7	8 2.7	59 20.2	138 47.3	13 4.5	0 0.0	
	回答しない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	94 100.0	27 28.7	27 28.7	24 25.5	9 9.6	0 0.0	30 31.9	46 48.9	4 4.3	0 0.0
		女性	102 100.0	30 29.4	19 18.6	31 30.4	15 14.7	4 3.9	25 24.5	44.1	5 4.9	0 0.0
	70～74歳	男性	63 100.0	26 41.3	13 20.6	17 27.0	9 14.3	0 0.0	12 19.0	25 39.7	2 3.2	0 0.0
		女性	64 100.0	19 29.7	10 15.6	20 31.3	12 18.8	0 0.0	12 18.8	32 50.0	4 6.3	0 0.0
	75～79歳	男性	43 100.0	15 34.9	10 23.3	5 11.6	1 2.3	0 0.0	15 34.9	25 58.1	1 2.3	0 0.0
		女性	50 100.0	18 36.0	14 28.0	17 34.0	5 10.0	0 0.0	9 18.0	23 46.0	2 4.0	0 0.0
	80歳以上	男性	52 100.0	15 28.8	7 13.5	20 38.5	4 7.7	0 0.0	15 28.8	29 55.8	5 9.6	0 0.0
		女性	76 100.0	18 23.7	8 10.5	28 36.8	11 14.5	4 5.3	13 17.1	38 50.0	2 2.6	0 0.0

- 広報紙をあまり読まない人やまったく読まない人では、「各種啓発チラシやグッズをキャンペーン等で配布する」の割合が高い。

◆表 広報紙の閲読状況別◆

		サンプル数	の講演会や討論会	やイベントのシンポジウム	市職員・防災士等による出前講座	防災の視点を取り入れたレクリエーション	カルタや紙芝居等を活用する	各種啓発チラシやグッズを配布する	関係記事を掲載する	市広報紙・ホームページに	フェイスブックなどに定期的に流す
上段:実数、下段:%											
全体		551 100.0	171 31.0	110 20.0	165 29.9	67 12.2	8 1.5	132 24.0	264 47.9	25 4.5	
広報紙の閲読状況	毎号必ず読む	332 100.0	109 32.8	70 21.1	108 32.5	42 12.7	2 0.6	70 21.1	159 47.9	10 3.0	
	ときどき読む	137 100.0	38 27.7	27 19.7	34 24.8	14 10.2	3 2.2	34 24.8	70 51.1	10 7.3	
	あまり読まない	48 100.0	16 33.3	6 12.5	13 27.1	5 10.4	1 2.1	15 31.3	21 43.8	2 4.2	
	まったく読まない	27 100.0	6 22.2	6 22.2	8 29.6	6 22.2	2 7.4	10 37.0	12 44.4	3 11.1	

- 東部 A、北部 A では、「市広報紙・ホームページに関係記事を掲載する」の割合が高い。
- 東部 B では、「防災に精通した人を招いての講演会や討論会」「市職員・防災士等による出前講座」の割合が高い。
- 中央東部、西部 B では、「防災テーマのシンポジウムやイベント」の割合が高い。
- 東部 B、中央南部では、「防災の視点を取り入れたレクリエーション」の割合が高い。

◆表 居住校区別◆

	サンプル数	防災に精通した人を招いての講演会や討論会	防災テーマのシンポジウムやイベント	市職員・防災士等による出前講座	防災の視点を取り入れたレクリエーション	カルタや紙芝居等を活用する	各種啓発チラシやグッズを配布する	市広報紙・ホームページに関係記事を掲載する	フェイスタックなどに情報を定期的に流す	
	上段:実数、下段:%									
全体	551 100.0	171 31.0	110 20.0	165 29.9	67 12.2	8 1.5	132 24.0	264 47.9	25 4.5	
居住校区	東部A	41 100.0	10 24.4	10 24.4	9 22.0	3 7.3	0 0.0	7 17.1	24 58.5	5 12.2
	東部B	34 100.0	17 50.0	5 14.7	14 41.2	7 20.6	0 0.0	7 20.6	11 32.4	0 0.0
	北部A	51 100.0	15 29.4	11 21.6	9 17.6	7 13.7	0 0.0	10 19.6	29 56.9	2 3.9
	北部B	28 100.0	10 35.7	4 14.3	9 32.1	2 7.1	1 3.6	5 17.9	13 46.4	2 7.1
	中央東部	58 100.0	25 43.1	16 27.6	19 32.8	6 10.3	1 1.7	13 22.4	27 46.6	1 1.7
	南東部	58 100.0	18 31.0	9 15.5	18 31.0	5 8.6	0 0.0	15 25.9	31 53.4	3 5.2
	中央部	68 100.0	12 17.6	14 20.6	21 30.9	7 10.3	2 2.9	20 29.4	35 51.5	1 1.5
	中央南部	87 100.0	22 25.3	18 20.7	24 27.6	18 20.7	0 0.0	26 29.9	42 48.3	1 1.1
	南西部	56 100.0	17 30.4	10 17.9	20 35.7	3 5.4	2 3.6	15 26.8	23 41.1	4 7.1
	西部A	21 100.0	6 28.6	0 0.0	7 33.3	4 19.0	2 9.5	5 23.8	9 42.9	3 14.3
	西部B	39 100.0	15 38.5	11 28.2	13 33.3	3 7.7	0 0.0	7 17.9	16 41.0	3 7.7

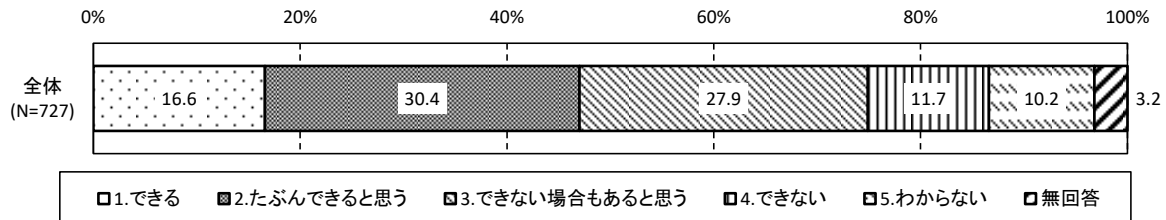
## 6 「地域防災力の向上」について

### (57) 災害が発生した場合、ひとりで避難できるか

問 34. あなたは、災害が発生したときにひとりで避難できると思いますか。(○はひとつ)

災害が発生した場合、ひとりで避難できると思う人は4割以上

●災害が発生した場合、ひとりで避難できるかについて、「たぶんできると思う」が30.4%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性・65～79歳では、「できる」の割合が高い。
- 女性・75～79歳では、「たぶんできると思う」の割合が高い。
- 女性・80歳以上では、「できない」の割合が高い。

#### ◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1. できる	2. たぶんできると思う	3. できない場合もあると思う	4. できない	5. わからない	無回答	
上段:実数、下段:%									
全体		727	121	221	203	85	74	23	
		100.0	16.6	30.4	27.9	11.7	10.2	3.2	
性別	男性	302	79	98	70	25	24	6	
		100.0	26.2	32.5	23.2	8.3	7.9	2.0	
	女性	417	41	123	132	57	48	16	
	100.0	9.8	29.5	31.7	13.7	11.5	3.8		
	回答しない	1	0	0	0	0	1	0	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	33	36	21	2	8	2
			100.0	32.4	35.3	20.6	2.0	7.8	2.0
	女性	131	20	47	37	9	16	2	
		100.0	15.3	35.9	28.2	6.9	12.2	1.5	
	70～74歳	男性	79	20	26	19	6	6	2
			100.0	25.3	32.9	24.1	7.6	7.6	2.5
	女性	90	5	26	28	14	12	5	
		100.0	5.6	28.9	31.1	15.6	13.3	5.6	
	75～79歳	男性	51	14	15	14	5	3	0
			100.0	27.5	29.4	27.5	9.8	5.9	0.0
	女性	81	5	30	27	9	8	2	
		100.0	6.2	37.0	33.3	11.1	9.9	2.5	
80歳以上	男性	67	11	21	15	12	6	2	
		100.0	16.4	31.3	22.4	17.9	9.0	3.0	
女性	112	11	19	39	25	12	6		
	100.0	9.8	17.0	34.8	22.3	10.7	5.4		

- 東部 A、西部 B では、「たぶんできると思う」の割合が高い。
- 東部 B、南東部では、「できる」の割合が高い。
- 北部 A、中央部では、「できない場合もあると思う」の割合が高い。

◆表 居住校区別◆

		サンプル数	1 ・ できる	2 ・ たぶんできると 思う	3 ・ できない場合もある と 思う	4 ・ できない	5 ・ わからない	無 回 答
上段:実数、下段:%								
全 体		727 100.0	121 16.6	221 30.4	203 27.9	85 11.7	74 10.2	23 3.2
居 住 校 区	東部A	53 100.0	7 13.2	24 45.3	15 28.3	4 7.5	3 5.7	0 0.0
	東部B	45 100.0	10 22.2	11 24.4	10 22.2	7 15.6	5 11.1	2 4.4
	北部A	66 100.0	11 16.7	16 24.2	22 33.3	8 12.1	8 12.1	1 1.5
	北部B	43 100.0	4 9.3	14 32.6	11 25.6	5 11.6	6 14.0	3 7.0
	中央東部	78 100.0	14 17.9	19 24.4	21 26.9	8 10.3	12 15.4	4 5.1
	南東部	77 100.0	17 22.1	24 31.2	19 24.7	7 9.1	9 11.7	1 1.3
	中央部	90 100.0	14 15.6	23 25.6	31 34.4	11 12.2	8 8.9	3 3.3
	中央南部	117 100.0	19 16.2	37 31.6	36 30.8	16 13.7	7 6.0	2 1.7
	南西部	69 100.0	10 14.5	23 33.3	16 23.2	9 13.0	8 11.6	3 4.3
	西部A	28 100.0	5 17.9	9 32.1	5 17.9	3 10.7	4 14.3	2 7.1
	西部B	44 100.0	9 20.5	19 43.2	11 25.0	3 6.8	2 4.5	0 0.0

## 6 「地域防災力の向上」について

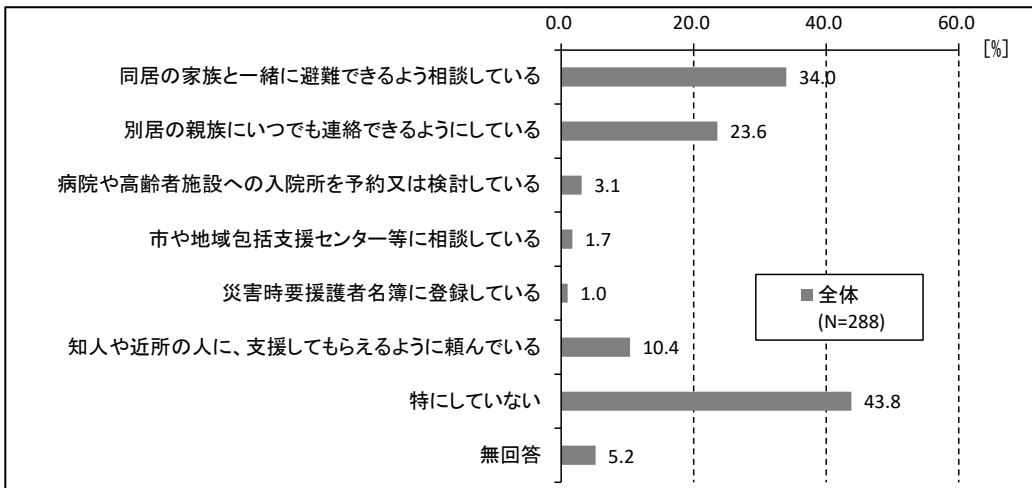
### (58) 避難するための対策の有無

問 34 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「35」へお進みください。

問 34-1. あなたは、避難するための対策をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

避難するための対策は「特にしていない」人が4割以上

● 避難するための対策の有無について、「特にしていない」が43.8%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 男性・65～69歳、女性・80歳以上では、「同居の家族と一緒に避難できるよう相談している」の割合が高い。
- 女性・75～79歳では、「別居の親族にいつでも連絡できるようにしている」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	同居の家族と一緒に避難できるようにしている	別居の親族にいつでも連絡できるようにしている	病院や高齢者施設への入院所を予約又は検討している	市や地域包括支援センター等に相談している	災害時要援護者名簿に登録している	知人や近所の人に、支援してもらえるように頼んでいる	特にしていない	無回答	
上段:実数、下段:%											
全体		288 100.0	98 34.0	68 23.6	9 3.1	5 1.7	3 1.0	30 10.4	126 43.8	15 5.2	
性別	男性	95 100.0	34 35.8	19 20.0	5 5.3	2 2.1	1 1.1	10 10.5	43 45.3	5 5.3	
	女性	189 100.0	64 33.9	46 24.3	4 2.1	3 1.6	2 1.1	17 9.0	82 43.4	10 5.3	
	回答しない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	23 100.0	12 52.2	6 26.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.3	12 52.2	0 0.0
		女性	46 100.0	16 34.8	11 23.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	54 54.3	2 4.3
	70～74歳	男性	25 100.0	8 32.0	3 12.0	1 4.0	1 4.0	0 0.0	1 4.0	13 52.0	2 8.0
		女性	42 100.0	14 33.3	9 21.4	1 2.4	2 4.8	1 2.4	5 11.9	18 42.9	3 7.1
	75～79歳	男性	19 100.0	7 36.8	4 21.1	1 5.3	1 5.3	0 0.0	1 5.3	9 47.4	1 5.3
		女性	36 100.0	13 36.1	11 30.6	1 2.8	0 0.0	1 2.8	3 8.3	13 36.1	2 5.6
	80歳以上	男性	27 100.0	7 25.9	6 22.2	3 11.1	0 0.0	1 3.7	7 25.9	8 29.6	2 7.4
		女性	64 100.0	21 32.8	14 21.9	2 3.1	1 1.6	0 0.0	9 14.1	26 40.6	3 4.7



●世帯の中に小学生がいる人、世帯の中に1～3以外の18歳未満の子どもがいる人、世帯の中に65歳以上の人がいる人では、「同居の家族と一緒に避難できるよう相談している」の割合が高い。

◆表 同居している家族別◆

		サンプル数	同居の家族と一緒に避難できるよう相談している	別居の親族にいつでも連絡できるようにしている	病院や高齢者施設への入所を予約又は検討している	市や地域包括支援センター等に相談している	災害時要援護者名簿に登録している	知人や近所の人に頼んで支援してもらう	特にしていない	無回答
上段:実数、下段:%										
全体		288 100.0	98 34.0	68 23.6	9 3.1	5 1.7	3 1.0	30 10.4	126 43.8	15 5.2
同居している家族	世帯の中に就学前の子どもがいる	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0
	世帯の中に小学生がいる	9 100.0	5 55.6	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 44.4	0 0.0
	世帯の中に中学生がいる	7 100.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 85.7	0 0.0
	世帯の中に1～3以外の18歳未満の子どもがいる	9 100.0	5 55.6	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 44.4	0 0.0
	世帯の中に65歳以上の人	121 100.0	64 52.9	32 26.4	4 3.3	2 1.7	1 0.8	11 9.1	43 35.5	5 4.1
	世帯の中に障害者手帳を持っている人がいる	45 100.0	17 37.8	7 15.6	3 6.7	1 2.2	0 0.0	2 4.4	18 40.0	3 6.7
	世帯に上記1～6にあてはまる人はいない	72 100.0	18 25.0	12 16.7	2 2.8	2 2.8	2 2.8	10 13.9	30 41.7	5 6.9

●北部 B、西部 A では、「同居の家族と一緒に避難できるように相談している」の割合が高い。

●中央東部では、「別居の親族にいつでも連絡できるようにしている」の割合が高い。

●東部 B、南東部では、「特にしていない」の割合が高い。

◆表 居住校区別◆

		サンプル数	同居の家族と一緒に避難できるよう相談している	別居の親族にいつでも連絡できるようにしている	病院や高齢者施設への入所を予約又は検討している	市や地域包括支援センター等に相談している	災害時要援護者名簿に登録している	知人や近所の人に頼んで支援してもらう	特にしていない	無回答
上段:実数、下段:%										
全体		288 100.0	98 34.0	68 23.6	9 3.1	5 1.7	3 1.0	30 10.4	126 43.8	15 5.2
居住校区	東部A	19 100.0	6 31.6	3 15.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 21.1	6 31.6	2 10.5
	東部B	17 100.0	3 17.6	4 23.5	0 0.0	0 0.0	1 5.9	3 17.6	9 52.9	1 5.9
	北部A	30 100.0	13 43.3	2 6.7	2 6.7	1 3.3	1 3.3	1 3.3	15 50.0	1 3.3
	北部B	16 100.0	11 68.8	5 31.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.3	2 12.5	1 6.3
	中央東部	29 100.0	12 41.4	12 41.4	2 6.9	1 3.4	0 0.0	4 13.8	10 34.5	1 3.4
	南東部	26 100.0	6 23.1	2 7.7	1 3.8	1 3.8	0 0.0	1 3.8	17 65.4	2 7.7
	中央部	42 100.0	11 26.2	11 26.2	0 0.0	1 2.4	0 0.0	4 9.5	21 50.0	2 4.8
	中央南部	52 100.0	15 28.8	15 28.8	1 1.9	1 1.9	1 1.9	3 5.8	20 38.5	4 7.7
	南西部	25 100.0	12 48.0	8 32.0	2 8.0	0 0.0	0 0.0	2 8.0	10 40.0	0 0.0
	西部A	8 100.0	5 62.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0
	西部B	14 100.0	4 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 28.6	7 50.0	1 7.1

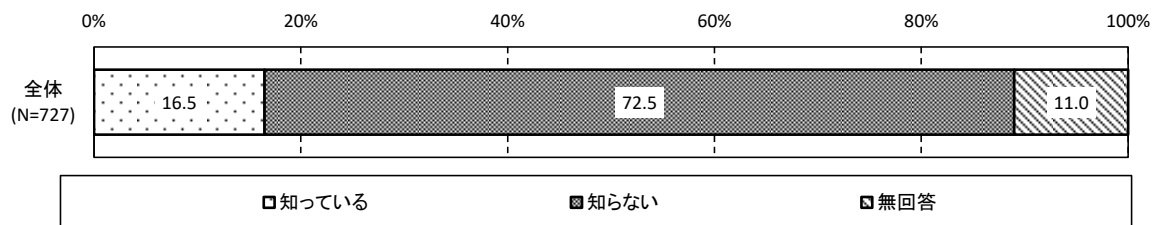
## 6 「地域防災力の向上」について

### (59) 「災害時要援護者名簿」の認知度

問 35. あなたは、「災害時要援護者名簿」について知っていますか。(○はひとつ)

「災害時要援護者名簿」を知っている人は2割弱

- 「災害時要援護者名簿」の認知度について、「知らない」が72.5%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 女性・70～79歳では、他と比べ「知っている」の割合が高い。
- 男性・75～79歳では、他と比べ「知らない」の割合が高い。
- 広報紙を読む人は読まない人と比べ認知度が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	知っている	知らない	無回答	
上段:実数、下段:%						
全 体		727	120	527	80	
		100.0	16.5	72.5	11.0	
性別	男性	302	43	236	23	
		100.0	14.2	78.1	7.6	
	女性	417	76	289	52	
		100.0	18.2	69.3	12.5	
	回答しない	1	0	0	1	
		100.0	0.0	0.0	100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102	16	79	7
			100.0	15.7	77.5	6.9
	女性	131	27	96	8	
		100.0	20.6	73.3	6.1	
	70～74歳	男性	79	9	61	9
		100.0	11.4	77.2	11.4	
	女性	90	21	60	9	
		100.0	23.3	66.7	10.0	
75～79歳	男性	51	6	44	1	
	100.0	11.8	86.3	2.0		
女性	81	19	51	11		
	100.0	23.5	63.0	13.6		
80歳以上	男性	67	11	51	5	
	100.0	16.4	76.1	7.5		
	女性	112	9	80	23	
		100.0	8.0	71.4	20.5	

◆表 広報紙の閲読状況別◆

		サンプル数	知っている	知らない	無回答
上段:実数、下段:%					
全 体		727	120	527	80
		100.0	16.5	72.5	11.0
広報紙の 閲読状 況	毎号必ず読む	407	86	286	35
		100.0	21.1	70.3	8.6
	ときどき読む	188	24	138	26
		100.0	12.8	73.4	13.8
	あまり読まない	72	9	55	8
		100.0	12.5	76.4	11.1
	まったく読まない	43	0	37	6
		100.0	0.0	86.0	14.0

- 東部 A、東部 B、西部 B では、他の地区と比べ「知っている」の割合が高い。
- 中央東部、南西部では、他の地区と比べ「知らない」の割合が高い。

◆表 居住校區別◆

		サ ン プ ル 数	知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
上段:実数、下段:%					
全 体		727 100.0	120 16.5	527 72.5	80 11.0
居 住 校 区	東部A	53 100.0	14 26.4	35 66.0	4 7.5
	東部B	45 100.0	11 24.4	27 60.0	7 15.6
	北部A	66 100.0	9 13.6	48 72.7	9 13.6
	北部B	43 100.0	9 20.9	29 67.4	5 11.6
	中央東部	78 100.0	6 7.7	63 80.8	9 11.5
	南東部	77 100.0	12 15.6	56 72.7	9 11.7
	中央部	90 100.0	11 12.2	71 78.9	8 8.9
	中央南部	117 100.0	24 20.5	80 68.4	13 11.1
	南西部	69 100.0	7 10.1	57 82.6	5 7.2
	西部A	28 100.0	3 10.7	22 78.6	3 10.7
	西部B	44 100.0	12 27.3	30 68.2	2 4.5

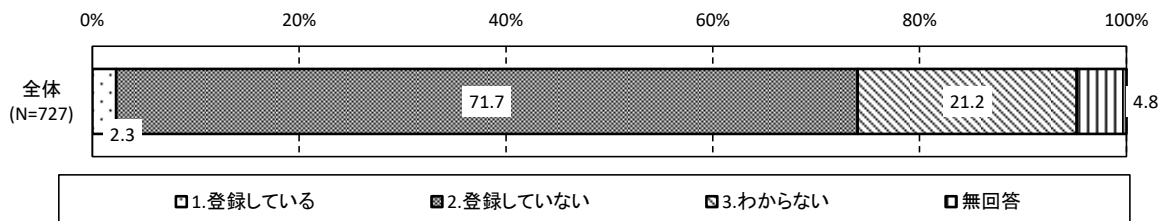
## 6 「地域防災力の向上」について

### (60) 「災害時要援護者名簿」への登録の有無

問 36. あなたは、「災害時要援護者名簿」に登録していますか。(○はひとつ)

「災害時要援護者名簿」に登録している人は1割未満

● 「災害時要援護者名簿」の登録の有無について、「登録していない」が71.7%で最も高い。



#### 【属性別特徴】

- 女性・65～69歳、男性・75～79歳では、他と比べ「登録していない」の割合が高い。
- 世帯の中に小学生以上がいる人、世帯の中に中学生以上がいる人、自治会に加入していない人では、他と比べ「登録していない」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	1・登録している	2・登録していない	3・わからない	無回答	
上段:実数、下段:%							
全 体		727 100.0	17 2.3	521 71.7	154 21.2	35 4.8	
性別	男性	302 100.0	7 2.3	220 72.8	63 20.9	12 4.0	
	女性	417 100.0	10 2.4	297 71.2	89 21.3	21 5.0	
	回答しない	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	102 100.0	1 1.0	79 77.5	20 19.6	2 2.0
		女性	131 100.0	1 0.8	106 80.9	20 15.3	4 3.1
	70～74歳	男性	79 100.0	0 0.0	55 69.6	18 22.8	6 7.6
		女性	90 100.0	2 2.2	66 73.3	20 22.2	2 2.2
	75～79歳	男性	51 100.0	3 5.9	42 82.4	5 9.8	1 2.0
		女性	81 100.0	4 4.9	63 77.8	12 14.8	2 2.5
	80歳以上	男性	67 100.0	3 4.5	43 64.2	19 28.4	2 3.0
		女性	112 100.0	3 2.7	61 54.5	36 32.1	12 10.7

◆表 同居している家族別◆

		サンプル数	1・登録している	2・登録していない	3・わからない	無回答
上段:実数、下段:%						
全 体		727 100.0	17 2.3	521 71.7	154 21.2	35 4.8
同居している家族	世帯の中に就学前の子ど もがいる	10 100.0	0 0.0	7 70.0	3 30.0	0 0.0
	世帯の中に小学生がいる	22 100.0	0 0.0	22 100.0	0 0.0	0 0.0
	世帯の中に中学生がいる	20 100.0	0 0.0	16 80.0	4 20.0	0 0.0
	世帯の中に1～3以外の1 8歳未満の子どがいる	21 100.0	0 0.0	16 76.2	5 23.8	0 0.0
	世帯の中に65歳以上の人 がいる	346 100.0	8 2.3	268 77.5	57 16.5	13 3.8
	世帯の中に障害者手帳を 持っている人がいる	93 100.0	2 2.2	65 69.9	22 23.7	4 4.3
	世帯に上記1～6にあては まる人はいない	186 100.0	4 2.2	129 69.4	47 25.3	6 3.2

◆表 自治会の加入状況別◆

		サンプル数	1・登録している	2・登録していない	3・わからない	無回答
上段:実数、下段:%						
全 体		727 100.0	17 2.3	521 71.7	154 21.2	35 4.8
自治会 状況の 加	加入している	646 100.0	15 2.3	463 71.7	137 21.2	31 4.8
	加入していない	42 100.0	0 0.0	33 78.6	7 16.7	2 4.8
	わからない	27 100.0	1 3.7	16 59.3	9 33.3	1 3.7

(61) 「災害時要援護者名簿」に登録していない理由

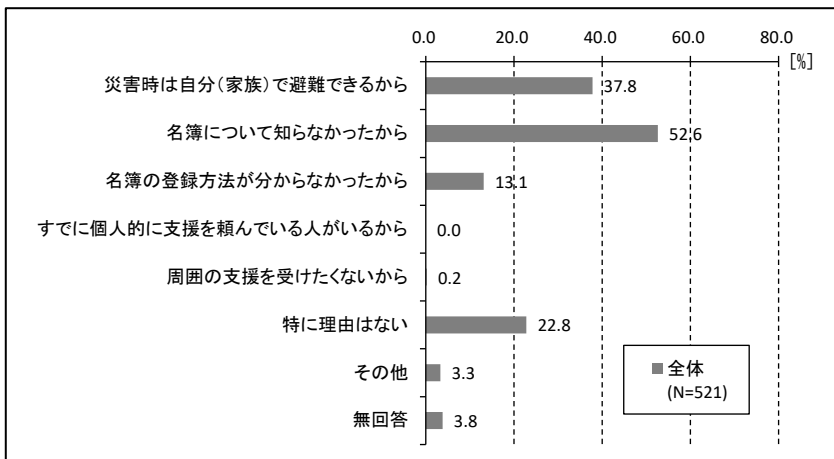
問 36 で、「2」と回答された方にお聞きします。「3」と回答された方は、「問」36-2 へ、「1」と回答された方は、調査終了です。

問 36-1. あなたが、「災害時要援護者名簿」に登録していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

「災害時要援護者名簿」に登録していない理由は、「名簿について知らなかったから」が半数以上

● 「災害時要援護者名簿」に登録していない理由について、「名簿について知らなかったから」が 52.6% で最も高い。



【属性別特徴】

- 男性・65～69 歳では、「災害時は自分（家族）で避難できるから」の割合が高い。
- 男性・75～79 歳、女性・80 歳以上では、他と比べ「名簿について知らなかったから」の割合が高い。

◆ 表 性別・年代別 ◆

		サンプル数	災害時は自分(家族)で避難できるから	名簿について知らなかったから	名簿の登録方法が分からなかったから	すでに個人的に支援を頼んでいる人がいるから	周囲の支援を受けたくないから	特に理由はない	その他	無回答	
上段:実数、下段:%											
全 体		521 100.0	197 37.8	274 52.6	68 13.1	0 0.0	1 0.2	119 22.8	17 3.3	20 3.8	
性別	男性	220 100.0	102 46.4	123 55.9	33 15.0	0 0.0	0 0.0	50 22.7	7 3.2	3 1.4	
	女性	297 100.0	95 32.0	149 50.2	33 11.1	0 0.0	1 0.3	69 23.2	10 3.4	17 5.7	
	回答しない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	79 100.0	46 58.2	41 51.9	12 15.2	0 0.0	0 0.0	17 21.5	0 0.0	0 0.0
		女性	106 100.0	43 40.6	50 47.2	10 9.4	0 0.0	0 0.0	22 20.8	4 4.7	3 3.8
	70～74歳	男性	55 100.0	25 45.5	32 58.2	7 12.7	0 0.0	0 0.0	13 23.6	2 3.6	1 1.8
		女性	66 100.0	22 33.3	31 47.0	9 13.6	0 0.0	0 0.0	15 22.7	1 1.5	2 3.0
	75～79歳	男性	42 100.0	13 31.0	27 64.3	8 19.0	0 0.0	0 0.0	11 26.2	2 4.8	0 0.0
		女性	63 100.0	18 28.6	29 46.0	6 9.5	0 0.0	1 1.6	17 27.0	3 4.8	8 12.7
	80歳以上	男性	43 100.0	18 41.9	23 53.5	6 14.0	0 0.0	0 0.0	8 18.6	3 7.0	2 4.7
		女性	61 100.0	12 19.7	38 62.3	8 13.1	0 0.0	0 0.0	15 24.6	1 1.6	3 4.9

## 6 「地域防災力の向上」について

- 東部 A、北部 B、南西部、西部 A では、他の地区と比べ「災害時は自分（家族）で避難できるから」の割合が高い。
- 北部 A、北部 B では、他の地区と比べ「名簿について知らなかったから」の割合が高い。

◆表 居住校区別◆

	サンプル数	災害時は自分（家族）で避難できるから	名簿について知らなかったから	名簿の登録方法が分からなかったから	すでに個人的に支援を頼んでいる人がいるから	周囲の支援を受けたくないから	特に理由はない	その他	無回答
上段：実数、下段：%									
全体	521 100.0	197 37.8	274 52.6	68 13.1	0 0.0	1 0.2	119 22.8	17 3.3	20 3.8
居住校区	東部A	33 100.0	19 57.6	16 48.5	4 12.1	0 0.0	7 21.2	0 0.0	1 3.0
	東部B	29 100.0	13 44.8	13 44.8	4 13.8	0 0.0	2 6.9	1 3.4	2 6.9
	北部A	52 100.0	13 25.0	30 57.7	7 13.5	0 0.0	0 0.0	14 26.9	3 5.8
	北部B	27 100.0	14 51.9	16 59.3	3 11.1	0 0.0	0 0.0	4 14.8	1 3.7
	中央東部	58 100.0	21 36.2	33 56.9	10 17.2	0 0.0	0 0.0	16 27.6	3 5.2
	南東部	60 100.0	21 35.0	29 48.3	7 11.7	0 0.0	0 0.0	18 30.0	1 1.7
	中央部	67 100.0	26 38.8	34 50.7	7 10.4	0 0.0	0 0.0	17 25.4	2 3.0
	中央南部	83 100.0	21 25.3	41 49.4	13 15.7	0 0.0	0 0.0	21 25.3	5 6.0
	南西部	50 100.0	24 48.0	32 64.0	6 12.0	0 0.0	1 2.0	7 14.0	0 0.0
	西部A	17 100.0	8 47.1	9 52.9	2 11.8	0 0.0	0 0.0	5 29.4	0 0.0
	西部B	35 100.0	16 45.7	16 45.7	3 8.6	0 0.0	0 0.0	7 20.0	0 0.0

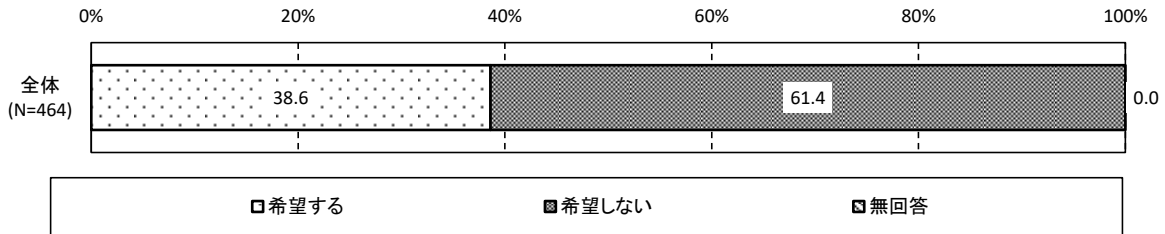
(62) 「災害時要援護者名簿」への登録の希望

問 36 で、「2」又は「3」と回答された方にお聞きします。

問 36-2. あなたは、「災害時要援護者名簿」への登録を希望しますか。(○はひとつ)

「災害時要援護者名簿」への登録を希望する人は 4 割未満

● 「災害時要援護者名簿」への登録の希望について、「希望しない」が 61.4%で最も高い。



【属性別特徴】

- 男女・65～69歳は、他と比べ「希望しない」の割合が高い。
- 女性・80歳以上、男性・75～79歳では、他と比べ「希望する」の割合が高い。

◆表 性別・年代別◆

		サンプル数	希望する	希望しない	無回答	
上段:実数、下段:%						
全 体		464 100.0	179 38.6	285 61.4	0 0.0	
性別	男性	206 100.0	72 35.0	134 65.0	0 0.0	
	女性	255 100.0	106 41.6	149 58.4	0 0.0	
	回答しない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
性別・年代別	65～69歳	男性	69 100.0	15 21.7	54 78.3	0 0.0
		女性	79 100.0	19 24.1	60 75.9	0 0.0
	70～74歳	男性	49 100.0	17 34.7	32 65.3	0 0.0
		女性	51 100.0	23 45.1	28 54.9	0 0.0
	75～79歳	男性	36 100.0	18 50.0	18 50.0	0 0.0
		女性	49 100.0	23 46.9	26 53.1	0 0.0
	80歳以上	男性	51 100.0	22 43.1	29 56.9	0 0.0
		女性	75 100.0	40 53.3	35 46.7	0 0.0

◆表 自治会の加入状況別◆

		サンプル数	希望する	希望しない
上段:実数、下段:%				
全 体		464 100.0	179 38.6	285 61.4
自治会 加入 状況 の 加	加入している	411 100.0	158 38.4	253 61.6
	加入していない	29 100.0	11 37.9	18 62.1
	わからない	18 100.0	8 44.4	10 55.6

## 6 「地域防災力の向上」について

- 東部 B、中央東部、南東部、中央部では、他の地区と比べ「希望する」の割合が高い。
- 北部 A、北部 B、南西部、西部 A、西部 B では、他の地区と比べ「希望しない」の割合が高い。

◆ 表 居住校區別 ◆

		サ ン プ ル 数	希 望 す る	希 望 し な い
上段:実数、下段:%				
全 体		464 100.0	179 38.6	285 61.4
居 住 校 区	東部A	31 100.0	11 35.5	20 64.5
	東部B	23 100.0	11 47.8	12 52.2
	北部A	41 100.0	13 31.7	28 68.3
	北部B	29 100.0	7 24.1	22 75.9
	中央東部	54 100.0	27 50.0	27 50.0
	南東部	48 100.0	23 47.9	25 52.1
	中央部	54 100.0	25 46.3	29 53.7
	中央南部	80 100.0	29 36.3	51 63.8
	南西部	49 100.0	15 30.6	34 69.4
	西部A	19 100.0	6 31.6	13 68.4
	西部B	28 100.0	9 32.1	19 67.9



## 久留米市のセーフコミュニティに関する実態調査

〈高齢者（65歳以上）〉

### ご協力のお願い

日頃より、久留米市政にご理解とご協力を頂きありがとうございます。  
市では、WHO（世界保健機関）が推奨する「セーフコミュニティ」活動に取り組んでおります。

この「セーフコミュニティ」は、市民の皆さまや関係団体と協働で事故やケガの予防などに取り組むことにより、「安全に安心して暮らせるまちづくり」を目指すものです。

本調査は、セーフコミュニティの取り組みを推進するにあたり、その基礎資料とするため、市民の皆さまの事故やケガの状況やセーフコミュニティの重点取り組みなどについてお聞きするものです。

なお、平成29年7月28日現在で、市内にお住まいの方の3,500名を無作為に抽出し、調査票を送付させていただいております。

ご多忙中、誠に恐縮ですが、調査趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

※この調査結果は統計的に処理する以外の目的では一切利用いたしません。

平成29年8月

久留米市長 檜原 利則

矢印で折り返して返信してください

矢印で折り返して返信してください

### ●調査票の記入について

1. 回答は、**調査対象者ご本人(封筒のあて名の人)**がご回答ください。  
ただし、ご自身での回答が難しい場合は、ご家族の方が聞き取りいただくなど代理での回答をお願いいたします。
2. 回答は、特別の注意書きがない限り、回答欄中のあてはまる番号を○で囲ってください。
3. 調査票の回収については、お手数ですが**8月31日(木)まで**に、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函いただきますようお願いいたします。
4. 本調査に関してご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記の連絡先まで、ご連絡下さい。

問い合わせ・連絡先：久留米市 協働推進部 安全安心推進課  
電話0942-30-9094 FAX0942-30-9706



セーフコミュニティ国際認証都市  
久留米市

以下の質問は、調査結果を統計的に整理するために必要なものです。

ご記入に、ご協力をお願いいたします。

**F 1** あなたの性別は。

1. 男性                      2. 女性                      3. 回答しない

**F 2** あなたの年齢は。(平成29年8月1日現在)

(                      ) 歳

**F 3** あなたの家(同居している方のみ)の家族構成は。

1. 単身                      2. 夫婦のみ                      3. 親・子(2世代)  
4. 親・子・孫(3世代)                      5. その他(                      )

**F 4** あなたが同居している家族について、該当するものを選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 世帯の中に就学前の子どもがいる  
2. 世帯の中に小学生がいる  
3. 世帯の中に中学生がいる  
4. 世帯の中に1～3以外の18歳未満の子どもがいる  
5. 世帯の中に65歳以上の人がいる  
6. 世帯の中に障害者手帳を持っている人がある  
7. 世帯に上記1～6にあてはまる人はいない

**F 5** あなたのお住まいの住居形態は。

1. 持ち家(一戸建て)  
2. 持ち家(集合住宅・分譲マンション)  
3. 借家住宅(一戸建て)  
4. 賃貸住宅(アパート、マンション)  
5. 勤務先給与住宅(公務員住宅・社宅・寮など)  
6. 間借り、その他(                      )

**F 6** あなたの世帯は、自治会(町内会)に加入していますか。

1. 加入している  
2. 加入していない  
3. わからない

**F7** あなたは、ふだん「広報くるめ」をどれくらい読んでいますか。

1. 毎号必ず読む
2. ときどき読む
3. あまり読まない
4. まったく読まない

**F8** あなたのお住まいの校区（小学校区）は。（○はひとつ）

- |        |         |        |        |           |         |
|--------|---------|--------|--------|-----------|---------|
| 1. 西国分 | 2. 荘島   | 3. 日吉  | 4. 篠山  | 5. 京町     | 6. 南薫   |
| 7. 烏飼  | 8. 長門石  | 9. 小森野 | 10. 金丸 | 11. 東国分   | 12. 御井  |
| 13. 南  | 14. 合川  | 15. 山川 | 16. 上津 | 17. 高良内   | 18. 宮ノ陣 |
| 19. 山本 | 20. 草野  | 21. 安武 | 22. 荒木 | 23. 大善寺   | 24. 善導寺 |
| 25. 大橋 | 26. 青峰  | 27. 津福 | 28. 船越 | 29. 水縄    | 30. 田主丸 |
| 31. 水分 | 32. 竹野  | 33. 川会 | 34. 柴刈 | 35. 弓削    | 36. 北野  |
| 37. 大城 | 38. 金島  | 39. 城島 | 40. 下田 | 41. 江上    | 42. 青木  |
| 43. 浮島 | 44. 西傘田 | 45. 犬塚 | 46. 三瀧 | 47. わからない |         |

## 1「主なケガ」について

問1. あなたは、過去1年間(平成28年8月以降)にケガをされましたか。(○はひとつ)  
(ケガとは、骨折、捻挫、打撲、切り傷などで、病院にかからないようなものも対象とします。)

1. ケガをした                      2. ケガはしてない

問1で、「1」と回答された方にお聞きます。「2」と回答された方は、問2へお進み下さい。

※複数の経験があれば、最も重症だったものを選んでください。

問1-1. ケガの原因は何でしたか。(○はひとつ)

1. 交通事故                      2. 転倒                      3. 転落  
4. 接触・衝突                      5. はさまれた                      6. モノの落下  
7. 熱い物に触れた                      8. 鋭利なものへの接触  
9. 虫などにさされた・蛇などにかまれた                      10. 犬などにかまれた  
11. 暴行                      12. 異物を飲んだ                      13. 重い物を持った  
14. その他 (                      )

問1-2. ケガをした時は何をしていましたか。(○はひとつ)

1. 通勤を含む仕事                      2. 通学を含む教育活動                      3. 食事  
4. 買い物を含む家事                      5. 運動・スポーツ                      6. 散歩  
7. 入浴                      8. 趣味・遊びなどを含む余暇活動  
9. ボランティアなどの奉仕活動  
10. その他 (                      )

問1-3. ケガをした場所はどこでしたか。(○はひとつ)

1. 自宅(居間)                      2. 自宅(寝室)  
3. 自宅(風呂)                      4. 自宅(階段)  
5. 自宅(玄関)                      6. 自宅(台所)  
7. 自宅の庭                      8. 自宅(1～7以外)  
9. 学校                      10. 勤務先  
11. 仕事先の現場                      12. 農地・林地  
13. 公園                      14. 駅・バス停  
15. 商業・飲食・娯楽施設                      16. スポーツ施設  
17. 道路・歩道  
18. その他 (                      )

---

---

**問 1-4. ケガをした状況・きっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)**

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 段差や物でつまづいた | 2. 濡れた場所で滑った |
| 3. バランスを崩した   | 4. あわてた      |
| 5. 酔っ払った      | 6. ぶつかった     |
| 7. よそ見・わき見をした | 8. 考え事をしていた  |
| 9. 操作を誤った     | 10. 飛び出した    |
| 11. 身を乗り出した   |              |
| 12. その他 (     | )            |

**問 1-5. ケガをした部位 (からだの場所) はどこですか。(○はひとつ)**

※一番ひどく、傷の深かった部位や骨折、出血した部位を選んでください。

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| 1. あたま (顔、口、鼻、耳、口内等) | 2. 首  |
| 3. うで (手、手首、ひじ等)     | 4. 肩  |
| 5. 胸部                | 6. 背中 |
| 7. 腹部                | 8. 腰部 |
| 9. あし (足、足首、ひざ等)     |       |
| 10. その他 (            | )     |

**問 1-6. どのようなケガでしたか。(○はひとつ)**

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 脳挫傷・脳しんとう | 2. 骨折        |
| 3. ヤケド       | 4. 脱臼        |
| 5. 捻挫        | 6. 打撲        |
| 7. 刺し傷・切り傷   | 8. すり傷・ひっかき傷 |
| 9. 中毒・誤飲     |              |
| 10. その他 (    | )            |

## 2 「交通事故の防止」と「自転車事故の防止」について

問2. あなたは、普段、自動車やバイク（原付を含む）を運転しますか。（○はひとつ）

1. ほぼ毎日運転する
2. ときどき運転する
3. ほとんど運転しない
4. 運転免許は持っているが、全く運転しない
5. 運転免許は持っていない（すでに自主返納した：返納時の年齢 歳）
6. 運転免許は持っていない（すでに有効期限が切れている）
6. 運転免許は持っていない（運転免許を取ったことがない）

問3. あなたは、普段、自転車に乗りますか。（○はひとつ）

1. ほぼ毎日乗る
2. ときどき乗る
3. ほとんど乗らない
4. 全く乗らない

問3で、「1」～「3」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「4」へお進みください。

問3-1. あなたは、自転車運転中の加害事故に関する賠償責任に備えて、自転車保険等に加入していますか。（○はひとつ）

1. 加入している（自動車保険の付帯として）
2. 加入している（自転車保険）
3. 加入していない

問4. あなたは、過去1年間（平成28年8月以降）に、交通事故（自損・単独事故を含む）にあった又はあいそうになったことがありますか。また、その時の状況について、該当するものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）

	事故にあった （被害者）	事故にあいそ うになった	事故をおこし た（加害者）	事故をおこし そうになった	いずれもなか った
(A) 自動車の運転中	1	2	3	4	5
(B) バイクの運転中	1	2	3	4	5
(C) 自転車の運転中	1	2	3	4	5
(D) 歩行中	1	2	3	4	5



問 8. あなたは、シートベルトやチャイルドシートの着用について、普段どのようなことをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自動車運転中は、必ずシートベルトを着用する
2. 助手席に乗るときは、必ずシートベルトを着用する
3. 後部座席に乗るときは、必ずシートベルトを着用する
4. 同乗者（後部座席含む）に、常にシートベルトを着用させる
5. 6歳未満の子どもが同乗するとき、常にチャイルドシートを着用させる

問 9. あなたは、自動車運転や歩行について、若い頃と比べて変わったと感ずることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 夜間見えにくくなった
2. とっさの動作や複雑な動作ができにくくなった
3. 信号機や標識を見落としやすくなった
4. ハンドルやブレーキの操作がスムーズにできにくくなった
5. 道路を横断するのに時間がかかるようになった（歩く速度が遅くなった）
6. その他（ ）
7. 以前と変わらない

問 10. あなたは、夜間に外出するとき、反射材（反射バンドや反射タスキなど）を身に着けていますか。(○はひとつ)

1. 必ず身に着けている
2. ときどき身に着けている
3. ほとんど身に着けていない
4. 身に着けていない

問 10 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「11」へお進みください。

問 10-1. あなたが反射材を身に着けていない理由は何ですか。(○はひとつ)

1. 反射材を持っていないから
2. 反射材は持っているが、身に着けるのを忘れるから
3. 反射材を身に着けるのが面倒だから
4. 反射材を身に着けても効果がないと思うから
5. その他（ ）

問 11. あなたは、当市が今年度から開始した「高齢運転者免許証自主返納支援事業」を知っていますか。(○はひとつ)

1. 知っている
2. 知らない



---

---

**※現在、運転免許証をお持ちの方にお聞きします。お持ちでない方は、「問」14 へお進みください。**

**問 12.** あなたは、運転免許返納状況について、どのようにお考えですか。(○はひとつ)

1. いずれ返納する予定である (返納を予定している年齢 歳)
2. いずれ返納する予定である (時期は決めていない)
3. 返納するつもりはない

**問 13.** あなたは、運転免許がないと困ると思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 買い物
2. 通院や通所
3. 仕事
4. 趣味の活動
5. 地域の活動
6. その他 ( )



問 18. あなたは、転倒によるケガを予防するために、自宅で実行していることはありますか。  
(あてはまるものすべてに○) また、その効果はあると思いますか。(○はひとつ)

	どちらかに○をつけて下さい。	効果の有無 (○はひとつ)
(A) 住宅をバリアフリーに配慮して建てた (選んだ)	1 実行している 2 実行していない	1 ある 2 ない 3 わからない
(B) 玄関や段差がある所にスロープを設置している	1 実行している 2 実行していない	1 ある 2 ない 3 わからない
(C) 風呂やトイレ、廊下等に手すりを設置している	1 実行している 2 実行していない	1 ある 2 ない 3 わからない
(D) ベット等に補助器具をつけている	1 実行している 2 実行していない	1 ある 2 ない 3 わからない
(E) 足元を照らす照明をつけている	1 実行している 2 実行していない	1 ある 2 ない 3 わからない
(F) 福祉用具を使用している	1 実行している 2 実行していない	1 ある 2 ない 3 わからない
(G) 整理整頓を心がけ、床や廊下等に物を置かない	1 実行している 2 実行していない	1 ある 2 ない 3 わからない

問 17 又は問 18 で、転倒の予防策を 1 つでも実行されていると回答された方にお聞きします。

問 19. あなたが、その予防策をするようになったきっかけは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 家族や親族のすすめ          | 2. 友人や知人のすすめ      |
| 3. 介護保険のケアマネジャー等のすすめ  | 4. 地域包括支援センターのすすめ |
| 5. 市関係課のパンフやすすめ       | 6. 出前講座や学習会、講演会   |
| 7. テレビや新聞、ラジオなどを見聞きして |                   |
| 8. その他 ( )            |                   |

問 17 と問 18 で、すべて「実行していない」と回答された方にお聞きします。

問 20. あなたが、実行していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 健康や体力に不安がない   | 2. 時間がない      |
| 3. 何をすればいいかわからない | 4. 一人では続かない   |
| 5. 教室等の開催場所にいけない | 6. 必要性を感じていない |
| 7. その他 ( )       |               |

問 21. あなたは、当市で発行している「転倒予防のパンフレット」を知っていますか。

(○はひとつ)

1. 知っており、実際に実践している
2. 知っているが、実際には実践していない
3. 見聞きしたことはあるが、内容は知らない
4. あることも知らない

#### 4「高齢者虐待の防止」について

問 22. あなたは、認知症の理解不足が高齢者虐待につながる場合があると思いますか。

(○はひとつ)

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. つながると思う | 2. ある程度そう思う |
| 3. あまり思わない | 4. 全く思わない   |
| 5. わからない   |             |

問 23. あなたは、「認知症サポーター」について知っていますか。(○はひとつ)

1. 認知症サポーター養成講座を受けたことがあり、知っている
2. 名称は聞いたことがあり、養成講座を受講したいと思う
3. 名称は聞いたことがあるが、養成講座を受講したいとは思わない
4. 名称も聞いたことはなく、養成講座も受講したくない
5. 名称も聞いたことはなく、何かよくわからない

問 24. あなたは、次の行為は高齢者虐待にあたると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. つねる、たたく、殴る、蹴るなどの暴力行為を加える
2. 年金や預貯金等を取り上げ、本人の意思・利益に反して勝手に使う
3. 本人の意思や人格などをなじるような暴言を浴びせる
4. 快適に生活できるような食事、衣服、環境を与えない
5. 高齢者が話しかけてきても無視する
6. 本人の合意なしに性的行為をする
7. 下半身を裸にして、放置する

問 25. あなたは、これまで自分が高齢者虐待をしているのではないかと思うことがありましたか。(○はひとつ)

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. あった      | 2. ときどきあった |
| 3. ほとんどなかった | 4. 全くなかった  |
| 5. わからない    |            |

問 25 で、「1」～「2」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問 26 へお進み下さい。

問 25-1. あなたは、問 25 でお答えいただいた行為についてどう思っていますか。

(○はひとつ)

1. 別に何も思わない
2. 相手が悪いから、仕方ないと思う
3. 悪いことだと思うがしてしまう
4. わからない

問 25-2. あなたは、問 25 でお答えいただいた行為について相談していますか。(○はひとつ)

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 相談している      | 2. ときどき相談している      |
| 3. ほとんど相談していない | 4. 相談していない         |
| 5. 相談したいができない  | 6. どこに相談していいかわからない |

問 26. あなたは、これまで高齢者虐待を受けた又は高齢者虐待を見聞きしたことがありますか。

(○はひとつ)

1. 虐待を受けた
2. 虐待されたことがあったと思う
3. 虐待されたことはなかったと思う
4. 自分はされなかったが、人が虐待されたのを見聞きしたことはある
5. 自分が虐待されたことも、他人が虐待されるのを見聞きしたこともなかった

問 26 で、「1」、「2」、「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「27」へお進みください。

問 26-1. 虐待がされた場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅
2. 医療又は介護施設 (入所)、有料老人ホームなど
3. 医療又は介護施設 (通所)
4. その他 ( )
5. わからない

問 27. あなたは、高齢者虐待を見聞きしたとき、相談又は通報しますか。(○はひとつ)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. する         | 2. たぶん、すると思う |
| 3. たぶん、しないと思う | 4. しない       |
| 5. わからない      |              |

問 27 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「28」へお進みください。

問 27-1. あなたが、相談又は通報しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 間違っていたら、迷惑をかけるから
2. 虐待者からの逆恨みが怖いから
3. 他人の生活は自分には無関係で、関わりたくないから
4. どこにしたらいいかわからないから
5. 特に理由はない





## 6「地域防災力の向上」について

問 31. あなたは、自然災害から身を守るために一番重要なものは何だと思いますか。

(○はひとつ)

1. 自助（各個人の口頃の準備とその時の行動）
2. 共助（地域での事前準備と取り組み）
3. 公助（国県市の各役割の事前準備と体制、動き）
4. わからない

問 32. あなたは、災害が発生したときに重要な「共助」は何だと思いますか。(○はひとつ)

1. 校区コミュニティ組織
2. 自治会
3. 隣近所（近助の精神）

※「近助」とは、ご近所さん同士が思いやり、助け合う「向こう三軒両隣」の精神で安否確認等を行う取り組み

問 33. あなたは、「自助」の重要性を啓発するためには、何が有効だと思いますか。

(あてはまるもの2つに○)

1. 防災に精通した人を招いての講演会や討論会
2. 防災テーマのシンポジウムやイベント
3. 市職員・防災士等による出前講座
4. 防災の視点を取り入れたレクリエーション
5. カルタや紙芝居等を活用する
6. 各種啓発チラシやグッズをキャンペーン等で配布する
7. 市広報紙・ホームページに関係記事を掲載する
8. フェイスブックなどに関係情報を定期的に流す

問 34. あなたは、災害が発生したときにひとりで避難できると思いますか。(○はひとつ)

1. できる
2. たぶんできると思う
3. できない場合もあると思う
4. できない
5. わからない

問 34 で、「3」又は「4」と回答された方にお聞きします。それ以外の方は、問「35」へお進みください。

問 34-1. あなたは、避難するための対策をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 同居の家族と一緒に避難できるよう相談している
2. 別居の親族にいつでも連絡できるようにしている
3. 病院や高齢者施設への入院所を予約又は検討している
4. 市や地域包括支援センター等に相談している
5. 災害時要援護者名簿に登録している
6. 知人や近所の人に、支援してもらえるように頼んでいる
7. 特にしていない



